

# 琵琶湖博物館業績目録

2号

1999年3月

1997年1月から1998年3月までの業績

●滋賀県立琵琶湖博物館編



LAKE BIWA MUSEUM  
琵琶湖博物館

***Performance Records from January 1997 to March 1998***

*Edited by the Lake Biwa Museum*

*(Editors: Kunihiko KUWAMURA and Yukiko SHIRAI)*

*Performance Records of the Lake Biwa Museum, no.2*

*Published by the Lake Biwa Museum*

*Oroshimo 1091, Kusatsu*

*Shiga 525-0001, Japan,*

© *Lake Biwa Museum, March 1999*

*All rights reserved*

*Printed in Japan by Sumai insatsukogyo*

琵琶湖博物館業績目録

第 2 号

1997年1月から1998年3月までの業績

滋賀県立琵琶湖博物館 編

編集責任者：桑村邦彦・白井幸子

滋賀県立琵琶湖博物館

1999年3月

## 目 次

### 収録内容

#### 琵琶湖博物館長

川那部浩哉 KAWANABE, Hiroya .....	5
------------------------------	---

#### 湖沼研究系

中島経夫 NAKAJIMA, Tsuneo .....	10
楠岡泰 KUSUOKA, Yasushi .....	12
ロシター, アンドリュー ROSSITER, Andrew .....	14
松田征也 MATSUDA, Masanari .....	17
戸田孝 TODA, Takashi .....	19
芦谷美奈子 ASHIYA, Minako .....	21
中藤容子 NAKATO, Yoko .....	23
中井克樹 NAKAI, Katsuki .....	24
牧野久実 MAKINO, Kumi .....	27
芳賀裕樹 HAGA, Hiroki .....	29
亀田佳代子 KAMEDA, .....	31
里口保文 SATOGUCHI, Yasufumi .....	33

#### 集水域研究系

嘉田由紀子 KADA, Yukiko .....	35
草加伸吾 KUSAKA, Shingo .....	39
高橋啓一 TAKAHASHI, Keiichi .....	40
内田臣一 UCHIDA, Shigekazu .....	42
脇田健一 WAKITA, Kenichi .....	44
フレネット, ジャンジャック FRENETTE, Jean-Jacques .....	45
木田千代美 KIDA, Chiyomi .....	49
八尋克郎 YAHIRO, Katsuro .....	50

#### 応用地域研究系

水上二己夫	MIZUKAMI, Fumio	.....	52
前畑政善	MAEHATA, Masayoshi	.....	53
用田政晴	YODA, Masaharu	.....	55
小笠原俊明	OGASAHARA, Toshiaki	.....	57
桑村邦彦	KUWAMURA, Kunihiko	.....	58
桑原雅之	KUWAHARA, Masayuki	.....	60
宮本真二	MIYAMOTO, Shinji	.....	62

博物館学研究系

布谷知夫	NUNOTANI, Tomoo	.....	64
秋山廣光	AKIYAMA, Hiromitsu	.....	67
グライガー, マーク・ジョセフ	GRYGIER, Mark Joseff	.....	69
橋本道範	HASHIMOTO, Michinori	.....	75
高橋政宏	TAKAHASHI, Masahiro	.....	76
江島穰	EJIMA, Yutaka	.....	79

## 収録内容

1. この業績目録には、滋賀県立琵琶湖博物館の学芸職員の1997年1月から1998年3月までの内容が収録されています。
2. この業績目録には、次の項目に該当する業績を収録しました。
  1. 印刷物
    - a. 論文など
    - b. その他の印刷物
    - c. 前号に掲載されなかった前年までの印刷物
  2. 研究活動に関する業績
    - a. 学会講演
    - b. 研究プロジェクト
    - c. 学会役員，学会誌レフリーなど
    - d. 学生指導，講義など
  3. 博物館活動に関する業績
    - a. 交流・サービス活動に関する業績
    - b. 博物館情報活動に関する業績
    - c. 博物館資料整備活動に関する業績
    - d. 博物館展示活動に関する業績
    - e. 博物館企画調整活動に関する業績
  4. 人事に関すること

## 1 印刷物

## a 論文など

- 川那部浩哉・栗本英世, 1997, 歴史的な生命体、琵琶湖へのいざない. *みんぱく*, 1997(2): 2-7.
- 川那部浩哉, 1997, タラル・ユネス国際生物科学連合事務局長の表敬訪問. *学術の動向*, 1997(3): 88-89.
- Kawanabe, H., Hori, M. & Nagoshi, M. ed., 1997, *Fish Communities in Lake Tanganyika.*, Kyoto University Press, Kyoto, 7+298pp.
- Kawanabe, H., 1997, Preface. ed. by Kawanabe, H., Hori, M. & Nagoshi, M. *Fish Communities in Lake Tanganyika.*, 1-2, Kyoto University Press, Kyoto.
- 川那部浩哉, 1997, 生物多様性の科学. *学士会会報*, 815: 121-125.
- Yuma, M. & Kawanabe, H. ed., 1997, *Ecological factors promoting biodiversity in Lakes Biwa, Baikal, Tanganyika and Malawi.* 119 pp. Centre for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 川那部浩哉, 1997, アジア地域の環境保全. *学術月報*, 50: 80-81.
- Kawanabe, H. & Leveque, C., 1997, Indicators of ecosystem health. *Biodiversity Bulletin*, 3: 11.
- 川那部浩哉, 1997, 応用生態工学序説編集委員会編, 「応用生態工学序説—生態学と土木工学の融合を目指して」について. *河川*, 1997(9): 60-61.
- 川那部浩哉, 1997, 生物界における一と(二と)多, *モルフォロギア*. *ゲーテと自然科学*, 19: 2-11.
- 川那部浩哉, 1997, 生物界にみる関係性と多様性. *日本ファジー学会誌*, 9: 817-825.
- Hanasato, H. & Kawanabe, H., 1998, Report of the Joint Meeting of the SIL Working Group in Inlandwater Biodiversity and of the Working Group of STAR on Freshwater under the Diversitas. *SILNEWS*, 24: 5.
- Kada, Y. & Kawanabe, H., 1998, International Conference on Ancient lakes: Their Biological and Cultural Diversities. *SILNEWS*, 24: 8.
- Kawanabe, H., 1998, Tamiji Inoue, an Obituary. *Biology International*, 36: 44-45.
- 川那部浩哉・遊磨正秀編, 1998, 琵琶湖沿岸域における環境変動とそれに対する生物群集の動態研究成果報告書. 京大大学生態学研究センター, 大津, 70 pp.
- 川那部浩哉, 1998, 生物と文化の多様性(序論). 嘉田由紀子・森野泰起・中井克樹・牧野久美・川崎真紀子編「世界古代湖会議 ICAL '97 古代湖における生物と文化の多様性」, 琵琶湖博物館, 草津, pp. 108.
- 川那部浩哉, 1998, 臨海臨湖実験所白書を読んで. 道端齋編「平成10年度国立大学臨海臨湖実験所白書: 臨海臨湖実験所における教育研究の現状と公開臨海臨湖実習の実績」, 国立大学臨海臨湖実験所長会議, 向島, pp. 51-53.
- 川那部浩哉, 1998, 資料目録の刊行にあたって. 琵琶湖博物館編「琵琶湖博物館資料目録(魚類標本1)」, 琵琶湖博物館, 草津, pp. 1: 1.
- 川那部浩哉, 1998, 生物多様性の科学. 毛利秀雄編「岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所外部点検評価報告書—分子環境生物学・植物学を中心にして—」, 基礎生物学研究所, 岡崎, 31-37.

## b その他の印刷物

- 川那部浩哉, 1997, 1997年わたしのキーワード: 華麗なる沈潜. *京都新聞*, (1月1日).
- 川那部浩哉・近藤功, 1997, 湖と人が共にいきるよりよい関係をめざして. *湖*, 120: 11-23.
- 川那部浩哉, 1997, 「人間と湖のつきあい方」を考えられる場になれば・・・. *滋賀民報*, (1月5日).
- 川那部浩哉, 1997, 琵琶湖の環境再生. *中日新聞*, (1月9日).
- 川那部浩哉, 1997, 1996年読書アンケート. *みすず*, 430: 65-66.
- 川那部浩哉, 1997, 琵琶湖は自然遺産と同時に文化遺産だと思いますね. *SUN*, 45: 1.
- 川那部浩哉, 1997, ごあいさつ. 琵琶湖博物館編, 1997, 「博物館ができるまで」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.1
- 川那部浩哉, 1997, 今月のことば: 問いの世界には自由がある、答えの世界には自由がない. *小学校時報*, 1997(547): ii.
- 川那部浩哉・Talal Younes, 1997, 生物多様性は、命の賑わいそのものです. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, 2: 2-3.
- 川那部浩哉, 1997, 「色眼鏡」を掛けて「多色」をみよう. *Security*, 85: 1.
- 川那部浩哉, 1997, 琵琶湖からの発信. *Magazines Today / Ecology*, Y24, Y28-29.
- 川那部浩哉, 1997, はじめに. 遊磨正秀・嘉田由紀子・藤岡康弘編「水辺の遊びにみる生物相の時代変遷と意識変化: 住民参加による三世代調査報告書」, 琵琶湖博物館研究調査報告, 琵琶湖博物館, 草津, 9: v.
- 川那部浩哉, 1997, 不思議なひと. 土倉九三氏追悼文集編集委員会「追悼土倉九三」, 219-221, 土倉事務所, 京都.
- 川那部浩哉, 1997, ごあいさつ. 宮本真二・アンドリュウ・ロウター・脇田健一編, 1997, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.1
- 川那部浩哉・高橋裕・宮村忠・守田優・奥田重俊・北村真一, 1997, 河川事業と生物(上). *にほんのかわ*, 77: 4-30.
- 川那部浩哉・高橋裕・宮村忠・守田優・奥田重俊・北村真一, 1997, 河川事業と生物(下). *にほんのかわ*, 78: 4-30.
- 川那部浩哉, 1997, 宇治分校のころ. 京都総合研究所編「京都大学の世紀1897-1997」, 71-75, 紫翠会出版, 京都.

- 川那部浩哉, 1997, 一動物生態学者のみた依田恭二さん. 滋賀県立大学環境科学部依田先生追悼の会実行委員会編「依田先生を偲んで」, 滋賀県立大学環境科学部依田先生追悼の会実行委員会, 彦根.
- 川那部浩哉, 1997, 関西の博物館1 滋賀県立琵琶湖博物館 館長インタビュー. Culture, Energy and Life, 41: 111-112.
- 小川四良・川那部浩哉, 1997, 沖島の漁業の変遷など. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど (湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (3): 2-3.
- 川那部浩哉, 1997, 背丈が縮んだ弁. 電気学会誌, 117: 587.
- 川那部浩哉, 1997, はじめに. 地球環境関西フォーラム編「生物多様性と地球環境問題: 21世紀の環境都市関西を拓く」, 地球環境関西フォーラム, 大阪, 1-2.
- 川那部浩哉・藤島陽一, 1997, "曖昧"のすすめ一魚の生態に見た競争と共存の原理. 公研, 35(9): 42-57.
- 横山俊夫・三浦国雄・遊磨正秀・藤井譲治・川那部浩哉編, 1997, 安定社会の総合研究: ことがおこる・つづく/なかだちをめぐる. 京都ゼミナールハウス, 京北, 181 pp.
- 川那部浩哉, 1997, 「もの」は「こと」が作りあげる. 横山俊夫・三浦国雄・遊磨正秀・藤井譲治・川那部浩哉編「安定社会の総合研究: ことがおこる・つづく/なかだちをめぐる」, 京都ゼミナールハウス, 京北, 12-20.
- 川那部浩哉, 1997, 年報の発刊にあたって. 滋賀県立琵琶湖博物館年報, 1: 1-2.
- 川那部浩哉・嘉田由紀子, 1997, 館長に聞く: 世界古代湖会議をおわって. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど (湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (4): 2-3.
- 川那部浩哉, 1997, 琵琶湖博物館での一年. 人環フォーラム, 3: 1.
- 川那部浩哉, 1997, ごあいさつ. 琵琶湖博物館編「琵琶湖博物館開館1周年企画展 私とあなたの琵琶湖アルバム」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.1.
- 川那部浩哉, 1997, 応用生態工学研究会会長川那部浩哉氏に聞く. 環境新聞, (10月22日).
- 川那部浩哉, 1997, 伝統新時代: 着物を安く大衆化を、着こなし多様化も. 京都新聞, (11月8日).
- 川那部浩哉, 1998, 生物多様性の喪失を食い止め、さらには生物自身の手で多様性を増やさせよう. KDDテクニカルジャーナル, 31: 1.
- 川那部浩哉, 1998, 湖と魚たちと音楽と1, ウォールデン湖を訪ねて. Jupiter, 48: 4-5.
- 川那部浩哉, 1998, 1997年読書アンケート. みすず, 442: 75-76.
- 川那部浩哉, 1998, 世界の湖の生物と文化と博物館. 博物館研究, 33(1): 9-14.
- みなみらんぼう・川那部浩哉, 1998, 湖はだれのもの? 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど (湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (5): 2-3.
- 川那部浩哉, 1998, 審査員コメント. Challenge 21! 「あなたの提言」, 日本育英会, 東京, 1: 7.
- 川那部浩哉, 1998, 推薦のことば. コーエン著, 重定南奈子・瀬野裕美・高須夫悟訳「新「人口論」生態学的アプローチ」, カバー裏.
- 川那部浩哉, 1998, 湖と魚たちと音楽と2, <マス>と<金の魚>. Jupiter, 49: 4-5.
- 川那部浩哉, 1998, いま, 池田さんの「失言」を思う. 雇対協だよりしが, 58: 13.
- 川那部浩哉, 1998, アンケートに答える. 吉川寛編「基礎生物学振興に関する70の提言」, 生命科学の教育・研究振興に関する委員会「基礎生物学」検討サブグループ, 奈良, 62-64.
- 川那部浩哉, 1998, しがキャンパス通信: 琵琶湖博物館長川那部浩哉さん, "参加型" まずは成功. 京都新聞(滋賀), (4月4日).
- 川那部浩哉, 1998, 開会式挨拶. 嘉田由紀子・森野泰起・中井克樹・牧野久美・川崎真紀子編「世界古代湖会議 ICAL '97 古代湖における生物と文化の多様性」, 琵琶湖博物館, 草津, 74-76.
- 川那部浩哉・千地万造・井倉孝・木村滋編, 1998, 滋賀県立琵琶湖博物館総合案内. 琵琶湖博物館, 草津, 111 pp.
- 川那部浩哉, 1998, 滋賀県立琵琶湖博物館について. 川那部浩哉・千地万造・井倉孝・木村滋編「滋賀県立琵琶湖博物館総合案内」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.3.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

### 2 研究活動に関する業績

#### a 学会講演

- 川那部浩哉, 1997 (9月1日), 西太平洋・アジア地域における生物多様性国際共同研究の現状. 生物多様性条約会議, (カナダ=モントリオール).
- 川那部浩哉, 1998 (3月5日), 生物多様性の地域研究について. OECDメガサイエンスフォーラム, (ストックホルム).
- 川那部浩哉, 1998 (3月26日), 生物多様性の西太平洋・アジア地域のネットワーク, 付 日本の取り組み. 生物多様性科学国際共同研究計画科学委員会, (メキシコ・シテイ).

[会長挨拶]

- 川那部浩哉, 1997 (3月28日), 日本生態学会総会, 北海道大学.

#### b 研究プロジェクト

- 文部省創成的基礎研究「地球環境攪乱下における生物多様性の保全及び生命情報の維持管理に関する総合的基礎研究」, 研究代表者.
- 日本学術振興会重点研究国際協力事業プロジェクト「生物多様性と生態複合」, 研究分担者.

### c 学会役員、学会誌レフリーなど

日本生態学会会長。  
応用生態工学研究会会長。  
国際理論応用陸水学会(SIL)日本代表 同生物多様性委員会委員長。  
国際古代湖生物学会(SIAL) 会長。  
生物多様性科学国際共同研究計画(DIVERSITAS)科学委員会委員。  
生物多様性科学国際共同研究計画(DIVERSITAS)淡水生物多様性部会部会長。  
生物多様性科学国際共同研究計画(DIVERSITAS)西太平洋・アジア地域国際ネットワーク(DIWPA)委員長。  
African Journal of Tropical Hydrobiology and Fisheries 編集委員。  
Environmental Biology of Fishes, Biological Science Tokyo 編集委員。  
International Journal of Ecology and Environmental Biology 編集委員。

### d 学生指導、講義など

### e 受賞

1997, アメリカ芸術科学アカデミー(American Academy of Arts and Sciences)外国人名誉会員。  
1997, 世界科学協会(Institute Mondial des Sciences)会員。

## 3 博物館事業に関する業績

### a 交流・サービス活動に関する業績

[挨拶]

1997(1月18日), 里山交流会・報告会。琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館。  
1997(3月8日), 今、なぜ博物館なのか: その理念、実践と限界。琵琶湖博物館シンポジウム, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館。  
1997(4月4日), 地球環境大賞顕彰制度贈呈式。日本工業新聞社, 東京プリンスホテル。  
1997(4月24日), 地球環境関西フォーラム100人委員会。地球環境関西フォーラム, リーガロイヤルNCB。  
1997(4月26日), 第4回博物館入門セミナー, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館。  
1997(6月20日), 第6回生態学琵琶湖賞授賞式, 滋賀県企画県民部企画課, 滋賀県立大学。  
1997(9月14日), 世界水資源会議。長良川河口堰建設をやめさせる市民会議, 輪中の里ホール。  
1997(10月12日) 公開シンポジウム「多様性のサイエンス: 遺伝子・生態・文化」。創成的基礎研究: 「地球環境攪乱下における生物多様性の保全及び生命情報の維持管理に関する総合的基礎研究」, 東京大学山上会館。  
1997(10月19日), 琵琶湖博物館開館1周年記念「琵琶湖とひととの未来考」シンポジウム。琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館。  
1997(10月26日), 琵琶湖博物館企画展「私とあなたの琵琶湖アルバム」写真提供者とのつどい。琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館。  
1997(11月6日), 第7回生態学琵琶湖賞, 滋賀県企画県民部企画課, 琵琶湖博物館。  
1997(11月12日), 第13回京都賞基礎科学部門ワークショップ生物多様性の保全。(財)稲盛財団, 国立京都国際会館。  
1997(11月27日), 林冠ゴンドラ開所式。北海道苫小牧演習林, 林冠観測用ゴンドラ現地。  
1997(11月30日), 平成9年度Challenge! 21「あなたの提言」表彰式, 日本育英会, 日本育英会会議室。

[講演]

1997(1月9日), 「もの」は「こと」が作り上げる。第8回京都国際セミナー, -ことがおこる/つづく/なかだちをめくって-, 京都府ゼミナールハウス, 京都府ゼミナールハウス。  
1997(1月22日), 琵琶湖の岸に想う。立命館理工学振興会, 立命館BKCコア・ステーション。  
1997(1月30日), 世界の湖と文化と博物館。日本博物館協会, 琵琶湖博物館。  
1997(2月6日), 一動物学者から見た依田さん。依田教授追悼式, 滋賀県立大学交流センター。  
1997(2月7日), 生態学について。近畿シンクタンク協議会, 琵琶湖博物館。  
1997(3月4日), 琵琶湖と彦根。彦根南ロータリークラブ, 彦根商工会議所。  
1997(3月11日), 生態学に関する<大きな>話。京都府生物教育会例会, 琵琶湖博物館。  
1997(3月20日), 湖と人間。近畿生きがいつくり講演会, 琵琶湖博物館会議室。  
1997(4月21日), 琵琶湖博物館の目指すもの。平成9年度第1回県政モニター全体会議, 滋賀県広報課, 滋賀県庁新館大会議室。  
1997(4月25日), 琵琶湖の環境保全と人と自然文化遺産。滋賀県市町村議会議長会議, 滋賀県企画県民部企画課, エストピアホテル。  
1997(5月4日), 生物多様性の危機。多治見市生涯学習センターオープン記念講演, 多治見市図書館, 多治見市図書館。  
1997(5月31日), 生物界における自然(しぜん)と自然(じねん)。大谷大学学術講演会, 大谷大学。  
1997(6月23日), 生物と文化の多様性。世界古代湖会議, 琵琶湖博物館, 琵琶湖博物館。  
1997(8月7日), 琵琶湖総合開発計画<終了>にあたって思う。琵琶湖総合開発計画終了記念会, 近畿地方建設局, 大津

プリンスホテル。

- 1997 (8月22日), 淡水の魚と私. 平成9年度南但馬自然学校指導者講座Ⅱ, 南但馬自然学校, 南但馬自然学校.  
1997 (9月16日), 生態系の概念について. 水資源開発公団, 水資源開発公団本社.  
1997 (9月19日), 生物多様性について. 滋賀県琵琶湖環境部研修, 滋賀県琵琶湖環境部, 琵琶湖博物館.  
1997 (10月7日), 琵琶湖のほとりにきて. 八日市市民大学, 八日市市教育委員会, 八日市文化芸術会館.  
1997 (10月16日), 応用生態工学研究会にあたって思う. 応用生態工学発足記念会, 応用生態工学会, 東京ダイヤモンドホテル.  
1997 (10月18日), 井上民二さんと私. 井上民二さん追悼の会, 京都大学農学部.  
1997 (11月8日), 郷土の魚と湖と人. 滋賀県立草津東高校創立20周年記念式典, 滋賀県立草津東高校創立20周年記念実行委員会, 滋賀県立草津東高校.  
1997 (11月14日), ネットワークの現状と今後. 生物多様性科学国際共同研究, 西太平洋アジア地域ネットワークシンポジウム・ワークショップ (台湾).  
1997 (11月26日), 曖昧の生態学. 放送大学.  
1997 (12月3日), 暮らしと自然保護と生態学. 海洋セミナー宇佐特別講演会, 高知大学海洋生物教育研究センター, 土佐市社会福祉センター.  
1997 (12月4日), 暮らし、環境、生態系. 第2回大月エコロジースクール, 宿毛高橋大月分校・大月町教育委員会, 大月町役場.  
1997 (12月7日), 川の変化と魚たち. 第8回自然保護セミナー, 自然観察指導員熊本県連絡会, 熊本学園大学.  
1998 (1月23日), 生物多様性のを考える. 建設省土木研究所第25回講演会, 建設省土木研究所, 建設省土木研究所.  
1998 (2月8日), 淡水魚の立場から環境を考える - アユより愛を込めて -. 淡海生涯カレッジ修了式, 滋賀県生涯学習課, 彦根市文化プラザ(エコホール).  
1998 (2月10日), ことが<ゆらぐ>と<もどる>のか, <安定社会>ではそうなのか, また<なかだち>とは, <ゆらぎ>を<もどす>ための, ものか, その逆はないのか, その他, その他のこと. 第9京都国際セミナー, 京都ゼミナールハウス, 京都ゼミナールハウス.  
1998 (2月21日), 生物多様性の科学. 「分子生態学・分子環境生物学」ワークショップ, 岡崎国立共同研究機構, 岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所.  
1998 (3月2日), 生態系について. 第3回国内研修, LEADジャパン・プログラム, 慶応義塾大学湘南キャンパス.

**b 博物館情報活動に関する業績**

**c 博物館資料整備活動に関する業績**

**d 博物館展示活動に関する業績**

**e 博物館企画調整事業に関する業績**

**4 人事に関すること**

- 岡崎国立共同研究機構評議員.  
国立基礎生物学研究所評議員.  
学術審議会地球環境部会委員.  
日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会委員.  
文化財保護審議会専門委員会委員.  
京都府文化財保護審議会委員.  
京都市文化財保護審議会委員.  
世界自然保護基金(WWF)日本委員会常任理事.  
日本自然保護財団理事.  
国際生態学日本センター理事.  
日本自然保護協会評議員.  
日本自然保護協会河川問題特別委員会委員長.  
日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業「アジア地域の環境保全」推進委員会 委員長.  
科学技術財団戦略的基礎研究「地球変動のメカニズム」研究アドバイザー.  
国際生物学賞委員会委員.  
生態学琵琶湖賞運営委員会委員.  
毎日出版文化賞委員会委員.  
地球環境大賞顕彰制度委員会委員.  
日経アジア国際大賞選考委員会委員.  
京都賞生物学審査委員会委員.  
京都賞専門委員会委員長.  
環日本海アカデミック＝フォーラム顧問.

「琵琶湖の総合的な保全のための計画調査」総合委員会委員.

「琵琶湖の総合的な保全のための計画調査」自然的環境・景観部会委員会部会長.

## 1 印刷物

## a 論文など

中島経夫, 1997, 粟津遺跡のコイ科魚類遺体と古琵琶湖層群. 化石研究会会誌, 30(1): 13-15.

## b その他の印刷物

中島経夫, 1997, 琵琶湖に想う. 滋賀の社会と経済, (83): 2-3.

中島経夫, 1997, クセノキプリスの咽頭歯. Duet.

中島経夫他, 1998, 琵琶湖博物館魚類標本登録・管理マニュアル. 琵琶湖博物館資料目録1号 魚類標本: pp.3-8.

濱口浩之・木戸裕子・福井武洋・南次男・中島経夫, 1998, 琵琶湖博物館魚類標本目録(1). 琵琶湖博物館資料目録1号 魚類標本1: pp.9-135.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

中島経夫, 1997, コイ科魚類の咽頭歯からわかる地球の歴史. 第6回生態学琵琶湖賞報告書, 滋賀県, pp.60-72.

Nakajima, T., 1997, Earth history found by fossilized cyprinid pharyngeal teeth. Report of the 1996 Biwako Prize for Ecology, Shiga Prefectural Government, Otsu, pp.59-74.

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

中井克樹・中島経夫・前畑政善, 1997(6月24日), 古代湖としての琵琶湖 生態系の現状. 世界古代湖会議 古代湖における生物と文化の多様性, 琵琶湖博物館.

中島経夫・木戸裕子, 1997(6月27日), 古代における、人類活動の琵琶湖魚類相への影響. 世界古代湖会議 古代湖における生物と文化の多様性, 琵琶湖博物館.

## b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖、その成立と人間生態系の比較研究」, 研究代表者.

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の整理・保管と利用に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「コイ科魚類の咽頭歯に関する研究」.

日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業「アジア地域の環境保全 地球環境情報収集の方法の確立」, 研究分担者.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

「Lake and People」レフリー2件.

## d 学生指導、講義など

1997(12月15日), 滋賀県立大学講義, 滋賀の自然史.

## e 受賞など

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

1997(1月23日), 琵琶湖博物館と琵琶湖の自然史. 旭化成守山支社開発会議講演会, 旭化成守山支社.

1997(3月15日), 琵琶湖と三方湖-コイ科魚類の咽頭歯と縄文人. 三方町立郷土資料館・三方町立図書館主催 講座「発見と考古学」, 三方町立図書館.

1997(9月2日), 琵琶湖の環境と生き物たち. 第3回滋賀県農業土木技術者研修会, 琵琶湖博物館.

1997(9月19日), 琵琶湖博物館の研究活動. 科学技術と経済の会見学会, 琵琶湖博物館.

1997(10月9日), 琵琶湖の固有種の誕生. 東山中学見学会講演, 琵琶湖博物館.

1997(10月26日), 古琵琶湖層群の化石の採集会. 琵琶湖博物館フィールド観察会, 三重県阿山郡大山田村.

1998(3月7日、3月14日), 咽頭歯から見た地球の歴史を探る. 琵琶湖博物館講座, 琵琶湖博物館.

## b 博物館情報活動に関する業績

琵琶湖博物館情報システム, 魚類標本登録データベースの設計.

## c 博物館資料整備活動に関する業績

琵琶湖博物館魚類標本登録作業, 12,918件登録.

## d 博物館展示活動に関する業績

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」，「琵琶湖博物館準備室」コーナー企画・制作。

e 博物館企画調整事業に関する業績

世界古代湖会議実行委員会企画委員。

「Lake and Peaople」編集委員。

4 人事に関すること

1997年(4月1日)，琵琶湖博物館専門学芸員兼事業部情報センター科長。

1997年(6月1日)，琵琶湖博物館総括学芸員兼事業部情報センター科長事務取扱い。

1997年(4月25日)～1999年(3月31日)，滋賀県立大学大学院開設準備委員会専門部会特別専門委員。

1997年(12月1日)，滋賀県立大学非常勤講師。

(1997年11月8日～19日)，中華人民共和国北京市出張。

(1998年2月20日～3月3日)，中華人民共和国武漢市出張。

## 1 印刷物

### a 論文など

Kusuoka Y., 1997, Comparison of zooplankton in the pelagic and littoral zones of Lake Tanganyika. Ecological and Limnological Study on Lake Tanganyika and its Adjacent Regions X, 32-33.

Nakai, K., Kusuoka, Y. & Yamasaki, H., 1997, Molluscan fauna on the Zambian coast of Lake Tanganyika. , Ecological and Limnological Study on Lake Tanganyika and its Adjacent Regions X, 28-29.

### b その他の印刷物

楠岡泰, 1997, 琵琶湖博物館展示の変遷. 琵琶湖博物館編, 「博物館ができるまで」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.19-23.

楠岡泰, 1997, C展示室「湖の環境と人びとの暮らし」ができるまで. 高橋啓一編, 「琵琶湖博物館開館までのあゆみ」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.132-134.

### c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

中西正己・占部城太郎・関野樹・野崎健太郎・永田俊・高井賢治・小川敏幸・川幡佳一・清水研助・中野伸一・楠岡泰・芳賀裕樹, 1996, 「琵琶湖における浮遊生物群集食物網動態と生物多様性」. 平成5~7年度文部省科学研究費総合研究(A)「生物多様性維持・利用のための保全地域理論」研究成果報告書, pp.14-16.

## 2 研究活動に関する業績

### a 学会講演

辻彰洋・中村由起子・楠岡泰・鳥本昇, 1997, 富栄養化についての生態系モデル実験と実践(1). 日本理科教育学会第47回全国大会, (上越大会).

中村由起子・辻彰洋・楠岡泰・鳥本昇, 1997, 富栄養化についての生態系モデル実験と実践(2). 日本理科教育学会第47回全国大会, (上越大会).

### b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸域の生態系と動態に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」, 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「屋外展示空間の生物群集と環境の変化のモニタリング」, 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖生態系の長期的変遷」, 研究分担者.

### c 学会役員、学会誌レフリーなど

日本陸水学会レフリー 1件.

### d 学生指導、講義など

### e 受賞など

## 3 博物館事業に関する業績

### a 交流・サービス活動に関する業績

1997(1月15日), 烏丸半島の水鳥. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.

1997(7月21日), ミクロな生き物観察会. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.

1997(7月21日), 琵琶湖の魚は何を食べているか. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.

1997(10月12日), 秋の打見岳 植物観察会. 琵琶湖博物館フィールド観察会, 琵琶湖博物館.

1997(10月26日), 秋の里山観察会. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.

1997(11月27日), Process and Problems of Making the Lake Biwa Museum Exhibits. 国際協力事業団(JICA)博物館技術コース, 琵琶湖博物館.

1998(2月8日), 琵琶湖の水鳥かんさつ会. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.

### b 博物館情報活動に関する業績

### c 博物館資料整備活動に関する業績

1997, 琵琶湖のプランクトン写真撮影.

**d 博物館展示活動に関する業績**

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」、 「琵琶湖博物館の展示の変遷」コーナー企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」、 「世界の湖沼展示ができるまで」コーナー企画・制作。

**e 博物館企画調整事業に関する業績**

琵琶湖博物館広報主担当。  
博物館実習計画および実施統括。  
「世界古代湖会議」広報主担当。

**4 人事に関すること**

「琵琶湖の総合的な保全のための計画調査」(国土庁ほか)自然的環境・景観部会委員。

## 1 印刷物

## a 論文など

Rossiter, A. & Yamagishi, S., 1997, Geographical differences in the social system of a lekking cichlid fish. Kawanabe, H., Hori, M. & Nagoshi, M. (eds.) Fish Communities in Lake Tanganyika. , Kyoto University Press, Kyoto, pp.193-218.

## b その他の印刷物

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった、1996年度以前の印刷物

Post-meeting international correspondence, chief editor of ICAL Biology volume, etc.

Beamish, F. W. H., Jebbink, J.A., Rossiter, A. & Noakes, D. L. G., 1996, Growth strategy of lake sturgeon in a northern river. Canadian Journal of Fisheries and Aquatic Sciences. 53: 481-489.

Yanagisawa, Y., Ochi, H., & Rossiter, A., 1996, Intra-buccal feeding of young in an undescribed Tanganyikan cichlid, *Microdontochromis* sp. Environmental Biology of Fishes. 47: 191-207.

Rossiter, A., Beamish, F. W. H. & Noakes, D. L. G., 1995, Validation of age-estimation for lake sturgeon, *Acipenser fulvescens*. Transactions of the American Fisheries Society. 127: 777-781.

Rossiter, A., 1995, The cichlid fish assemblages of Lake Tanganyika: Ecology, behaviour and evolution of its species flocks. Advances in Ecological Research. 26: 187-252.

Rossiter, A., 1994, Territory, mating success, and the individual male in a lekking cichlid fish. Jarman, P. J. & Rossiter, A. (eds). Animal Societies: Individuals, Interactions, and Organisation. Kyoto University Press. pp 43-55.

Rossiter, A., 1994, Individuals and complexity within animal societies. Jarman, P. J. & Rossiter, A. (eds). Animal Societies: Individuals, Interactions, and Organisation. Kyoto University Press. pp 275-278.

Jarman, P. J. & Rossiter, A., 1994, Individuals and interactions. Jarman, P. J. & Rossiter, A. (eds). Animal Societies: Individuals, Interactions, and Organisation. Kyoto University Press. pp 3-10.

Rossiter, A., 1993, Species, species, everywhere. Lake Tanganyika and its life. Environmental Biology of Fishes. 37: 97-101.

Rossiter, A., 1993, Diversity in mating tactics within the ectodine cichlid fishes. Kawanabe, H. & Yuma, M. (eds). Stable Societies - An Ecological Perspective: Biodiversity in Lake Tanganyika. Dogura Press, Kyoto. pp 155-167.

Rossiter, A., 1993, Ecological complexity - first acknowledge, then unravel. Cohen, J. E., Kawanabe, H. & Iwasaki, K. (eds). Mutualism and Community Organization. Behavioural, Theoretical, and Food-web Approaches. Oxford University Press. pp 339-349.

Rossiter, A., 1993, Comparative studies of the cyprichromini (Pisces: Cichlidae). Nagoshi, M., Yanagisawa, Y. & Kawanabe, H. (eds). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VIII. p 25.

Rossiter, A., 1993, Studies of the Ectodini (Pisces: Cichlidae). Nagoshi, M., Yanagisawa, Y. & Kawanabe, H. (eds). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VIII. p 26-27.

Rossiter, A., 1993, The breeding behaviour of *Ophthalmotilapia nasutus*. Nagoshi, M., Yanagisawa, Y. & Kawanabe, H. (eds). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VIII. p 28.

Rossiter, A., 1993, The lek mating system of *Xenotilapia ochrogenys*. Nagoshi, M., Yanagisawa, Y. & Kawanabe, H. (eds). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VIII. p 29.

Rossiter, A., 1993, Further studies on the breeding habits of *Aulonocranus dewindti*. Nagoshi, M., Yanagisawa, Y. & Kawanabe, H. (eds). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VIII. p 30.

Rossiter, A., 1993, Predator effects on the social structure of a lek-forming cichlid. Nagoshi, M., Yanagisawa, Y. & Kawanabe, H. (eds). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VIII. p 31.

Rossiter, A., 1993, Studies on the biology of the shell-dwelling cichlid, *Neolamprologus multifasciatus*. Nagoshi, M., Yanagisawa, Y. & Kawanabe, H. (eds). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VIII. p 32.

Rossiter, A. & Shapola, R., 1993, Algal productivity and species composition along a depth gradient in Lake Tanganyika. Nagoshi, M., Yanagisawa, Y. & Kawanabe, H. (eds). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VIII.

Rossiter, A., 1991, Lunar spawning synchronicity in a freshwater fish. Naturwissenschaften. 78: 182-185.

Rossiter, A., 1991, Ecology in Japan - Present state and future perspectives. Journal of the Society for Researches in Population Ecology. 48: 23-30.

Rossiter, A., 1990, Ecology, environment, and economics: A Pandoran perspective. Kawanabe, H., Ohgushi, T. & Higashi, M. (eds). Ecology for Tomorrow. pp 169-189.

Rossiter, A., 1989, Substratum selection and its role in the microdistribution of a net-spinning caddis larva. Physiology and Ecology, Japan. 26: 39-53.

Rossiter, A., 1989, Factors influencing the distribution of *Hydropsyche* larvae (Trichoptera: Hydropsychidae) The Ecology of Japanese Aquatic Insects. Tokai University Press. pp 30-40.

Rossiter, A., 1989, The abundance and microdistribution of rock-dwelling fishes at Wonzye Point, southern Lake Tanganyika.

- Kawanabe, H. (ed.). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VI. pp 67-68.
- Rossiter, A., 1989, Observations on the reproductive behaviour of *Ophthalmotilapia ventralis* (Pisces, Cichlidae). Kawanabe, H. (ed.). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VI. p 71.
- Rossiter, A., 1989, The influence of territory and nest maintenance on the reproductive success of two colour forms of *Callochromis* sp. Kawanabe, H. (ed.). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VI. p 72.
- Rossiter, A., 1989, Growth and survivorship in broods of *Neolamprologus moorii*. Kawanabe, H. (ed.). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VI. p 73.
- Rossiter, A., 1989, Energy allocation and reproductive success in the cichlid fish *Aulonocranus dewindti*. Kawanabe, H. (ed.). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VI. p 74.
- Rossiter, A., 1989, A survey of the Trichoptera larvae of a southern Lake Tanganyika inflow. Kawanabe, H. (ed.). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VI. p 82.
- Rossiter, A., 1989, Emergence patterns of aquatic insects at a Lake Tanganyika shore. Kawanabe, H. (ed.). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VI. p 83.
- Hori, M., Rossiter, A. & Sato, T., 1989, Abundance and microdistribution of rock-dwelling cichlid fishes at Kasenga, southern Lake Tanganyika. Kawanabe, H. (ed.). Ecology and Limnology of Lake Tanganyika VI. pp 63-66.
- Rossiter, A., 1988, A modified surber sampler, of use in monitoring the microdistribution of benthic invertebrates. Physiology and Ecology Japan. 25: 38-42.
- Rossiter, A., 1986, In defence of 24D: The Japanese Ephemeroptera situation. Antenna 10: 59-60.
- Rossiter, A., 1986, Evolutionary "classics" may self-destruct. Nature 322: 315-316.
- Tanida, K., Kobayashi, M. & Rossiter, A., 1985, A portable current velocity meter for field use. Japanese Journal of Limnology 46: 219-221.

## 2 研究活動に関する業績

### a 学会講演

Kohara, M., Rossiter, A. & Yanagisawa, Y., 1997, Morphometric differences among members of the Japanese *Rhinogobius* species complex. 日本魚類学会年会, 横須賀市博物館.

### b 研究プロジェクト

文部省科学研究費「珊瑚礁の魚の群集の構成と種の加入パターン」, 研究分担者.

文部省科学研究費「日本産ヨシノボリ類複数種群の生態と進化」.

琵琶湖博物館専門研究「魚類群集におけるモルフォスペースの概念」.

琵琶湖博物館共同研究「Fish community structure in Lakes and oceans」, 研究代表者.

### c 学会役員、学会誌レフリーなど

ICAL - Pre-meeting coordination and communication with international attendees During-meeting coordination, master of ceremonies at official functions, international problem-solver, post-session social event organiser

世界古代湖会議バイオロジー版編集主幹.

世界古代湖会議バイオロジー版投稿論文査読.

### d 学生指導、講義など

### e 受賞など

## 3 博物館事業に関する業績

### a 交流・サービス活動に関する業績

国外訪問者案内(随時).

世界古代湖会議セレモニー司会者.

### b 博物館情報活動に関する業績

FM滋賀E-Radio, Music Breeze「琵琶湖への想い」.

### c 博物館資料整備活動に関する業績

### d 博物館展示活動に関する業績

琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」 展示解説書・世界の古代湖ガイド翻訳校正.

### e 博物館企画調整事業に関する業績

世界古代湖会議企画委員会企画委員.

ドイツハノーバー万国博覧会環境基金「リビングレイクスプロジェクト」折衝担当.

#### 4 人事に関すること

## 1 印刷物

## a 論文など

紀平肇・松田征也, 1997, オバエボシガイ *Inversidens brandit* (Kobelt, 1879), 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料(IV). 日本水産保護協会編, 東京, pp.18-21.

福原修一・紀平肇・松田征也・田部雅昭・近藤高貴, 1997, オグラヌマガイの繁殖期. 貝類学雑誌. 56(4): 299-304.

松田征也, 1998, 貝類 生物環境とその変化. 社会的要因が内湖の生物環境に与える影響, p.10.

## b その他の印刷物

松田征也, 1997, 琵琶湖の魚と環境(4)イサザ. 大津赤十字病院編「日赤おおつ」, 大津赤十字病院, 大津, (196): 1.

松田征也, 1997, 琵琶湖の魚と環境(7)ぼてじゃこ. 大津赤十字病院編「日赤おおつ」, 大津赤十字病院, 大津, (199): 1.

松田征也, 1997, 類琵琶湖の魚と環境(9)カワニナ. 大津赤十字病院編「日赤おおつ」, 大津赤十字病院, 大津, (201): 1.

松田征也, 1998, C展示室淡水の生き物たち. 川那部浩哉・千地万造・井倉孝・木村滋編「滋賀県立琵琶湖博物館総合案内」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.72-85.

前畑政善・秋山廣光・藤岡康弘・桑原雅之・松田征也, 1997, 松田征也編「水族企画展 ブラジルの淡水魚」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 8pp.

前畑政善・秋山廣光・藤岡康弘・桑原雅之・松田征也, 1997, 松田征也編「水族企画展 古代湖の世界」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 8pp.

前畑政善・秋山廣光・藤岡康弘・桑原雅之・松田征也, 1997, 松田征也編「水族企画展 北海道の淡水魚」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 8pp.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

松田征也・橋本慶子・御葉袋聡, 1997(6月4日), 性腺刺激ホルモンを用いたスゴモロコの繁殖. 第63回近畿ブロック水族館飼育係研修会, (株)串本海中公園センター.

中井克樹・松田征也・上西 実, 1998(2月28日-3月1日), 琵琶湖におけるカワヒバリガイの分布拡大. 日本貝類学会平成10年度大会, 名古屋大学理学部.

## b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する総合研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の整理と保管と利用に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖、その成立と人間生態系に関する総合研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」, 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「日本産希少淡水魚の遺伝的多様性の研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「ピワコミズシタダミの生態学的研究」.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

## d 学生指導、講義など

## e 受賞など

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

1997(7月12日), 淡水魚入門講座-講義編-日本の淡水魚の現状と保全. 琵琶湖博物館講座, 琵琶湖博物館.

1997(7月21日), 八幡市の淡水生物について. 八幡市青年会議所.

1997(10月4日), 日本の淡水魚の現状と保全. 同志社大学公開講座, 同志社大学田辺校地.

1997(8月30日), びわ湖の貝を調べてみよう. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.

1998(3月1日), 水辺の貝を調べようフィールドレポーター交流会. 結果報告と講評.

1998(2月13日), 滋賀県理科助手教員研修.

1998(3月7日), 水族館探検隊. 琵琶湖博物館探検, 琵琶湖博物館.

**b 博物館情報活動に関する業績**

1997, 滋賀県立琵琶湖博物館貝類標本データベースの画面設計

**c 博物館資料整備活動に関する業績**

淡水産貝類標本資料登録準備作業. 5,767種 約10,500点.

北海道産淡水魚類. 17種約100点.

世界の淡水貝標本類の体系的収集.

奇贈貝類標本に関する資料整備.

**d 博物館展示活動に関する業績**

琵琶湖博物館水族企画展示「ブラジルの淡水魚」. 企画・魚類収集・実施.

1 琵琶湖博物館水族企画展示「北海道の淡水魚」. 企画・魚類収集・実施.

琵琶湖博物館水族展示カメ池改修工事企画レイアウト作成.

**e 博物館企画調整事業に関する業績**

**4 人事に関すること**

## 1 印刷物

## a 論文など

Toda, T., 1997, Satellite Thermal Remote Sensing in the BITE'93 Area. *The Japanese Journal of Limnology*, 57(4-2): 553-558.

## b その他の印刷物

戸田孝, 1997, 風が吹けば桶屋がもうかる?!. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (3): 7.

高見澤清隆・戸田孝・浅井勝利・山脇一幸・名倉香子, 1997, ミュージアムのホームページ、どうしていますか. 月刊ミュージゼ, 24: 8-10.

戸田孝, 1997, 回転実験室製作経過. 琵琶湖博物館編, 「博物館ができるまで」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.52-55

戸田孝・濱尾研児, 1998, 資料整理と情報システム. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (6): 4-5.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

戸田孝, 1997(5月30日), 琵琶湖博物館の回転実験室—湖流力学の理解のために. 陸水物理研究会第19回大会, 別府ビコンプラザ.

大西行雄・松井一幸・戸田孝, 1997(6月28日), 湖環境への理解をうながすプロセスとしての情報ネットワークづくり. 世界古代湖会議, 琵琶湖博物館.

戸田孝・松井一幸, 1997(11月23日), ビワコダス—通信ネットワークを用いた住民参加型気象観測. 滋賀大学国際シンポジウム'97, 大津市生涯学習センター.

## b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸生態系の構造と動態に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「住民参加による気象情報の収集と分析に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖水流動の微細構造の研究手法の検討」.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

日本陸水学会編集委員.

陸水学雑誌のレフリー2件.

## d 学生指導、講義など

1997(8月7日), 博物館実習. 琵琶湖博物館の情報事業.

## e 受賞など

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

1997(1月30日), 討議「博物館におけるコンピュータ活用とマルチメディア」事例発表. 日本博物館協会博物館指導者協議会庶務部門, 琵琶湖博物館.

1997(8月5日), 回転実験室応用編. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.

## b 博物館情報活動に関する業績

1 琵琶湖博物館情報システム貸借期限満了機器の更新にあたっての内部ニーズのとりまとめ.

琵琶湖博物館情報システムソフトウェア追加開発にあたっての内部ニーズのとりまとめ.

琵琶湖博物館情報システムの運転管理.

琵琶湖博物館ホームページの内容更新.

琵琶湖博物館Fax情報提供システムの内容更新.

琵琶湖博物館情報利用室の運営.

## c 博物館資料整備活動に関する業績

日本の湖沼風景撮影(池田湖および周辺小湖沼).

**d 博物館展示活動に関する業績**

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」，「回転実験室づくりのウラ話」コーナー企画・制作。

**e 博物館企画調整事業に関する業績**

1997年6月，「世界古代湖会議」映像機器操作担当。

**4 人事に関すること**

## 1 印刷物

## a 論文など

## b その他の印刷物

芦谷美奈子・染川香澄, 1997, アレ, コレためして! ディスカバリー. 月刊ミュゼ, 26: 10-13.

芦谷美奈子, 1997, ディスカバリー・ルームができるまで. 高橋啓一編, 「琵琶湖博物館開館までのあゆみ」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.145-147.

芦谷美奈子他, 1997, ディスカバリー・ルーム「ザリガニ」の作り方. 琵琶湖博物館編, 「博物館ができるまで」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.65-67.

芦谷美奈子・芳賀裕樹, 1997, 展示解説編「ティティカカ湖」. 宮本真二・アト・リュウ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.9-12.

芦谷美奈子・芳賀裕樹, 1997, 世界の古代湖ガイド「ティティカカ湖」. 宮本真二・アト・リュウ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.65-74.

芦谷美奈子, 1998, ベンチャーズもの三点, Duet, (58): 9.

芦谷美奈子, 1998, ディスカバリー・ルーム. 川那部浩哉・千地万造・井倉孝・木村滋編「滋賀県立琵琶湖博物館総合案内」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.88-93.

芦谷美奈子, 1998, 「地蔵川の水生植物」. 米原町教育委員会「ハリヨ生態調査報告書」, 18-22.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

芦谷美奈子, 1997 (1月25日), イバラモにおける雄株と雌株の動態について, 種子植物談話会, 大阪市立自然史博物館.

## b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸域の生態系と動態に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖, その成立と自然・人間生態系に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「子ども博物館の展示と利用に関する研究」, 研究代表者.

琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」, 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「屋外展示空間の生物群集と環境の変化のモニタリング」, 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「イバラモの雌雄比および雌雄分布とシュート成長に関する研究」.

米原町教育委員会委託調査「地蔵川のハリヨ調査」, 水生植物担当.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

## d 学生指導、講義など

## e 受賞など

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

1997(8月7日), 米原町ハリヨ探検(水草観察). 米原町教育委員会主催, 米原町醒井公民館.

1997(12月11日), 琵琶湖博物館の情報システムについて. 日本博物館協会研究協議会(歴史系), 国立民族学博物館.

1997(12月25日), 琵琶湖の環境について. 志賀堅田ライオンズクラブ, 琵琶湖博物館.

1998(3月19日), ヨシ帯の生態学—植物としてのヨシを中心に—. 近江八幡市役所.

1997(8月9日), 来館者調査(指導とまとめ). 琵琶湖博物館学芸員実習.

1997(3月9日), ヨシ笛をつくってみよう. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.

1998(3月14日), ヨシ笛をつくろう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

## b 博物館情報活動に関する業績

## c 博物館資料整備活動に関する業績

映像資料「中国洞庭湖の漁業—変わりゆく漁法と養殖」監修, ドキュメンタリージャパン(株), 琵琶湖博物館.

映像資料「水辺の植物トトラと暮らす。(南アメリカ・ティティカカ湖)」監修, ドキュメンタリージャパン(株), 琵琶湖博物館.

**d 博物館展示活動に関する業績**

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」, 「ディスカバリー・ルームができるまで」コーナー企画・制作.  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, 「ティティカカ湖」コーナー企画・制作.

**e 博物館企画調整事業に関する業績**

「世界古代湖会議」広報担当および要旨翻訳(部分担当).

**4 人事に関すること**

滋賀県淡海環境保全事業財団, ヨシ群落減退地域原因調査研究会委員.  
滋賀県彦根土木事務所, 琵琶湖河川再生事業に関する地域協議会委員.  
滋賀県長浜土木事務所, 琵琶湖河川再生事業に関する地域協議会委員.

## 1 印刷物

## a 論文など

## b その他の印刷物

中藤容子, 1997, 新撰淡海小間撰其の二「ナガシモチのオトリ」. Duet 52(1/2): 9.

中藤容子, 1997, 琵琶湖博物館収蔵の民具たち. 琵琶湖博物館編, 「博物館ができるまで」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.70-71.

中藤容子, 1997, 子どもと水, 水辺の遊びとその道具. 琵琶湖博物館編「琵琶湖博物館開館1周年企画展私とあなたの琵琶湖アルバム」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.54-58.

前畑政善・秋山廣光・桑原雅之・中藤容子・桑村邦彦・松田征也, 1997, 北海道の人びととサケとの関わりの歴史. 松田征也編「水族企画展 北海道の淡水魚」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, pp.1.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

## b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」, 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「近江の民具から見た人々の暮らしの多様性」.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

近江八幡市教育委員会「近江八幡の火祭り調査」調査員.

## d 学生指導、講義など

## e 受賞など

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

1997(2月22日), 歴史展示の舞台裏. 琵琶湖博物館探検, 琵琶湖博物館.

1997(12月6日), 「湖と人の歴史」民俗資料をめぐる博物館の活動. 琵琶湖博物館入門セミナー, 琵琶湖博物館.

1998(1月31日), 「琵琶湖の民俗・民族・みんぞく」琵琶湖水系の漁具—展示室と収蔵庫を巡って—. 琵琶湖博物館博物館講座, 琵琶湖博物館.

## b 博物館情報活動に関する業績

琵琶湖博物館民俗データベースの整備.

琵琶湖博物館画像データベース(民具)の整備.

## c 博物館資料整備活動に関する業績

琵琶湖博物館所蔵民具資料の修復保存処理指導(元興寺文化財研究所).

琵琶湖博物館所蔵民具資料の再登録・整理.

## d 博物館展示活動に関する業績

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」, 「琵琶湖博物館年表」および「琵琶湖博物館収蔵の民具たち」コーナー企画・制作.

琵琶湖博物館B展示室「琵琶湖の漁具」コーナー, 琵琶湖の漁具データベースの整備.

## e 博物館企画調整事業に関する業績

## 4 人事に関すること

## 1 印刷物

## a 論文など

- 遊磨正秀・田中哲夫・竹門康弘・中井克樹・測側祐一・小原明人・今泉真知子・佐藤浩・土井田幸郎, 1997, 瀬田月輪大池における魚類群集の変遷—12年間の生物学実習の結果より—. *Bulletin of Shiga University of Medical Science (General Education)*, 8: 19-36.
- Nakai, K., 1997, Preliminary investigation of the littoral zone ecosystem of Lake Baikal. 遊磨正秀・川那部浩哉編, *BBTM湖(琵琶湖・バイカル湖・タンガニカ湖・マラウイ湖)生態系における生物多様性促進機構の比較研究*, pp.25-28.
- Nakai, K., Kusuoka, Y. & Yamasaki, H., 1997, Molluscan fauna on the Zambian coast of Lake Tanganyika. Hori, M. (ed.), *Ecological and Limnological Study on Lake Tanganyika and its Adjacent Regions X*, 28-29.
- Nakai, K., 1997, Distribution and abundance of large-sized molluscs and empty shells of *Neothauma tanganyicense* on the sandy bottom of southern Lake Tanganyika. Hori, M. (ed.), *Ecological and Limnological Study on Lake Tanganyika and its Adjacent Regions X*, 30-31.
- 嘉田由紀子・中井克樹編, 1997, 「世界古代湖会議～古代湖における生物と文化の多様性」要旨集. 世界古代湖会議実行委員会, 258pp.
- 中井克樹・成田哲也・遊磨正秀, 1998, 琵琶湖沿岸域における底生動物群集. 川那部浩哉・遊磨正秀編平成7-9年度文部省科学研究費基盤研究(B)(2)「琵琶湖沿岸域における環境変動とそれに対する生物群集の動態」研究成果報告書, pp.9-26.
- 遊磨正秀・中井克樹, 1998, トウヨシノボリの遡上行動と琵琶湖の水位変動. 川那部浩哉・遊磨正秀編, 平成7～9年度文部省科学研究費基盤研究(B)(2)「琵琶湖沿岸域における環境変動とそれに対する生物群集の動態」研究成果報告書, pp.27-38.
- 中井克樹, 1998, 琵琶湖における外来種の現状と問題点～とくにカワヒバリガイと「バス問題」について～. 川那部浩哉・遊磨正秀編平成7～9年度文部省科学研究費基盤研究(B)(2)「琵琶湖沿岸域における環境変動とそれに対する生物群集の動態」研究成果報告書, pp.63-70.(関西自然保護機構機関誌, 18: 87-94, 1996; の再録)
- 嘉田由紀子・森野泰起・中井克樹・牧野久実・川崎真紀子編, 1998, 「世界古代湖会議～古代湖における生物と文化の多様性」報告書. 世界古代湖会議実行委員会, 225pp.

## b その他の印刷物

- 中井克樹, 1997, 古代湖・生物・人. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (3):4-5.
- 中井克樹, 1997, 古代湖ってなに? 宮本真二・アンドリュウ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp. 3-4.
- 桑原雅之・中井克樹, 1997, バイカル湖. 宮本真二・アンドリュウ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp. 5-8.
- 嘉田由紀子・中井克樹・山崎博史, 1997, アフリカ大地溝帯の湖～タンガニカ湖, マラウイ湖/ニアサ湖, ヴィクトリア湖. 宮本真二・アンドリュウ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp. 13-18.
- 桑原雅之・中井克樹, 1997, バイカル湖. 宮本真二・アンドリュウ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp. 21-28.
- 中井克樹, 1997, アフリカ大地溝帯と古代湖. 宮本真二・アンドリュウ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp. 33-34.
- 嘉田由紀子・中井克樹・山崎博史, 1997, タンガニカ湖. 宮本真二・アンドリュウ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.35-42.
- 嘉田由紀子・中井克樹, 1997, マラウイ(ニアサ)湖. 宮本真二・アンドリュウ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.43-48.
- 嘉田由紀子・中井克樹・中島経夫, 1997, 琵琶湖. 宮本真二・アンドリュウ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.49-56.
- 牧野久実・中井克樹, 1997, キネレット(ガラヤ)湖. 宮本真二・アンドリュウ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp. 57-64.
- 嘉田由紀子・前畑政善・秋山廣光・松田征也・中井克樹・桑村邦彦・桑原雅之, 1997, 「水族企画展 古代湖の世界—個性的な生き物たち—」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 8pp.
- 中井克樹, 1997, カタツムリ調査の手引き. 身近な環境調査資料集(生物調査1993年～1997年), 琵琶湖博物館, 草津, pp. 38-40(1994年印刷物の再録).
- 中井克樹, 1997, 琵琶湖博物館準備室平成6年度参加型調査「カタツムリ調査」の結果(参加者用). 身近な環境調査資料集(生物調査1993年～1997年), 琵琶湖博物館, 草津, pp. 50-53(1994年印刷物の再録).
- 中井克樹, 1997, 琵琶湖博物館準備室平成6年度参加型調査「カタツムリ調査」の結果～中間報告. 身近な環境調査資

- 料集(生物調査1993年～1997年), 琵琶湖博物館, 草津, pp. 55-76(1994年印刷物の再録).
- 中井克樹, 1998, 水中から見た琵琶湖バス事情. TOP ANGLER(つりトップ別冊) Vol.1: 76-77.
- 中井克樹, 1998, 「水ガメ」から「母なる湖」へ. 瀬戸内海, No.13: 4.
- 中井克樹, 1998, フィールドへ出よう! 滋賀県のカタツムリ. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (6):7.

c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

2 研究活動に関する業績

a 学会講演

- 中井克樹, 1997(3月27日), カワヒバリガイなど淡水棲移入種の影響と対策. 日本生態学会第44回大会, 北海道大学.
- 中井克樹・中島経夫・前畑政善, 1997年(6月24日), 古代湖としての琵琶湖～生態系の現状. 世界古代湖会議, 琵琶湖博物館.
- Timoshkin, O. A., Wada, E., Kawakatsu, M, Nakai, K. & Nishino, M., 1997年(6月24日), Biodiversity of Lake Biwa - New findings and prospects for research. 世界古代湖会議, 琵琶湖博物館.
- 中井克樹・松田征也・上西実, 1998年(2月28日), 琵琶湖におけるカワヒバリガイの分布拡大. 日本貝類学会平成10年度大会, 名古屋大学.

b 研究プロジェクト

- 琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸域の生態系と動態に関する研究」, 研究分担者.
- 琵琶湖博物館総合研究「水生生態系と人間活動に関する研究」, 研究分担者.
- 琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖, その成立と自然・人間生態系に関する研究」, 研究分担者.
- 琵琶湖博物館共同研究「屋外展示空間の生物群集と環境の変化のモニタリング」, 研究分担者.
- 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖における外来生物に関する研究」.
- 平成7～9年度文部省科学研究費基盤研究B(2)「琵琶湖沿岸域における環境変動とそれに対する生物群集の動態」, 研究分担者.
- 文部省創成的基礎研究(新プロジェクト)「地球環境攪乱下における生物多様性の保全及び生命情報の維持管理に関する総合的基礎研究」, 湖沼研究班(バイカル湖)研究協力者.
- トヨタ財団「アフリカ・マラウィ湖周辺の人々の湖沼生活文化に根ざした生態系保全の方法開発に関する研究」, 研究分担者.

c 学会役員、学会誌レフリーなど

- 世界古代湖会議実行委員会企画委員.
- 日本BICER協議会将来構想検討委員会幹事.
- BICER, BDP and DIWPA Joint International Symposium on Lake Baikal, Vice-Secretary of Local Organizing Committee.
- 山口貝類同好会査読協力員.
- 世界古代湖会議論文集投稿論文査読.

d 学生指導、講義など

- 1997, 滋賀医科大学生物学実習(1年生対象・動物生態学).
- 1997, 生物学特論(1年生対象・陸水生物学).
- 1997, 生物学特論(2年生対象・陸水生物学).

e 受賞など

3 博物館事業に関する業績

a 交流・サービス活動に関する業績

- 1997(4月23日), 琵琶湖のシジミのはなし～日本のシジミ/琵琶湖の貝. 瀬田シジミまつり, 琵琶湖博物館.
- 1997(8月24日), 琵琶湖の生態系とその現状. 関西自然科学研究会, 琵琶湖博物館.
- 1997(11月11日), 琵琶湖の生きものたち～最近の話題～. 大阪府下水道事業促進協議会水質管理部会研修会, 琵琶湖博物館.
- 1997(11月13日), 琵琶湖の生きものたちとその現状. 京都大学大学院人間・環境研究科公開講座(第2回)1997「地中・水中から見た自然と人とのかかわり」, 京都大学人間・環境研究科.
- 1998(2月9日), 琵琶湖における外来生物に関する研究(専門研究発表). 琵琶湖博物館研究セミナー, 琵琶湖博物館.
- 1998(2月19日), 琵琶湖の環境の現状と保全～大型生物の視点から～. 瀬戸内海環境保全協会賛助会員研修会, 琵琶湖博物館.
- 1998(2月23日), 里山の生きもの～カタツムリ. KBS京都ラジオ「西村寿一のめざましラジオ」今日のお客さま.
- 1998(3月10日), カワヒバリガイを追う. NHKラジオジャパン「コラム」.
- 1997(8月23-24日), 琵琶湖博物館夏休み相談室貝類担当. 琵琶湖博物館

1997(8月30日), 琵琶湖の貝を調べてみよう。琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館。

#### b 博物館情報活動に関する業績

写真データベース(世界の古代湖)データ入力。

#### c 博物館資料整備活動に関する業績

琵琶湖博物館貝類標本データベースの画面設計。  
世界の淡水貝類標本類の体系的収集。  
奇贈貝類標本に関する資料整備。

#### d 博物館展示活動に関する業績

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」, 「世界の湖沼展示ができるまで」コーナー企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, 「古代湖の世界」企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, 造型「エントランスゾーン」コーナー企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, 造型「シンボルオブジェ」コーナー企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, パネル「古代湖分布マップ」コーナー企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, 模型「古代湖ジオグラフィックショーケース」コーナー企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, ビデオ「古代湖ダイナミックビジョン」コーナー企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, ジオラマ「バイカル湖の水中世界」コーナー企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, ビデオ「バイカルアザラシ」コーナー企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, パネル「アフリカ大地溝帯の湖」コーナー企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, パネル「カワスズメの多様性」コーナー企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, ジオラマ「タンガニーカ湖の水中世界」コーナー企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, ビデオ「カワスズメの子育て」, 琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, ビデオ「カワスズメのエサのとり方」コーナー企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, 操作パネル「いろいろな形の歯」コーナー企画・制作。  
琵琶湖博物館水族企画展「古代湖の世界—個性的な生き物たち—」, 展示水族解説板企画・制作。  
琵琶湖博物館水族企画展「古代湖の世界—個性的な生き物たち—」, パネル「古代湖~生物進化の舞台~」コーナー企画・制作。

#### e 博物館企画調整事業に関する業績

世界古代湖会議実行委員会企画委員。

#### 4 人事に関すること

環境庁希少野生動物種保存推進員。

平成9年度環境庁自然環境保全基礎調査検討会検討員(無脊椎動物分科会)。

滋賀県生きもの総合調査委員会専門委員(魚・貝類部会)。

建設省関東地方建設局利根川下流工事事務所利根川下流ヤマトシジミ検討会委員。

1997(7月30日~8月20日), ロシア連邦・バイカル湖出張, 文部省創成的基礎研究(新プロジェクト), 「地球環境攪乱下における生物多様性の保全及び生命情報の維持管理に関する総合的基礎研究」, 湖沼研究班(バイカル湖)研究協力者として。

## 1 印刷物

## a 論文など

- 牧野久実, 1997, 「イスラエル人考古学者の心のふるさと、ハツォール」. 月刊みりとす(21): 20-23.  
 牧野久実, 1997, 「聖書の民族は証明できる?」. 月刊みりとす, (23): 31-37.  
 牧野久実, 1997, 「注目される古代湖キネレット」. 月刊みりとす, (26): 44-47.  
 牧野久実, 1997, 「水と平和、そして文化」. 月刊みりとす, (29): 41-44.  
 牧野久実, 1997, 「水と平和、そして文化(その2)」. 月刊みりとす, (30): 41-45.  
 伊藤栄明・石黒真木夫・上田澄江・牧野久実, 1998, 「ヌジ人名資料からの系図の復元について」. シンポジウム人文科学における数量的分析, (3): 5-10.

## b その他の印刷物

- 牧野久実, 1997, キネレット湖. 琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」 展示解説書・世界の古代湖ガイド, pp.57-64.  
 牧野久実, 1997, 「丸子船の陰の立役者」. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (2): 6.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

- 牧野久実, 1997(6月24日～6月28日), 世界古代湖会議ポスター発表「船大工のネットワーク」. 琵琶湖博物館.  
 伊藤栄明・石黒真木夫・上田澄江・牧野久実, 1998(3月9日), 「ヌジ人名資料からの系図の復元について」. シンポジウム人文科学における数量的分析(3), 文部省統計数理研究所.

## b 研究プロジェクト

- 文部省科学研究費重点領域研究「古代社会の人口復元」, 研究分担者.  
 科学研究費助成研究「遺跡土壌に含まれる有機遺物の採集・分析法の開発」, 研究分担者.  
 笹川財団助成研究「木造船の保存処理に関する研究」, 研究分担者.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

- 牧野久実, 1997(6月24日), 世界古代湖会議分科会座長.  
 牧野久実, 1998(4月1日)～2000(3月31日), 国立民族学博物館協力者.  
 牧野久実, 1998, 世界古代湖会議出版物レフリー2件.

## d 学生指導、講義など

## e 受賞など

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

- 1997(2月26日)丸子船について. 近畿地区教育研究研修会, 琵琶湖博物館.  
 1997(3月24日)湖と遺跡. 犬上郡教育振興協議会文化財部会例会, 琵琶湖博物館.  
 1997(8月28日)丸子船について. 県総合教育センター社会科体験講座, 琵琶湖博物館.  
 1997(9月4日)丸子船について. 兵庫県教育研究研修会, 琵琶湖博物館.  
 1997(11月21日)丸子船について. 京都府立東宇治高等学校セミナー, 琵琶湖博物館.  
 1997(12月5日)丸子船について. 大阪府教育委員会文化財保護課セミナー, 琵琶湖博物館.  
 1998(2月7日)丸子船について. 滋賀県立大津口高等学校セミナー, 琵琶湖博物館.

## b 博物館情報活動に関する業績

## c 博物館資料整備活動に関する業績

- 琵琶湖木造船模型製作.

## d 博物館展示活動に関する業績

- 琵琶湖博物館企画展「世界の古代湖」, 「世界の文化的古代湖」コーナー企画・制作.

e 博物館企画調整事業に関する業績  
世界古代湖会議企画委員会企画委員。

#### 4 人事に関すること

**1 印刷物****a 論文など****b その他の印刷物**

- 芳賀裕樹他, 1997, 一琵琶湖の琵琶湖らしさを理解するためにー「世界の湖沼」展示ができるまで. 琵琶湖博物館編, 「博物館ができるまで」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.57-59.
- 芳賀裕樹・芦谷美奈子, 1997, 展示解説編ティティカカ湖. 宮本真二・アン・リュウ・ロケル・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.9-12.
- 芳賀裕樹・芦谷美奈子, 1997, 世界の古代湖ガイドティティカカ湖. 宮本真二・アン・リュウ・ロケル・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.65-74.
- 芳賀裕樹, 1997, 琵琶湖博物館における画像データベース. 琵琶湖博物館1周年企画展「あなたと私の琵琶湖アルバム」展示ガイド, pp.102-103.
- 芳賀裕樹, 1997, 湖水と物質の動きを調べる. 川那部浩哉・千地万造・井倉孝・木村滋編「滋賀県立琵琶湖博物館総合案内」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.64.

**c 琵琶湖博物館業績集1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物****2 研究活動に関する業績****a 学会講演****b 研究プロジェクト**

- 琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸生態系の構造と動態に関する研究」, 研究代表者.
- 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖湖水に於ける溶存有機物、特に溶存アミノ酸の挙動について」.
- 米原町教育委員会委託調査「米原町のハリヨ調査」, 分担研究者.
- 米原町教育委員会委託調査「地蔵川の水質」, 分担研究者.

**c 学会役員、学会誌レフリーなど****d 学生指導、講義など****3 博物館事業に関する業績****a 交流・サービス活動に関する業績**

- 1997(1月15日), 烏丸半島の水鳥. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.
- 1997(7月2日, 5日), 水際の生態. 琵琶湖博物館入門セミナー, 琵琶湖博物館.
- 1997(7月27日), 琵琶湖の魚は何を食べているか. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.
- 1997(7月), ミクロな生きもの観察会. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.

**b 情報活動に関する業績**

- 静止画データベースの設計・運用・資料登録に関する事業統括  
(静止)画像データベース(一般公開用)の設計.
- 静止画資料のフォトCD化に関すること.
- 静止画資料(フィルム)の整理方針の策定ならびに実務.
- 動画資料の情報利用室ビデオ・オン・デマンドシステムへの登録・運用.
- 琵琶湖博物館静止画資料収集に関する事業統括.
- 琵琶湖博物館動画資料整理. 629件登録.
- 動画資料「今月のびわ湖」11本製作.
- 動画資料の購入に関すること.
- 博物館への寄贈を希望する動画資料の内容についてのレポート作成に関すること.

**c 資料整備活動に関する業績**

- 収蔵庫の環境測定に関すること.

**d 展示活動に関する業績**

- 琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」. 「世界の湖沼展示ができるまで」コーナー企画・制作.

琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」，「ティティカカ湖」コーナー企画・制作.

琵琶湖博物館企画展示「あなたと私の琵琶湖アルバム」，画像データベースコーナー企画・制作.

**e 企画調整事業**

「世界古代湖会議」映像機器操作担当.

**4 人事に関すること**

1 印刷物

a 論文など

b その他の印刷物

亀田佳代子, 1998, フィールドへ出よう! 「あなたもフィールドレポーターになってみませんか?」. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど (湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (5): 7.

亀田佳代子, 1997, 「ミルクで子育てをするキジバト」. 日本野鳥の会京都支部会報(88): 20.

亀田佳代子ほか, 1997, 世界の古代湖ガイド「ティティカカ湖」. 宮本真二・アト・リュー・ロケ・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.69-70.

c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

2 研究活動に関する業績

a 学会講演

亀田佳代子・東正彦・山村則男・安部琢哉, 1997(3月28日), ミルク給餌をする鳥のクラッチサイズ理論. 第44回日本生態学会大会, 札幌.

亀田佳代子, 1997(9月21日), マレーシアにおけるクリイロバンケンモドキ *Rhinorthis chlorophaeus* の繁殖記録. 1997年度日本鳥学会大会, 新潟.

b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「水生生態系と人間活動に関する総合研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」, 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「屋外展示空間の生物群集と環境の変化のモニタリング」, 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖周辺に生息する鳥類の生態学的研究」.

c 学会役員、学会誌レフリーなど

日本鳥学会選挙管理委員.

鳥(Strix(日本野鳥の会学術誌))レフリー1件.

d 学生指導、講義など

e 受賞など

3 博物館事業に関する業績

a 交流・サービス活動に関する業績

1997(7月4日), 身近な鳥のくらしや子育て. 草津市立常盤小学校「鳥や花と心を結ぶ常盤っ子の集い」, 草津市志那中町.

1997(7月12日), 身近な鳥の生態—ミルクで子育てをするキジバトの繁殖様式—. びわ科学懇談会第21回公開懇談会, 彦根市滋賀県立大学.

1997(10月27日), 身近な鳥と人とのかわり. 信楽町立信楽中学校「環境教育講演会」, 甲賀郡信楽町.

1997(10月15日), NHK衛星第2野鳥百景「キジバト」. 解説・撮影.

1997(12月7日), 身近な環境調査—琵琶湖博物館のとりくみ. 地学団体研究会京都支部会「我々の身近な環境を考える」, 京都市伏見区京都教育大学.

1997(12月13日), 第6回チャレンジクラブ～琵琶湖・草津ウォッチングパート4～. くさつチャレンジクラブ, 草津市下物琵琶湖博物館.

1997(1月15日), 烏丸半島の水鳥. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.

1997(7月2日, 5日), 水際の生態学. 琵琶湖博物館入門セミナー, 琵琶湖博物館.

1998(1月10日, 24日), 水鳥に親しもう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館

1998(2月8日), 琵琶湖の水鳥かんさつ会. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館

1998(3月1日), フィールドレポーター交流会. 琵琶湖博物館フィールドレポーター, 琵琶湖博物館.

b 博物館情報活動に関する業績

c 博物館資料整備活動に関する業績

d 博物館展示活動に関する業績

琵琶湖博物館C展示いきものコレクション「滋賀の鳥」引き出しの展示作成・写真受け入れ.

e 博物館企画調整事業に関する業績

4 人事に関すること

滋賀県生きもの総合調査委員会専門委員(鳥類部会), 滋賀県自然保護課.

## 1 印刷物

## a 論文など

- 里口保文, 1997, 上総層群の火山灰層序及び上総・大阪・魚沼層群のテフロゾーンの比較. 地球科学, 51: 104-116.
- 吉川周作・三田村宗樹・内山高・長橋良隆・槻木玲美・Edy Sunarudi・里口保文・橋本定樹・山本岩雄・田中里志・山崎博史・佐藤隆春・市川秀之, 1997, 大阪狭山市狭山池堆積物における液状化跡. 地質学雑誌, 103: 982-989.
- 里口保文・吉川周作, 1998, 野洲川の火山灰. 甲西町朝国の野洲川河床足跡化石調査報告, 甲西町教育委員会, pp.19-23

## b その他の印刷物

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

- Nakayama, K., Yoshikawa, S., Nagahashi, Y., Satoguchi, Y., Kono, K., 1994, A pyroclastic flow deposit intercalated in the Upper Cenozoic Tokai Group, central Japan. The Journal of the Geological Society of Japan., 100: 880-883.
- 里口保文, 1995, 上総層群中・下部の火山灰層序. 地質学雑誌, 101: 767-782.
- Satoguchi, Y., 1996, Tephrostratigraphy of Quaternary Systems in the Boso Peninsula, Japan. Proceedings on the Research of stratotype for the Lower-Middle Pleistocene boundary, 24-35.
- 里口保文・吉川周作・笹尾英嗣・長橋良隆, 1996, 静岡県の新鮮一更新統掛川層群上部の火山灰層とその広域対比. 地球科学, 50: 483-500.
- 吉川周作・里口保文・長橋良隆, 1996, 第三紀・第四紀境界層準の広域火山灰層—福田・辻又川・Kd38火山灰層—. 地質学雑誌, 102: 258-270.
- 三田村宗樹・吉川周作・里口保文・内山高・Edy Sunardi・橋本定樹・山本岩雄・田中里志・山崎博史・佐藤隆春・市川秀之, 1995, 大阪狭山市狭山池北堤体の崩壊断面について. Proceedings of the 5th Symposium on Geo-Environments and Geo-technics, 45-50.

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

- 里口保文, 1997, 掛川層群の火山灰層. 化石研究会学術大会, 静岡県清水市.

## b 研究プロジェクト

- 琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖周辺域における過去一万年間の自然環境と人間活動の変遷」, 研究分担者.
- 琵琶湖博物館共同研究「古琵琶湖層群の足跡化石調査とその研究法の開発」, 研究分担者.
- 琵琶湖博物館専門研究「古琵琶湖層群とその同時代の堆積層に挟在する火山灰層の対比」.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

## d 学生指導、講義など

## e 受賞

- 1997, 日本地質学会研究奨励賞.

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

- 1997(5月7日, 5月10日), 琵琶湖のおいたち. 琵琶湖博物館入門セミナー前期, 琵琶湖博物館.
- 1997(11月19日, 11月22日), 大地の歴史. 琵琶湖博物館入門セミナー後期, 琵琶湖博物館.
- 1997(12月14日), 地層のできた. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.
- 1997, 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (3-6)企画.

## b 博物館情報活動に関する業績

## c 博物館資料整備活動に関する業績

- 地学収蔵庫資料整理マニュアル.

## d 博物館展示活動に関する業績

- 平成10年度琵琶湖博物館企画展示「絶滅と進化, 動物化石が語る東アジア500万年」. 企画副担当.

e 博物館企画調整事業に関する業績

4 人事に関すること

1997（4月1日），滋賀県技術吏員に任命、琵琶湖博物館学芸技師，滋賀県知事.

## 1 印刷物

## a 論文など

- 遊磨正秀・嘉田由紀子・藤岡正弘, 1997, 水辺の遊びに見る生物相の時代変遷と意識変化. 琵琶湖博物館研究調査報告書, (9): pp.1-207.
- 嘉田由紀子, 1997, 写真が語る環境の変遷. 琵琶湖博物館編「琵琶湖博物館開館1周年企画展 私とあなたの琵琶湖アルバム」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.6-53.
- 嘉田由紀子, 1997, 生活実践からつむぎ出される重層的所有観—余呉湖周辺の共有資源の利用と管理. 環境社会学研究, 3: 72-85.
- 嘉田由紀子, 1997, ウンコ・オシッコを水に流さない精神文化をもとめて—住民参加の水環境カルテ調査から—. 水情報, 17(10): 3-6.
- 嘉田由紀子, 1997, 都市化に伴う環境認識の変遷—映像による小さな物語—. 青木保他編, 「岩波講座「文化人類学」2」, 岩波書店, 東京, pp.1-33.
- 嘉田由紀子, 1997, 多様なかわりを忘れた二十世紀日本. 京都総合研究所編, 「京都大学の世紀子1897-1997」, (株)紫翠会出版, 京都, pp. 54-58.
- 遊磨正秀・嘉田由紀子・中山節子, 1998, 身近な水辺環境における「人—水辺—生物」間の相互作用—滋賀県余呉湖周辺の事例から—. 環境技術, 27(4): 289-295.

## b その他の印刷物

- 嘉田由紀子, 1997, 琵琶湖は展示可能か?—琵琶湖博物館開館直後の一学芸員のつぶやき—. 民博通信, 76:1-16.
- 嘉田由紀子・中井克樹 (編), 1997, 「世界古代湖会議—古代湖における生物と文化の多様性」要旨集. 世界古代湖会議実行委員会, 258pp.
- 嘉田由紀子, 1997, 昭和39年5月10日:富江家生活情景再現展示ができるまで. 琵琶湖博物館編, 「博物館ができるまで」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.42-48.
- 嘉田由紀子, 1997, 村落社会のもつ共有資源管理機能—その東アジアの生態構造のかかわり—. シンポジウム東アジア社会の構造と変動—伝統・変革・課題—, 東北大学大学院情報科学研究科, 仙台, pp.10-11.
- 遊磨正秀・田中敏博・嘉田由紀子, 1997, 8年目のホテルダス. 私たちのホテル, 8: 4-18.
- 小川四良・川那部浩哉・嘉田由紀子, 1997, 沖島の漁業の変遷など—小川四良さんを訪ねて— (対談). 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど (湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (3): 4-5.
- 川那部浩哉・嘉田由紀子, 1997, 館長にきく!—世界古代湖会議をおわって— (対談). 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど (湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (4): 2-3.
- 嘉田由紀子・前畑政善・秋山廣光・松田征也・中井克樹・桑村邦彦・桑原雅之, 桑原雅之編, 1997, 「水族企画展 古代湖の世界—個性的な生き物たち—」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 8pp.
- 嘉田由紀子・今森光彦, 1997, 琵琶湖からのメッセージ (対談). 日立, 2: 2-8
- 嘉田由紀子, 1997, 尿は輪廻酒—身辺の野性—. まほら, 11: 20-21.
- 嘉田由紀子, 1997, 古代湖における生物と文化の多様性. ILEC NewsLetter, 30: 5.
- 嘉田由紀子, 1997, Their Biological and Cultural Diversities. ILEC NewsLetter, 30: 5.
- 嘉田由紀子, 1997, 伝達人. CRC コミュニケーション, 347: 3-4.
- 嘉田由紀子, 1997, 「写真でたどるマラウイ今昔:1946 vs1996」. 宮本真二・アントリュー・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.18-20.
- 嘉田由紀子・中井克樹・山崎博史, 1997, タンガニーカ湖. 宮本真二・アントリュー・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.35-42.
- 嘉田由紀子・中井克樹, 1997, マラウイ(ニアサ)湖. 宮本真二・アントリュー・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.43-48.
- 嘉田由紀子・中井克樹・中島経夫, 1997, 琵琶湖. 宮本真二・アントリュー・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.49-56.
- 嘉田由紀子・内田臣一, 1997, ボーデン湖. 宮本真二・アントリュー・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.75-80.
- フレネット, J. J. 嘉田由紀子・内田臣一, 1997, レマン湖. 宮本真二・アントリュー・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.81-86.
- 嘉田由紀子, 1997, 「世界の古代湖」マラウイ湖. 京都新聞, (1月23日).

- 嘉田由紀子, 1997, 博物館の自分化. 京都新聞, (3月5日).
- 嘉田由紀子, 1997, ある父親の嘆き. 京都新聞, (5月1日).
- 嘉田由紀子, 1997, アフリカの湖国から届いた丸木舟. 中日新聞, (5月10日).
- 嘉田由紀子, 1997, 「琵琶湖とともに」第9部 明日へ. 京都新聞, (6月10日).
- 嘉田由紀子, 1997, 「口こみ」の力. 京都新聞, (8月27日).
- 嘉田由紀子, 1997, 1枚の写真から. 京都新聞, (10月30日).
- 嘉田由紀子, 1997, 暮らしを社会を変える. 京都新聞, (11月27日).
- 嘉田由紀子, 1997, チムエムエ君の悩み. 京都新聞, (12月26日).
- 嘉田由紀子, 1997, 湖の自然と人のかかわりを”環境展示”, 琵琶湖博物館 (インタビュー). BIO-City, 10: 66-72.
- 横山裕道・嘉田由紀子・薬師寺泰蔵, 1997, エクセレントな地球環境を考える (座談会記録). 緑, 76: 3-15.
- 嘉田由紀子・中井克樹, 1998, 琵琶湖に暮らす一前野写真館一. 「びわこブック」, pp.75-90.
- 嘉田由紀子・森野泰起・中井克樹・牧野久実・川崎真紀子(編), 1998, 「世界古代湖会議～古代湖における生物と文化の多様性」報告書. 世界古代湖会議実行委員会, 225pp.

### c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

- 嘉田由紀子, 1992, 太湖(タイフー)ー江南水郷の中心. 滋賀県琵琶湖研究所編「世界の湖」, 人文書院, 東京, pp.32-35.
- 嘉田由紀子, 1994, 関係性をあらわす博物館. 初等理科教育, 28 (13): 9.
- 嘉田由紀子ほか, 1992, 座談会 参加型博物館を考えるー(仮)びわこ博物館がうごきはじめました. 美しい自然, 51: 3-9.
- 嘉田由紀子, 1992, 環境問題を考えるーびわ湖とわたしたちーびわ湖の自然環境. 生涯学習通信講座, 3(1): 1-12.
- 嘉田由紀子, 1992, 環境問題を考えるーびわ湖とわたしたちーびわ湖の歴史的遺産. 生涯学習通信講座, 3(2): 1-13.
- 嘉田由紀子, 1992, 環境問題を考えるーびわ湖とわたしたちー変容したびわ湖. 生涯学習通信講座, 3(3): 1-12.
- 嘉田由紀子, 1992, 環境問題を考えるーびわ湖とわたしたちーびわ湖の水と水環境. 生涯学習通信講座, 3(4): 1-11.
- 嘉田由紀子, 1992, 環境問題を考えるーびわ湖とわたしたちー私たちに何ができるのか?. 生涯学習通信講座, 3(5): 1-12.
- 嘉田由紀子, 1993, 2600人全員にいただいた賞です. 「私たちのホテル」, 4: 11-12.
- 嘉田由紀子, 1993, アメリカ・メンドータ湖における富栄養化とたたかいたその100年の下水処理の歴史を探るー下水文化研究会講演集, (1): 288-297.
- 嘉田由紀子, 1994, 川と生き物と人間. いちいがし, 77: 10-11.
- 嘉田由紀子, 1995, 環境問題と下水文化ーその生活文化論的アプローチー. 下水文化研究, 7: 4-28.
- 嘉田由紀子, 1996, 7年目の「しつこくホテルダス」. 私たちのホテル, 7: 4-21.
- 嘉田由紀子, 1996, フォトニュース. ホテルのお宿, 24: 8.
- 嘉田由紀子, 1996, 長浜市米川あたり. 共済広報, 296: 16.
- 嘉田由紀子, 1996, 農村の暮らしと水. 琵琶湖博物館展示展示ガイド, 60-76.
- 嘉田由紀子, 1996, ホテルと人と環境と. 琵琶湖博物館展示展示ガイド, 98-99.
- 嘉田由紀子, 1996, 近畿と琵琶湖. 琵琶湖博物館編「琵琶湖博物館展示展示ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.100-101.
- 長谷川公一・嘉田由紀子, 1996, 【生活世界の環境学】長谷川公一氏の書評にこたえて (対談). ソシオロジー, 127: 132-136.

## 2 研究活動に関する業績

### a 学会講演

- 嘉田由紀子, 1997(2月), 生活環境主義とは?ーその理論と実践のいれこ構造についてー. 第10回環境倫理研究会, 学士会館, 東京.
- Kada, Yukiko, 1997(June 24), Environmental History of Lake Biwa During the Past 100 Years of Modernization. International Conference of Ancient Lakes, Lake Biwa Museum.
- 嘉田由紀子, 1997, 村落社会のもつ共有資源管理機能ーその東アジア的生態構造のかかわりー. シンポジウム東アジア社会の構造と変動ー伝統・変革・課題ー, 東北大学.
- Kada, Yukiko, 1998(Mar. 20), Socio-Cultural Background of Sustainability of Japanese Rural Society. International Conference on Agroecology, Ehime Univ.

### b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館共同研究「生活と科学の接点としての環境調査の手法開発に関する研究」, 研究分担者。  
琵琶湖博物館専門研究「湖沼文化をめぐる比較文化論的研究」。  
トヨタ財団「アフリカ・マラウイ湖周辺のびとの湖沼にかかわる生活文化に根ざした生態系保全の方法開発に関する研究—琵琶湖地域との比較の視点を含めて—」。  
笹川科学研究助成金「住民参加による水環境調査結果のデータベース化と博物館展示への展開に関する方法論的研究」。

### c 学会役員、学会誌レフリーなど

「世界古代湖会議」実行委員会企画委員。  
日本村落研究学会理事。  
国際交流委員会委員長。  
日本社会学会編集委員, レフェリー2件。  
日本環境社会学会, レフェリー1件。  
日本エコミュージアム学会理事。

### d 学生指導、講義など

講義京都大学大学院人間環境学研究科非常勤講師(地域文化環境論)。  
講義滋賀県立大学非常勤講師(地域生活論)。  
学生指導国際交流基金派遣中国留学生修士課程学生指導(張雲暁)指導テーマ:琵琶湖周辺の生活文化に根ざした環境保全に関する研究。  
学生指導京都教育大学大学院修士課程学生指導(祭世蓉)指導テーマ:生涯学習時代における地域博物館。

### e 受賞

## 3 博物館事業に関する業績

### a 交流・サービス活動に関する業績

1997, 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (3-6)企画。  
1997(2月), 生活環境主義とは?—その理論と実践のいれこ構造について—。第10回環境倫理研究会, 学士会館本郷分館。  
1997(4月), 利用の視点から博物館を考える—。ミュージアム利用研究会, 琵琶湖博物館, 草津市。  
1997(4月), 琵琶湖—暮らし・風俗風景—。BBC開局25周年特別番組, びわこ放送。  
1997(4月), 生活文化の多様性と生態系—余呉湖の事例より—。余呉湖生態系保全シンポジウム, 国民宿舎余呉湖荘別館, 余呉町。  
1997(6月), 余呉湖は誰のものか?—湖をめぐる生活実践と上下流葛藤の生活環境史—。松阪大学。  
1997(6月), 生活世界が病んでいる20世紀末の日本。琵琶湖博物館, 草津市。  
1997(7月), 1次産業の多面的機能は?。琵琶湖博物館, 草津市。  
1997(7月), 水辺の遊び文化から、水辺保全を考える。生物・文化多様性アジアフォーラム, 新宿三井ビル。  
1997(7月), トヨタ財団第7回市民研究コンクール第4回選考委員会, 安田火災海上本社ビル。  
1997(8月), 琵琶湖—人と水とのかかわり—。浄土宗青年会中央研修会, 滋賀県。  
1997(9月), 水と環境と文化。第5回水資源に関するシンポジウム, 日本学術会議。  
1997(9月), 日本における住民生活と環境問題について。「東アジア」シンポジウム, 東北大学青葉記念会館。  
1997(9月), 400万年の歴史から見たびわ湖の価値。水環境シンポジウム, 滋賀県立女性センター, 近江八幡市。  
1997(9月), 琵琶湖の水文化と展示。1997年水環境セミナー, 琵琶湖博物館, 草津市。  
1997(10月), 琵琶湖博物館の現状と課題。第3回産業技術博物館構想ワーキンググループ, 琵琶湖博物館, 草津市。  
1997(10月), 平成9年度奈良国立文化財研究所調査研究指導委員会, 平城宮跡資料館, 奈良市。  
1998(1月), 生活現場から見る環境変遷への気づき。全国国語教育研究大会, 京都会館, 京都市。  
1998(1月), 琵琶湖博物館の情報収集とデータベース化。成安造形大学公開講座, 京都リサーチパーク西地区サイエンスセンタービル, 京都市。  
1998(1月), 世界の湖と琵琶湖。山中比叡平学区国際理解講座, 山中比叡平公民館, 大津市。  
1998(2月), NHKニュースパーク関西「この人にインタビュー」・琵琶湖博物館について。NHK大阪放送局, 大阪市。  
1998(2月), 21世紀に向けてのびわ湖周辺の生活文化。今津住民講座「森と湖と家族」, 今津東コミュニティセンター, 今津町。  
1998(2月), 今もとめられるまちづくりとは。彦根市田附地区土地利用調整推進事業講演会, 田附町公民館, 彦根市。  
1998(2月), 地域特性を自覚化するプロセスとしての調査研究—琵琶湖研究の経験から—。平成9年度地域科学技術政策研究会, 科学技術庁, 東京都。  
1998(2月), 生活世界の環境学。滋賀県レイカディア大学, 滋賀県立長寿社会福祉センター, 草津市。

1998(3月), 生活が変わると琵琶湖も変わる. 甲良町小川原地区学習会, 小川原公民館, 甲良町.

1998(3月), 環境社会学からみる里山. 日本生態学会自由集会, 法然院, 京都.

**b 博物館情報活動に関する業績**

写真が語る環境変遷. 今昔写真キャプション156点.

「写真で見る生活史」. 写真収集・追加登録(5000点).

**c 博物館資料整備活動に関する業績**

**d 博物館展示活動に関する業績**

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」. 「民家の移築」コーナー企画・制作.

琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」. コーナー企画・制作.

琵琶湖博物館企画展示「私とあなたの琵琶湖アルバム」. 企画・制作.

**e 博物館企画調整事業に関する業績**

**4 人事に関すること**

環境庁自然環境保全審議会委員.

国土庁国土審議会専門委員(近畿圏整備特別委員会).

建設省河川審議会環境教育小委員会委員.

京滋奈三広域交流圏検討委員会委員.

滋賀県立大学研究交流財団評議員.

奈良国立文化財研究所調査研究指導委員会委員.

青森県総合運動講演遺跡ゾーン公開活用専門委員会(三内丸山遺跡).

草津市総合計画審議会委員.

トヨタ財団市民研究コンクール選考委員.

## 1 印刷物

## a 論文など

## b その他の印刷物

草加伸吾, 1997, 滋賀県立琵琶湖博物館紹介—屋外展示を中心に—. 石楠花, (10): 1-4.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

草加伸吾, 1995, (仮称)滋賀県立琵琶湖博物館について. 楓, 14(49): 11-14.

草加伸吾, 1995, 琵琶湖の水は森から生まれる. 湖国と文化, (74): 82-85.

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

草加伸吾・浜端悦治, 1997(10月), 「朽木実験集水域の土壌の現状」. 「森林伐採が環境に及ぼす影響」中間報告会, 琵琶湖問題に関する試験研究機関連絡会議主催研究会, 朽木いきものふれあいの里センター.

草加伸吾・浜端悦治, 1998(3月), 「森林土壌の水質形成過程(Ⅱ)—伐採前後の大雨流出時における水質比較(伐採1年目)」. 第45回日本生態学会大会, 京都大学.

## b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館共同研究「屋外展示空間の生物群集と環境の変化のモニタリング」, 研究代表者.

琵琶湖博物館専門研究「植生と水質調節—降雨流出時の水質変化の組成解析」.

琵琶湖研究所プロジェクト研究「森林伐採が環境に及ぼす影響」のサブプロジェクト「森林土壌での水質形成過程の把握」, 研究分担者.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

## d 学生指導、講義など

## e 受賞

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

1997(11月7日), 「博物館の森の観察(秋編)」. 博物館の屋外展示にて, 琵琶湖博物館フィールド観察会, 琵琶湖博物館.

## b 博物館情報活動に関する業績

## c 博物館資料整備活動に関する業績

## d 博物館展示活動に関する業績

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」. 「レプリカ展示のできるまで」コーナー—部分担.  
屋外展示太古の森の施行.

## e 博物館企画調整事業に関する業績

## 4 人事に関すること

## 1 印刷物

## a 論文など

- 高橋啓一・岡村喜明, 1997, 古琵琶湖層群から産出したウマ類上腕骨. 地質学雑誌, 103(4): 391-393.  
 岡村喜明・高橋啓一・黒川明・滋賀県足跡研究会, 1997, 古琵琶湖層群産足跡化石とその調査・研究法. 化石研究会会誌, 30(1): 1-10.  
 岡村喜明・北林栄一・高橋啓一, 1997, 大分県における足跡化石の予察的調査. 化石研究会会誌, 30(2): 55-65.  
 岡村喜明・高橋啓一, 1998, 下坂中町遺跡からの足跡について. 長浜市埋蔵文化財調査資料, 23: 39-42.

## b その他の印刷物

- 高橋啓一, 1997, 開館した琵琶湖博物館. 地団研会誌「そくほう」, (1月1日).  
 高橋啓一, 1997, "しが"の名前のついた象化石. Duet, 54(5, 6): 9.  
 高橋啓一, 1997, 地域に根ざして世界に発進する展示をめざして. 展示学, 24: 52-53.  
 高橋啓一, 1997, 博物館なれど準備室. 展示学, 24: 59.  
 高橋啓一編, 1997, 「琵琶湖博物館開館までのあゆみ」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.254  
 高橋啓一, 1998, 50万年前にびわ湖にツルの足跡. 滋賀民報, (2月22日).  
 高橋啓一, 1998, 書評「恐竜復元」. 地球科学, 52: 167.  
 高橋啓一, 1998, A展示室 琵琶湖のおいたち. 川那部浩哉・千地万造・井倉孝・木村滋編「滋賀県立琵琶湖博物館総合案内」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.8-23.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

- 小西省吾・高橋啓一・大島浩, 1997, アケボノゾウ多賀標本の骨格復元. 日本古生物学会第146回例会, 豊橋市自然史博物館.  
 後藤道治・高橋啓一・榊野博幸, 1997, 博物館展示のこれからのあり方. 日本古生物学会第146回例会シンポジウム, 豊橋市自然史博物館.  
 H.Saegusa, K., Takahashi and K., Namatsu, 1997, Relative densities of stegodons and elephants in South China: do these data support the generalist vs. specialist hypothesis?, 7th International Theriological Congress, Acapulco, Mexico.  
 高橋啓一・生津恵子, 1997, 鮮新-更新統における東アジアの長鼻類化石の分布とその問題点. 日本地質学会第104回例会, 九州大学.

## b 研究プロジェクト

- 琵琶湖博物館総合研究, 「東アジアの中の琵琶湖, その成立と人間生態系に関する総合研究」. 研究分担者.  
 琵琶湖博物館共同研究, 「古琵琶湖層群の足跡化石調査とその研究法の開発」. 研究代表者.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

- 化石研究会評議員.  
 地学団体研究会全国運営委員.  
 日本地質学会第104回例会座長.

## d 学生指導、講義など

- 1997, 多賀町産アケボノゾウ骨格組立復元指導.  
 1998, 多賀町産カズサジカ骨格組立復元指導.

## e 受賞

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

- 1997, 琵琶湖のおいたち. 能登川青年会議所例会, 五箇荘町農村整備改善センター.  
 1997(8月12日), 足跡から何がわかるのか. 甲西町博物館準備室夏季啓発講座, 甲西町公民館.  
 1997(10月14日), 琵琶湖のおいたちをさぐる. 滋賀県警友会, 大津市.  
 1998(3月13日), 琵琶湖博物館の建設経過について. 山形県立博物館第3回新設博物館勉強会, 山形県立博物館.  
 1997(5月7日,10日), 「琵琶湖のおいたち」. 琵琶湖博物館入門セミナー, 琵琶湖博物館.  
 1997(10月4日,11日,25日), 博物館講座「骨の化石の研究法」.

1997(10月26日), フィールド観察会「古琵琶湖層群の化石の採集会」. 琵琶湖博物館フィールド観察会, 三重県大山田村.

1997, 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (3-6)企画.

1997, 「貸出標本の利用の手引き」リーフレット企画・制作

**b 博物館情報活動に関する業績**

**c 博物館資料整備活動に関する業績**

**d 博物館展示活動に関する業績**

1997, 子供用ガイドブック「どこでも博物館をさがせ」. 企画.

**e 博物館企画調整事業に関する業績**

「琵琶湖と人との未来考シンポジウム」. 分科会司会.

**4 人事に関すること**

1997(4月1日), 研究部主任学芸員、事業部展示科長心得(兼務). 滋賀県知事.

1997(4月1日), 甲西町博物館建設審議会委員. 甲西町長.

1997(4月1日), 大津市科学館運営協議会委員. 大津市教育委員会.

1997(4月1日), 多賀町博物館開設準備委員会委員. 多賀町教育委員会.

## 1 印刷物

## a 論文など

## b その他の印刷物

内田臣一, 1997, 故河野光子博士のカワゲラ類標本などの受贈. 琵琶湖博物館編, 「博物館ができるまで」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.68.

内田臣一, 1997, ボーデン湖. 宮本真二・アンドリュ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.75-77.

内田臣一, 1997, レマン湖. 宮本真二・アンドリュ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.81-84.

内田臣一, 1998, 今月の虫(表紙説明)シタカワゲラ属の一種 *Mesyatsia* sp. インセクトリウム, 35: 47.

内田臣一, 1998, 巻頭言. 鴨と蛍のまち, 滋賀県山東町, 9: 1.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

内田臣一, 1997(5月11日), *Tadamus*属(アミメカワゲラ科)2種の分類. 第2回カワゲラ懇談会・第180回水生昆虫談話会, 東京都あきる野市.

久保田憲明・稲田和久・内田臣一, 1997(8月30日), *Kaszabia digitata*(アミメカワゲラ科)の雌と幼虫が判明. 第21回水生昆虫研究会, 余呉町ウッディバル余呉.

## b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の整理・保管と利用に関する研究」, 研究代表者.

琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖水系産トンボ類の分布と生態」, 研究代表者.

琵琶湖博物館専門研究「日本産カワゲラ科昆虫の分類学的再検討」.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

Japanese Journal of Entomology(日本昆虫学会)英文論文レフリー1件.

## d 学生指導、講義など

## e 受賞

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

1997(3月2日), 分類体系を組み立てる方法について3学派間の違い(学説の紹介). 蜻蛉研究会第23回総会, 琵琶湖博物館.

1997(6月4日), 川の水環境を生物で探る. 長野県総合教育センター環境教育研修講座, 塩尻市.

1998(1月14日), 川の自然と治水・利水. 愛知工業大学土木工学科特別講義, 豊田市.

1997(8月23-24日), 琵琶湖博物館夏休み相談室昆虫担当. 琵琶湖博物館.

1998(1月24日), 川と虫. 琵琶湖博物館入門セミナー, 琵琶湖博物館.

1998(3月26-28日), 淡水生物学講座水生昆虫入門. 琵琶湖博物館専門講座, 琵琶湖博物館.

1997(1月11-12日, 3月8-9日, 5月24-25日, 7月12-13日, 9月13-14日, 11月8-9日)-1998(1月10-11日, 3月14-15日),

関西水生昆虫談話会第7-14回例会世話人. 長浜・奈良・由良川・京都・大津・三田・京都・兵庫県村岡町.

1997(8月29-31日), 第21回水生昆虫研究会 会場世話人. 余呉町ウッディバル余呉.

## b 博物館情報活動に関する業績

1997(2月20日), 収藏品データベースの整備経緯—生物分野を例として(講演). 地域博物館情報システムの開発と利用に関する共同研究第2回研究会, 琵琶湖博物館.

1997, 「アカトンボの秘密」. ビデオ制作.

## c 博物館資料整備活動に関する業績

日本産水生昆虫液浸標本約2000点採集・整理. 琵琶湖博物館.

**d 博物館展示活動に関する業績**

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」．「私の博物館作り」コーナー企画・制作．

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」．「博物館で調べる」コーナー企画・制作．

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」．「日本の博物館」(新横浜ラーメン博物館．金沢文庫．相模原市立博物館)コーナー企画・制作．

琵琶湖博物館企画展示「近江はトンボの宝庫」．実施設計．

**e 博物館企画調整事業に関する業績**

**4 人事に関すること**

1 印刷物

a 論文など

脇田健一, 1997, 変身する主婦. “変身の社会学” (宮原浩二郎、荻野昌弘編), 世界思想社, 京都, pp.58-86.

b その他の印刷物

脇田健一, 1997, 「沖島の伝統食」ができるまで. 琵琶湖博物館編, 「博物館ができるまで」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.49-52.

中島経夫・脇田健一, 1997, 洞庭湖. 宮本真二・アトリエ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.29-32

脇田健一, 1997, 「関係」について考える. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (2): 6.

脇田健一, 1997, 暮らしから消えた水との「つながり」. プチフル, (28): 49.

森田恒之・郷力憲治・脇田健一・朝治武, 1997, 展示をつくる論理(座談会). 季刊リパティ, 2-14.

c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

2 研究活動に関する業績

a 学会講演

脇田健一, 1997, 「何が問題なのか?」環境運動と環境政策のズレ--滋賀県琵琶湖の石けん運動をもとに--. 環境社会学会, 東京.

b 研究プロジェクト

c 学会役員、学会誌レフリーなど

d 学生指導、講義など

e 受賞

3 博物館事業に関する業績

a 交流・サービス活動に関する業績

b 博物館情報活動に関する業績

c 博物館資料整備活動に関する業績

d 博物館展示活動に関する業績

e 博物館企画調整事業に関する業績

4 人事に関すること

## 1 印刷物

## a 論文など

- Kumagai, M., Jiao, C., Nakajima, T., Frenette, J.-J., Nakano, S., 1997, Mixing and cyanobacterial blooms in a lake., International Liege Colloquium on Ocean Hydrodynamics, Liege, France, [abstract].
- Hayakawa, K., Quesada, A., Frenette, J.-J., Nakano, S., Ogawa, T., Kumagai, M., Jiao, C., Nakajima, T., 1997, Results from the Akanoy Bay Enclosure Experiments. Diurnal fluctuations of photosynthesis and structure of organic matter, Japanese Society of Limnology Meeting, Nara, Japan, [abstract].
- Nakano, S., Nakajima, T., Kumagai, M., Jiao, C., Hayakawa, K., Frenette, J.-J., Quesada, A., 1997, Results from the Akanoy Bay Enclosure Experiments: Phytoplankton abundance, structure, and temporary fluctuations of environmental factors. Japanese Society of Limnology Meeting, Nara, Japan, [abstract].
- Macintyre, S., Frenette, J.-J., Vincent, W. F., 1998, Vertical Mixing and Light Supply to Phytoplankton. Ocean Sciences Meeting, San Diego, USA, [abstract].

## b その他の印刷物

- Frenette, J.-J., 1998, わたしの逸品-ラン藻. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (5): 5.
- Frenette, J.-J., 1997, Lake Biwa Museum-Special exhibits about ancient lakes-english interpretation Lake Biwa Museum-Permanent exhibits visitor's guide: english interpretation (in progress) Lake Biwa Museum publications-production committee

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

- Frenette, J.-J., Dodson, J. J., 1980, Étude spatio-temporelle des mouvements de l'omble de fontaine (*Salvelinus fontinalis*) dans un lac acide. le lac Tantaré, Québec: Canadian Conference for Fisheries Research, Montréal, Canada, [abstract].
- Moreau, G., Barbeau, C., Frenette, J.-J., Saint-Onge, J., Simoneau, M., 1983, Zinc, manganese, and strontium in opercula and scales of brook trout (*Salvelinus fontinalis*) as indicators of lake acidification. *Can. J. Fish. Aquat. Sci.*, (40): 1685-1691.
- Moreau, G., Barbeau, C., Frenette, J.-J., Lévesque, F., Saint-Onge, J., Simoneau, M., 1983, Influence des précipitations acides sur les populations de truites mouchetées (*Salvelinus fontinalis*) du Parc des Laurentides. CENTREAU, Cre-83/02: Rapport du M.E.Q.: 145 p.
- Frenette, J.-J., Dodson, J. J., 1984, Brook trout (*Salvelinus fontinalis*) population structure in acidified lac Tantaré, Québec. *Can. J. Fish. Aquat. Sci.*, (41): 865-877.
- Talbot, L., Dupont, J., Frenette, J.-J., Grimard, Y., Jacques, G., Richard, Y., 1984, Acid precipitation in Québec and its effect on the aquatic environment: Direction des relevés aquatiques. Ministère de l'Environnement du Québec: 35 p.
- Frenette, J.-J., Dodson, J. J., 1984, Structure de population et distribution spatio-temporelle de l'omble de fontaine (*Salvelinus fontinalis*) dans un lac acide. le lac Tantaré: Master thesis: Université Laval, 76 p.
- Frenette, J.-J., Richard, Y., Moreau, G., 1985, Effet de l'acidité des lacs du Québec sur la faune ichtyologique: une revue. Symposium international sur les précipitations acides, Muskoka, Canada, [abstract].
- Frenette, J.-J., Richard, Y., Moreau, G., 1985, Effet de l'acidité des lacs du Québec sur la faune ichtyologique: une revue. Direction des relevés aquatiques, ministère de l'Environnement du Québec, publication no PA-20, Envirodoq no 85045, 30 p. in "Communications présentées par le Ministère de l'Environnement du Québec au symposium international sur les précipitations acides: Muskoka '85".
- Frenette, J.-J., Richard, Y., Moreau, G., 1986, Fish responses to acidity in Québec lakes. a review: Water, air, and soil pollution, 30 (1-2): 461-476.
- Frenette, J.-J., 1986, Effet de l'acidité sur les communautés ichtyologiques du Témiscamingue: une étude synthèse de 17 lacs. Conférence Internationale des Limnologues d'Expression Française, Québec, Canada., [abstract].
- Frenette, J.-J., 1986, Etude du niveau d'acidité de 39 lacs du Témiscamingue. Direction des relevés aquatiques, Ministère de l'Environnement du Québec, publication no PA-24, Envirodoq no 86051, 80p.
- Frenette, J.-J., 1986, Effet de l'acidité sur les communautés ichtyologiques de 17 lacs du Témiscamingue. Direction des relevés aquatiques, ministère de l'Environnement du Québec, publication no PA-23, Envirodoq no 86050, 102 p.
- Frenette, J.-J., 1987, Impact of acidification on species richness and productivity of mesothermic fish communities in Québec, Canada: International Conference on Acid Rain, Lisbon, Portugal, [abstract].

- Frenette, J.-J., Dodson, J. J., 1987, Effet de l'acidité sur les communautés ichthyologiques de 36 lacs du Témiscamingue: Bureau de coordination de la recherche et du développement environnement. Ministère de l'Environnement du Québec, 96 p.
- Frenette, J.-J., Dodson, J. J., 1987, Effet de l'acidité sur les communautés ichthyologiques du Témiscamingue: une étude synthèse de 53 lacs: Bureau de coordination de la recherche et du développement en environnement. Ministère de l'Environnement du Québec, 126 p.
- Frenette, J.-J., 1987, Impact des facteurs reliés à l'acidification sur les communautés ichthyologiques à doré jaune (*Stizostedion vitreum*) et à grand brochet (*Esox lucius*): Ministère du Loisir, de la Chasse et de la Pêche. Direction des espèces d'eau fraîche, 54 p.
- Frenette, J.-J., Dodson, J. J., 1988, Impact of acidification on species richness and productivity of mesothermic fish communities in Québec, Canada. In: "Acid rain: Scientific and Technical Advances" (Eds. by Perry, R., Harrison, R. M., Bell, J.N.B., Lester, J. N.): Selper Ltd., Publications Division, London, 821 pages, pp.489-496.
- Veillet, P., Frenette, J.-J., 1989, Etude du niveau d'acidité de 49 lacs à Touladi (*Salvelinus namaycush*) de la Mauricie: Ministère du Loisir, de la Chasse et de la Pêche. Direction régionale de la Mauricie, 75 p.
- Pope, G., Tarissants, M. C., Desgranges, J. L., Frenette, J.-J., Verreault, G., 1989, Effets des facteurs biotiques et abiotiques sur la structure et les relations trophiques des communautés planctoniques et benthiques: revue des hypothèses. technical report: Can. Sci. Halieut. Aquat, (1687), viii + 59 p.
- Massicotte, B., Frenette, J.-J., 1989, Impact de l'acidité sur les stades de vie du doré jaune (*Stizostedion vitreum*): protocole expérimental. Ministère du Loisir, de la Chasse et de la Pêche. Direction régionale de Rouyn-Noranda, Service des études écologiques: 43 p.
- Frenette, J.-J., Baby, M.-C., Dodson, J. J., Demers, S., Legendre, L., 1990, Macrozooplankton grazing on bacteria in an oligotrophic lake, Lake Tantaré. NATO Advanced Study Institute on Individual Cell and Particle Analysis in Oceanography, Maratea, Italy, [abstract].
- Frenette, J.-J., Demers, S., 1991, Use of flow cytometry in the study of trophic relationship in different environments: advantages and disadvantages. Microbial ecology of pelagic environments workshop, Helsingør, Denmark, [abstract].
- Frenette, J.-J., Veillet, P., Ouellette, G., Dodson, J. J., 1991, Évaluation de la biomasse ichthyologique par échosondage hydroacoustique: une étude de faisabilité: Québec, Ministère du Loisir, de la Chasse et de la Pêche. Service des espèces d'eau fraîche: technical report 91(23): 85 p.
- Lavoie, N., Frenette, J.-J., 1991, Caractérisation des communautés ichthyologiques larvaires de la rivière Chaudière. CRESL: Ministère du Loisir de la Chasse et de la Pêche, 43 p.
- Lavoie, N., Frenette, J.-J., 1991, Caractérisation de l'habitat autrefois fréquenté par le bar rayé (*Morone saxatilis*) dans le fleuve Saint-Laurent. CRESL: Ministère du Loisir de la Chasse et de la Pêche, 52 p.
- Auclair, J. C., Frenette, J.-J., Dodson, J. J., 1993, Zooplankton community structure in southwestern Québec lakes: the roles of acidity and predation. *J. Plankton Res.*, (15): 1103-1128.
- Lovejoy, C., Vincent, W. F., Frenette, J.-J., Dodson, J. J., 1993, Microbial gradients in a turbid estuary: Application of a new method for protozoan community analysis. *Limnol. Oceanogr.*, (38): 1293-1303.
- Frenette, J.-J., Demers, S., Legendre, L., Dodson, J. J., 1993, Lack of agreement among models for estimating the photosynthetic parameters. *Limnol. Oceanogr.*, (38): 679-687.
- Vincent, W. F., Bertrand, N., Frenette, J.-J., 1994, Photoadaptation to intermittent light across the St. Lawrence Estuary freshwater-saltwater transition zone. *Mar. Ecol. Prog. Ser.*, (110): 283-292.
- Frenette, J.-J., Demers, S., Legendre, L., Boule, M., Dodson, J. J., 1994, Mixing, stratification and the fate of primary production in an oligotrophic multibasin lake system (Québec, Canada). *J. Plankton. Res.*, (16): 1095-1115.
- Frenette, J.-J., Vincent, W. F., Legendre, L., Nagata, T., 1994, Typhoon forcing and the light-dependent uptake of carbon and nitrogen in Lake Biwa. ASLO, Miami, USA, [abstract].
- Endoh, S., Okumura, Y., Tsuda, R., Tanaka, Y., Kimoto, T., Hashitani, H., Seike, Y., Okumura, M., Fujinaga, K., Sato, T., Nakanishi, M., Sekino, T., Nagata, T., Frenette, J.-J., Vincent, W. F., Legendre, L., Urabe, J., Kawabata, K., 1995, 2: Some results of Biwako Transport Experiment (BITEX '93)- Biogeochemical changes due to the horizontal transport between the North and the South Basins of Lake Biwa, in: "Reports of the Symposia at the 59th Conference of the Japanese Society of Limnology". *Jpn. J. Limnol.*, (56): 151-156.
- Frenette, J.-J., Vincent, W. F., Dodson, J. J., Lovejoy, C., 1995, Size-dependent variations in microplankton community structure across the St-Lawrence River transition region. *Mar. Ecol. Prog. Ser.*, (120): 99-110.
- Frenette, J.-J., Vincent, W. F., Legendre, L., Nagata, T., 1995, Size-dependant uptake of carbon and nitrogen under different mixing regimes. GRIL, Montreal, Canada, [abstract].
- Frenette, J.-J., Vincent, W. F., Legendre, L., Nagata, T., Kumagai, M., 1995, Effects of typhoon-induced mixing on plankton in Lake Biwa: comparaison between basins. Japanese Society of Limnology Meeting, Nagoya, Japan, [abstract].
- Frenette, J.-J., Vincent, W. F., Legendre, L., 1995, Biological responses to typhoon-induced mixing in two morphologically

- distinct basins of Lake Biwa. North American Lake Management Society (NALMS), Toronto, Canada, [abstract].
- Vincent, W. F., Dodson J. J., Bertrand, N., Frenette, J.-J., 1996, Photosynthetic and bacterial production gradients in a larval fish nursery: the St-Lawence River transition zone. *Mar. Ecol. Prog. Ser.*, (139): 227-238.
- Frenette, J.-J., Demers, S., Legendre, L., Boule, M., 1996, Size-related photosynthetic characteristics of phytoplankton during periods of mixing and stratification in an oligotrophic multibasin lake system. *J. Plankton Res.* (18): 45-61.
- Frenette, J.-J., Vincent, W. F., Legendre, L., Nagata, T., 1996, Size-dependent phytoplankton responses to a variable mixing regime (Lake Biwa, Japan). *J. Plankton Res.*, (18): 371-391
- Nagata, T., Ogawa, T., Frenette, J.-J., Legendre, L., Vincent, W. F., 1996, Uncoupled responses of bacterial and algal production to storm-induced mixing in Lake Biwa. *Jpn. J. Limnol.*, (57): 533-543.
- Frenette, J.-J., Vincent, W. F., Legendre, L., Nagata, T., Kawabata, K., Kumagai, M., 1996, Biological responses to typhoon-induced mixing in two morphologically distinct basins of Lake Biwa. *Jpn. J. Limnol.*, (57): 501-510.
- Frenette, J.-J., Vincent, W. F., Legendre, L., Nagata, T., 1996, Size-dependent changes in phytoplankton C and N uptake in the dynamic mixed layer of Lake Biwa. *Fresh. Biol.*, (36): 221-236.
- Yamashiki, Y., Yamashita, N., Kumagai, M., Jiao, C., Nakano, S., Frenette, J.-J., Nakajima, T., 1996, An Enclosure Experiment in a Eutrophic Area in Lake Biwa - Numerical Simulation With Vertical Distribution of Temperature, Turbidity and Chlorophyll in Relation With Currents. Japanese Society of Limnology Meeting, Hokkaido, Japan, [abstract].
- Kumagai, M., Jiao, C., Yamashiki, Y., Nakano, S., Frenette, J.-J., Nakajima, T., 1996, An Enclosure Experiment in a Eutrophic Area in Lake Biwa - Thermal Stratification and Cyanobacterial Bloom. Japanese Society of Limnology Meeting, Hokkaido, Japan, [abstract].
- Jiao, C., Kumagai, M., Nakano, S., Frenette, J.-J., Nakajima, T., Yamashiki, Y., 1996, Current Structure During the Experimental Period. Japanese Society of Limnology Meeting, Hokkaido, Japan, [abstract].
- Nakajima, T., Kumagai, M., Nakano, S., Frenette, J.-J., Jiao, C., Yamashiki, Y., 1996, An Enclosure Experiment in a Eutrophic Area in Lake Biwa - Overviews. Japanese Society of Limnology Meeting, Hokkaido, Japan, [abstract].
- Nakano, S., Frenette, J.-J., Nakajima, T., Takahashi, M., Kumagai, M., Jiao, C., 1996, An Enclosure Experiment in a Eutrophic Area in Lake Biwa - Algal Succession and N:P Balance. Japanese Society of Limnology Meeting, Hokkaido, Japan, [abstract].
- Frenette, J.-J., Nakano, S., Nakajima, T., Kumagai, M., Jiao, C., 1996, An Enclosure Experiment in a Eutrophic Area in Lake Biwa - Cyanobacterial control of light and temperature during algal succession. Japanese Society of Limnology Meeting, Hokkaido, Japan, [abstract].

## 2 研究活動に関する業績

### a 学会講演

- Frenette, J.-J. 1997. Biological responses to hydrodynamic forcing. Department of biological sciences. University of Alberta. -Edmonton, Canada, March 28.
- Kumagai, M., Jiao, C., Nakajima, T., Frenette, J.-J., Nakano, S., 1997, Mixing and cyanobacterial blooms in a lake: International Liege Colloquium on Ocean Hydrodynamics, Liege, France, May 5-9.
- Quesada, A., Frenette, J.-J., Hayakawa, K., Kumagai, M., 1997, Improving the understanding of cyanobacterial bloom formation mechanisms in Lake Biwa, ANSWER'97, Wuxi, NanJing, China, July 20-25.
- Frenette, J.-J., Vincent, W. F., Legendre, L., Kumagai, M., 1997, Biological responses to typhoon-induced mixing in two morphologically distinct basins of Lake Biwa: International symposium on a new strategy for water environmental research, ANSWER'97, Wuxi, NanJing, China, July 20-25.
- Hayakawa, K., Quesada, A., Frenette, J.-J., Nakano, S., Ogawa, T., Kumagai, M., Jiao, C., Nakajima, T.: 1997, Results from the Akanoy Bay Enclosure Experiments: Diurnal fluctuations of photosynthesis and structure of organic matter: Japanese Society of Limnology Meeting, Nara, Japan, Sept.1.
- Nakano, S., Nakajima, T., Kumagai, M., Jiao, C., Hayakawa, K., Frenette, J.-J., Quesada, A., 1997, Results from the Akanoy Bay Enclosure Experiments: Phytoplankton abundance, structure, and temporary fluctuations of environmental factors: Japanese Society of Limnology Meeting, Nara, Japan, Sept.1.
- Macintyre, S., Frenette, J.-J., Vincent, W. F., 1998, Vertical Mixing and Light Supply to Phytoplankton: Ocean Sciences Meeting, San Diego, USA, February 9-13.

### b 研究プロジェクト

- 琵琶湖博物館共同研究「Global changes in Lake Biwa Ecosystem: Historical Perspective.」, 研究代表者.
- 琵琶湖博物館共同研究「Littoral zone project-Project responsible: Effect of habitat heterogeneity on biodiversity and phytoplankton productivity in the littoral zone of Lake Biwa.」, 共同研究者.
- 琵琶湖博物館共同研究「Cormorant project-Project responsible: Effect of cormorant colonies on the water quality of Lake Biwa.」, 共同研究者.
- 琵琶湖博物館専門研究「Controlling factors of bloom-forming cyanobacteria in Lake Biwa.」.
- Invited researcher to the 'Cyanobacterial Risk Assessment of Biwako (CRAB)' international project starting in 1998 in Lake Biwa. This research program involves the participation of researchers from seven countries i.e Japan, Canada, USA,

Spain, China, France, Australia.

Invited researcher to the International Biological Program (IBP) at Lake Baikal, Russia, in July 1997

Invited researcher to the international Symposium on a new strategy for water environmental research (ANSWER'97), Wuxi-Nanjing, China, in July 1997. This workshop addressed the issue of lake eutrophication problems in China.

**c 学会役員、学会誌レフリーなど**

Journal of Plankton.レフリー.

Research Canadian Journal of Fisheries and Aquatic Sciences.レフリー.

Artic.レフリー.

**d 学生指導、講義など**

University of Alberta. -Edmonton, Canada, Department of biological sciences. March 28, 1997 Biological responses to hydrodynamic forcing. .

Kyoto University, Center of Ecological Research, Shimosakamoto. 1996. Advanced Limnology and Ecology, (graduate students).

1997, Biological responses to hydrodynamic forcing: Department of biological sciences, University of Alberta, Edmonton, Canada.

1-d) SUPERVISOR ON THESIS COMMITTEES OF GRADUATE STUDENTS, DEPARTEMENT DE BIOLOGIE DE L'UNIVERSITE LAVAL 1991-1995

**e 受賞**

**3 博物館事業に関する業績**

**a 交流・サービス活動に関する業績**

1998(2月19日), Cyanobacteria: living fossils-Lake Biwa Museum.

1998(1月23日), Aoko and Cyanobacteria-Lake Biwa Museum.

1997(12月6日), Cop3-International congress on Global changes held at Kyoto-Lake Biwa Museum and environment.

1997(5月5日), Phytoplankton and mixing-Lake Biwa Museum.

1997(3月11日), Light, nutrients and hydrodynamic-Lake Biwa Museum.

1997(2月28日), Hydrodynamics and Plankton size-Lake Biwa Museum.

**b 博物館情報活動に関する業績**

**c 博物館資料整備活動に関する業績**

**d 博物館展示活動に関する業績**

Guided tour- Canadian Embassy delegate-January 30-1998

Special exhibits about museums: exhibit conception-March 8 opening

Guided tour-Kyoto daigaku/Termite symposium researchers.

Guided tour-ICAL'97 guests.

Guided tour-ILEC guests.

Guided tour-Forum on energy saving strategies.

Guided tour-Michigan state high school.

Guided tour-Kyoto University/Universites du Quebec delegates- Kyoto workshop.

Guided tour-COP3-Global changes Kyoto meeting.

**e 博物館企画調整事業に関する業績**

Member of the organizing committee and session chairman for the International Congress on Ancient Lakes (ICAL'97) held at Lake Biwa Museum .

**4 人事に関すること**

主任学芸員.

## 1 印刷物

## a 論文など

木田千代美, 1997, 古琵琶湖層群の植物相の変遷. 化石研究会誌, 30(1): 7-12.

木田千代美, 1997, 大戌亥遺跡並びに下坂氏館跡の大型植物遺体について. 長浜市埋蔵文化財資料, 18: 61-64.

木田千代美, 1997, 滋賀県甲賀郡水口町宇田地先野洲川から産出した大型植物化石. 水口町北内貴・宇田の野洲川河床化石調査団, 第1次調査報告書, pp.21-25.

## b その他の印刷物

木田(山川)千代美, 1997, 最初の学芸員. 高橋啓一編, 「琵琶湖博物館開館までのあゆみ」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.77-78.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

## b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖, その成立と人間生態系に関する総合研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「新生代における植物化石の研究」.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

## d 学生指導、講義など

## e 受賞

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

## b 博物館情報活動に関する業績

## c 博物館資料整備活動に関する業績

## d 博物館展示活動に関する業績

## e 博物館企画調整事業に関する業績

## 4 人事に関すること

1997年4月～1997年12月31日, 産休、育休

## 1 印刷物

## a 論文など

Yahiro, K., & Yano, K., 1997, Ground beetles caught by light trap during ten years. *Esakia*, (37): 57-69.

Yahiro, K., Fujimoto K., & Sugino Y., 1997, New records of *Calosoma maximowitzi* and *Hemicarabus tuberculatus* (Coleoptera, Carabidae) from Shiga Prefecture, Central Japan. *Elytra*, 25(2): 417-418.

八尋克郎, 1997, 10年間ライトトラップで捕獲されたゴミムシ類. *昆虫と自然*, 32(13): 28-34.

## b その他の印刷物

八尋克郎, 1997, 湖国で進化を遂げたオサムシシガラキオサムシ. *湖国と文化*, (79): 92-96.

八尋克郎, 1998, 新しい発見の連続—オサムシの分布. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (5): 6.

八尋克郎他, 1998, 湖の環境と人びとのくらし. 川那部浩哉・千地万造・井倉孝・木村滋編「滋賀県立琵琶湖博物館総合案内」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.50-57.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

Yahiro, K., 1997(6月24日-28日), Distribution of the carabid beetles surrounding area of Lake Biwa. 世界古代湖会議ポスター発表, 琵琶湖博物館.

八尋克郎, 1997(10月18日), 滋賀県内におけるオサムシ類の分布. 第1回地表徘徊性甲虫類談話会, 大阪府立大学農学部昆虫学教室.

八尋克郎, 1997(11月15日、6日), 滋賀県内におけるオサムシ類の分布. ポスター発表、日本鞘翅学会第10回記念大会, 神奈川県立生命の星・地球博物館.

八尋克郎, 1997(11月16日), 10年間ライトトラップで捕獲されたゴミムシ類. 日本鞘翅学会第10回記念大会, ゴミムシ分科会, 神奈川県立生命の星・地球博物館.

## b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の整理と保管に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「滋賀県内における地上徘徊性昆虫(オサムシ・ゴミムシ)類の分布」, 研究代表者.

琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」, 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「屋外展示空間のモニタリングに関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「オサムシ上科甲虫の系統分類学的研究および生態学的研究」.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

日本昆虫学会第58回大会実行委員.

地表性甲虫談話会事務局.

滋賀オサムシ研究会事務局.

## d 学生指導、講義など

滋賀県立大学学部生指導研究, 「犬上川流域のゴミムシ類に関する研究」.

## e 受賞

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

1997(9月28日), 昆虫ウォッチング. 虎姫町主催.

1997(10月21日), 里山の昆虫. KBS京都ラジオ.

1997(12月21日), カブトムシの生. 虎姫町主催.

1997(6月14日), ほたるのお宿. 琵琶湖博物館フィールド自然観察会, 大津市.

1997(6月18日), 烏丸半島の昆虫. 琵琶湖博物館入門セミナー, 琵琶湖博物館.

1997(8月3日), 琵琶湖の周りの昆虫を調べよう. 琵琶湖博物館ミュージアム自然観察会, 琵琶湖博物館.

1997(8月17日), 田んぼの昆虫. 琵琶湖博物館田んぼ体験教室, 琵琶湖博物館.

1997(8月23-24日), 琵琶湖博物館夏休み相談室昆虫担当. 琵琶湖博物館.

**b 博物館情報活動に関する業績**

琵琶湖博物館昆虫乾燥標本データベースの構築・画面設計.

**c 博物館資料整備活動に関する業績**

琵琶湖博物館昆虫乾燥標本資料整理. 動物収蔵庫維持管理業務.

**d 博物館展示活動に関する業績**

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」. 「博物館の役割」コーナー企画・制作.

琵琶湖博物館平成11年度企画展示「近江はトンボの宝庫」. 企画.

**e 博物館企画調整事業に関する業績**

世界古代湖会議ポスター発表運営管理.

開館記念シンポジウム「水がはぐくむ生命(1)琵琶湖の魚と人間. 東アジア的世界のなかで」琵琶湖博物館研究報告書第11号, 校正.

**4 人事に関すること**

滋賀県生きもの総合調査昆虫類部会委員、滋賀県琵琶湖環境部自然保護課.

## 1 印刷物

## a 論文など

## b その他の印刷物

水上二己夫他編, 1997, 「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (3): 8pp.

水上二己夫他編, 1997, 「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (4): 8pp.

水上二己夫他編, 1997, 「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (5): 8pp.

水上二己夫他編, 1997, 「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (6): 8pp.

水上二己夫編, 1997, 「琵琶湖博物館子供向け情報誌 うみっこ」, 琵琶湖博物館, 草津, (2): 4pp.

水上二己夫編; 1997, 「琵琶湖博物館子供向け情報誌 うみっこ」, 琵琶湖博物館, 草津, (3): 4pp.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

## b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する総合研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「農村地域におけるビオトープ」.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

## d 学生指導、講義など

## e 受賞

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

1997(7月20日), 「川のお魚探検」. 琵琶湖博物館フィールド観察会, 近江町.

琵琶湖博物館田んぼ体験教室(第1回～第12回)運営・指導.

「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (3-6)企画.

「琵琶湖博物館子供向け情報誌 うみっこ」, 琵琶湖博物館, 草津, 企画・編集・発送(第2号・第3号).

「琵琶湖博物館行事案内たいけん・はっけん」企画・編集・発送(上半期号・下半期号).

## b 博物館情報活動に関する業績

## c 博物館資料整備活動に関する業績

「生きもの元気!放ったらかしの米作り」. 日本テレワーク(株)製作, 琵琶湖博物館編, 水田環境に関する映像の製作委託.

## d 博物館展示活動に関する業績

## e 博物館企画調整事業に関する業績

## 4 人事に関すること

## 1 印刷物

## a 論文など

- 前畑政善, 1997, 希少淡水魚の現状 ウシモツゴ. 長田芳和・細谷和海編「よみがえれ日本産淡水魚日本希少淡水魚の現状と系統保存」, 緑書房, 東京, pp.114-121.
- 前畑政善, 1997, 水族館における希少淡水魚の保存と今後の課題. 長田芳和・細谷和海編「よみがえれ日本産淡水魚日本希少淡水魚の現状と系統保存」, 緑書房, 東京, pp.205-217.
- 前畑政善, 1998, イワトコナマズの産卵行動. 「世界古代湖会議」報告書—古代湖における生物と文化の多様性—, 世界古代湖会議実行委員会, p127.
- Takai, N., W. Sakamoto, M. Maehata, N. Arai, T. Kitagawa, & Y. Mitsunaga, 1997, Settlement characteristics and habits use of Lake Biwa catfish *Silurus biwaensis* measured by ultrasonic telemetry: Fisheries Science, 63(2): 181-187.

## b その他の印刷物

- 前畑政善・秋山廣光, 1997, 魚類の飼育は水にあり. 琵琶湖博物館編, 「博物館ができるまで」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.60-61.
- 前畑政善・秋山廣光, 1997, 水族飼育係の1日はこうだよ. 琵琶湖博物館編, 「博物館ができるまで」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.62.
- 前畑政善, 1997, ビワヒガイ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料(IV)(III). 淡水魚類, (社)日本水産資源保護協会, pp234-238.
- 前畑政善, 1997, 琵琶湖の魚今昔. なきごえ(大阪天王寺動植物公園事務所編), 4-5.
- 前畑政善, 1997, 琵琶湖の魚と環境(4)ホンモロコ. 大津赤十字病院編「日赤おおつ」, 大津赤十字病院, 大津, (198): 4.
- 前畑政善, 1997, 琵琶湖の魚と環境(11)琵琶湖のヌシの不思議な産卵生態. 大津赤十字病院編「日赤おおつ」, 大津赤十字病院, 大津, (203): 1.
- 前畑政善, 1997, アユ事情今昔. ガバナー月信, 国際ローカール倶楽部広報誌, pp.20.
- 前畑政善・秋山廣光・桑原雅之・中藤谷子・桑村邦彦・松田征也, 1997, 松田征也編「水族企画展 北海道の淡水魚」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 8pp
- 前畑政善, 1997, 釣魚を知る、学ぶ!これがライギョだ. Angler's Creek, 若生出版株式会社, pp.14-17.
- 前畑政善, 1998, 琵琶湖の魚と環境(17)イワトコナマス. 大津赤十字病院編「日赤おおつ」, 大津赤十字病院, 大津, (208): 2.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

- 前畑政善, 1997, イワトコナマズの産卵行動, 古代湖としての琵琶湖—生態系の現状. 世界古代湖会議ICAL'97—古代湖における生物と文化の多様性—.
- 中井克樹・中島経夫・前畑政善, 1997, 古代湖としての琵琶湖—生態系の現状. 世界古代湖会議ICAL'97—古代湖における生物と文化の多様性—.

## b 研究プロジェクト

- 琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する研究」, 研究分担者.
- 琵琶湖博物館専門研究「日本産ナマズの産卵生態」.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

## d 学生指導、講義など

## e 受賞

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

- 1997(2月14日), 近江の川づくりと魚. 滋賀県農業共催会館(滋賀県土木部河港課).
- 1997(5月17日), 淡水魚入門講座入門編淡水魚とは何か. 琵琶湖博物館講座, 琵琶湖博物館.
- 1997(5月31日), 淡水魚入門講座講義編琵琶湖の魚と環境. 博物館講座, 琵琶湖博物館.
- 1997(6月1日), 琵琶湖ウオッチ(クイズ大会). 能登川町青年会議所.
- 1997(6月10日), 水族館における希少淡水魚保存事業. 平成9年度(中央ブロック)水産業関係試験研究推進会議, 水産庁中央

水産研究所.

- 1997(7月14日), わがふるさと琵琶湖を知ろう. 第29回彦根市保育大会, ひこね市文化プラザエコホール.  
1997(7月18日), 琵琶湖の魚と環境. (日教組全国書記連東海・近畿ブロック書記交流会), 滋賀県教育会館.  
1997(7月19日), 琵琶湖の魚と環境. 滋賀刑務所.  
1997(8月18日), 淡水魚入門「脊椎動物学」・「琵琶湖の魚」. 淡水魚入門講座大阪シニア自然大学, 梅田東生涯学習ルーム.  
1997(8月20日), 脊椎動物学. 淡水魚入門講座大阪自然大学, 梅田東生涯学習ルーム.  
1997(8月25日), 野外実習. 淡水魚入門講座大阪シニア自然大学, 大津市田上(大戸川).  
1997(8月27日), 琵琶湖の魚・日本の淡水魚の現状と保全. 淡水魚入門講座大阪自然大学, 梅田東生涯学習ルーム.  
1997(8月30日), 野外実習. 淡水魚入門講座大阪自然大学, 大津市田上(大戸川).  
1997(9月13日), 野外実習. 淡水魚入門講座(実習編)琵琶湖博物館講座, 大津市田上(大戸川).  
1997(11月10日), 川の魚と環境. 土木部職員専門研修「環境部門」.  
1997(11月20日), 環境問題の現状と課題. 琵琶湖博物館ホール, 県総合教育センター 教職経験者研修1.  
1997(12月24日), 環境問題の現状と課題. 琵琶湖博物館ホール, 県総合教育センター 教職経験者研修1.  
1998(1月18日), 魚の話. 滋賀県職員互助会講演, 琵琶湖博物館.  
1998(1月19日), 琵琶湖の魚. 滋賀県レイカディア大学必須講座「郷土理解(自然・歴史)の分野」, 滋賀県長寿社会福祉センター.  
1997(2月6日), 琵琶湖の環境とさかな. 滋賀県消防職最高幹部研修会講演, 滋賀厚生年金休暇センター.  
1998(2月13日), 琵琶湖の環境と魚の現状. 琵琶湖博物館, 南部工業用水連絡協議会研修会.  
1997, 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (3-6) 企画.

#### b 博物館情報活動に関する業績

#### c 博物館資料整備活動に関する業績

水田で採集された魚類・昆虫など約2,000点.

#### d 博物館展示活動に関する業績

琵琶湖博物館企画展示「北海道の淡水魚」. 企画.  
琵琶湖博物館水族展示. カメ池改修工事レイアウト作成.

#### e 博物館企画調整事業に関する業績

### 4 人事に関すること

- 1997, 滋賀県生き物総合調査委員会委員(魚貝類部会長). 滋賀県自然保護課, (1997.6.30.-2001.3.31).  
1997, 環境庁希少野生動植物保存推進員. 環境庁自然保護局野生生物課, (1997.6.9.-2000.6.30).  
1997, 丹生ダム生態系保全検討委員会委員(近畿圏整備特別委員会). (1997.7.-1998.3.).  
1997, 滋賀県琵琶湖水政対策本部自然的環境・景観分科会ワーキング担当者会議委員. 琵琶湖総合保全整備計画策定部会自然環境分科会.  
1997, 「イタセンバラ保全会議」出席. 愛知県土木部, 愛知県三の丸庁舎.  
1998, 建設省瀬田川砂防管内溪流環境整備計画検討委員会委員. 建設省近畿地方建設局琵琶湖工事事務所, (1998.1.-1999.3.).  
1998, 環境庁「絶滅のおそれのある野生生物の評価検討委員会」委員. 環境庁自然保護局野生生物課, (1997.6.9.-2000.3.31).

## 1 印刷物

## a 論文など

- 用田政晴, 1997, 橋本鉄男先生と丸子船. 用田政晴編「丸子船物語」, サンライズ出版, 彦根, pp1-11.
- 用田政晴, 小笠原俊明, 1997, 農業用取水施設「タツロウ」について. 滋賀文化財だより, 239: 1-4.
- Kobayasi, Y., Okamoto, K., Yoda, M., 1997, A Ground Probing Radar Penetrating up to The Depths over 10 Meters. In: "ENGINEERING AND ENVIRONMENTAL GEOPHYSICS FOR THE 21st CENTURY" Sichuan Publishing House of Science & Technology, China, pp170-175.
- 用田政晴・小竹森直子, 1997, 滋賀県の石器組成の変遷. 国立歴史民俗博物館資料調査報告書7, 農耕開始期の石器組成4, pp.931-944.

## b その他の印刷物

- 用田政晴, 1997, 丸子船. 「立体復元 日本の歴史(下)」新人物往来社, 東京, pp36.
- 用田政晴, 1997, 天智天皇が飛鳥から移した湖畔の都大津宮. 「立体復元 日本の歴史(上)」新人物往来社, 東京, pp107.
- 用田政晴, 1997, 新羅系渡来人の技術を導入した橋瀬田唐橋. 「立体復元 日本の歴史(上)」新人物往来社, 東京, pp123.
- 用田政晴編, 1997, 丸子船物語. サンライズ出版, 滋賀, pp.21-185.
- 用田政晴, 1997, 博物館案内滋賀県立琵琶湖博物館. 滋賀考古, 17: 64-66
- 用田政晴, 1997, 基本計画ができるまで. 高橋啓一編, 「琵琶湖博物館開館までのあゆみ」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.75-76.
- 用田政晴, 1997, 展示実施設計策定まで. 高橋啓一編, 「琵琶湖博物館開館までのあゆみ」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.127.
- 用田政晴, 1997, (仮称)琵琶湖博物館建築基本図作成における留意事項. 高橋啓一編, 「琵琶湖博物館開館までのあゆみ」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.207-232.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

- 用田政晴, 1983, 昭和57年度県指定文化財の紹介その3ー塩津丸山古墳群. 滋賀文化財だより, 72: 86-87
- 用田政晴, 1983, 渡岸寺の寺域を想定. 滋賀文化財だより, 75: 100.
- 用田政晴, 1983, 横山神社古墳. 昭和54.55.56年度滋賀県文化財調査年報, pp.31-32
- 用田政晴, 1983, 塩津丸山古墳群. 昭和54.55.56年度滋賀県文化財調査年報, pp.33-34.
- 用田政晴, 1984, 瓦焼成の登窯を発掘 西浅井町菅浦諸川遺跡. 滋賀文化財だより, 85: 137.
- 用田政晴, 1984, 塩津丸山古墳群. 昭和57年度滋賀県文化財調査年報, pp.31.
- 用田政晴, 1985, 玄蕃尾城跡. 昭和58年度滋賀県文化財調査年報, pp.11-15.
- 用田政晴, 1985, 西野水道. 昭和58年度滋賀県文化財調査年報, pp.16-25.
- 用田政晴, 1986, "埋蔵文化財保護の手引き". pp.1-28.
- 用田政晴, 1986, 近江の地域性を探るー弥生時代. 埋もれた文化財の話, 5: 3.
- 用田政晴, 1987, 弥高寺跡. 昭和60年度滋賀県文化財調査年報, pp.8-10.
- 用田政晴, 1987, 諸川瓦窯跡. 昭和60年度滋賀県文化財調査年報, pp.11-19.
- 岡本敬一・小林芳正・用田政晴, 1994, 指向性アンテナを用いた遺跡探査法の基礎実験. 物理探査学会第90回学術講演会論文集, pp.434-438.
- 用田政晴, 1996, 琵琶湖博物館ニュース2. ニュー滋賀, 42: 1.
- 用田政晴・中川正人, 1996, 古代勢多唐橋の調査と復元展示ー大型出土木材の保存. 第18回文化財保存修復学会講演要旨集, pp.42-43.

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

- Kobayasi, Y., Okamoto, K., Yoda, M., 1997, A Ground Probing Radar Penetrating up to The Depths over 10 Meters. International Symposium on Engineering and Environmental Geophysics, Chengdu Univ.China.

## b 研究プロジェクト

- 琵琶湖博物館専門研究「近江の地域性に関する考古学的研究」.
- 財団法人日本科学協会研究助成「博物館における伝統的木造船の保存と展示手法の開発研究」, 研究代表者.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

d 学生指導、講義など

e 受賞

3 博物館事業に関する業績

a 交流・サービス活動に関する業績

b 博物館情報活動に関する業績

c 博物館資料整備活動に関する業績

d 博物館展示活動に関する業績

e 博物館企画調整事業に関する業績

4 人事に関すること

**1 印刷物****a 論文など****b その他の印刷物**

- 小笠原俊明, 1997, 空から見た琵琶湖. 琵琶湖博物館編, 「博物館ができるまで」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.40-41.
- 小笠原俊明, 1997, 琵琶湖アルバムへの思い. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (4):4-5.
- 小笠原俊明, 1997, 水害—水との関わり的一面. 琵琶湖博物館編「琵琶湖博物館開館1周年企画展私とあなたの琵琶湖アルバム」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.70-71.
- 用田政晴・小笠原俊明, 1997, 農業用取水施設「タツロウ」について. 滋賀文化財だより, (239): 1-4
- 小笠原俊明, 1998, 近畿と琵琶湖. 川那部浩哉・千地万造・井倉孝・木村滋編「滋賀県立琵琶湖博物館総合案内」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.68-69.
- 小笠原俊明, 1998, 琵琶湖博物館における琵琶湖・淀川水系の水利用に関する展示計画. 嘉田由紀子・小笠原俊明編「琵琶湖博物館調査研究報告第6号琵琶湖・淀川水系における水利用の歴史の変遷」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.19-42.
- 嘉田由紀子・小笠原俊明編, 1998, 「琵琶湖博物館調査研究報告第6号琵琶湖淀川水系における水利用の歴史の変遷」, 琵琶湖博物館, 草津, 68pp.

**c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物****2 研究活動に関する業績****a 学会講演****b 研究プロジェクト**

琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」, 研究代表者.

**c 学会役員、学会誌レフリーなど****d 学生指導、講義など****e 受賞など****3 博物館事業に関する業績****a 交流・サービス活動に関する業績**

- 1997(7月21日), 「近江八幡路上観察・撮影会」. 琵琶湖博物館路上観察会, 近江八幡市.
- 1997(10月5日), 「長浜のまちを再発見」. 琵琶湖博物館路上観察会, 長浜市.
- 1997(12月17日・20日), 「河と人間」. 琵琶湖博物館入門セミナー, 琵琶湖博物館.

**b 博物館情報活動に関する業績****c 博物館資料整備活動に関する業績****d 博物館展示活動に関する業績**

- 琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」. 「空から見た琵琶湖」コーナー企画・制作.
- 琵琶湖博物館企画展示「私とあなたの琵琶湖アルバム」. 企画・制作.

**e 博物館企画調整事業に関する業績****4 人事に関すること**

## 1 印刷物

## a 論文など

- 桑村邦彦, 1997, バイテク利用によるニジマス・アマゴの有用形質魚の育種および養殖システム開発に関する研究. 平成8年度バイテク利用養殖システム高度化事業報告書, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, 13pp.
- 桑村邦彦, 1997, ハリヨの増殖保存技術開発および県内生息状況. 平成8年度稀少水生生物保存対策試験事業報告書, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, 14pp.
- 桑村邦彦, 1997, 超肥育系雌性発生ニジマスの及びそのクローン系の養殖特性. 平成6年度滋賀県醒井養鱒場業務報告, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, pp.33-34.
- 澤田宣雄・桑村邦彦, 1997, 湖産アユ種苗の放流後の歩留まり. 平成6年度滋賀県醒井養鱒場業務報告, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, pp.37-38.
- 桑村邦彦, 1997, 滋賀県に生息するハリヨの増殖保存に関する研究. 平成6年度滋賀県醒井養鱒場業務報告, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, pp.41-42.
- 桑村邦彦, 1997, ニジマス超肥育系の有用特性とクローン化等染色体操作による形質改良. 平成7年度滋賀県醒井養鱒場業務報告, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, pp.37-38.
- 桑村邦彦, 1997, ニジマス早期産卵系の再生産関連形質. 平成7年度滋賀県醒井養鱒場業務報告, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, pp.39-40.
- 澤田宣雄・桑村邦彦, 1997, 湖産アユ種苗の河川放流後の歩留まり. 平成7年度滋賀県醒井養鱒場業務報告, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, pp.45-46.
- 桑村邦彦, 1997, 天然河川に放流したイワナ標識魚の動向. 平成7年度滋賀県醒井養鱒場業務報告, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, pp.47-48.
- 桑村邦彦, 1997, ハリヨの県内生息状況調査と増殖保存技術. 平成7年度滋賀県醒井養鱒場業務報告, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, pp.49-50.

## b その他の印刷物

- 桑村邦彦, 1997, ニゴロブナ、琵琶湖の魚と環境(8). 大津赤十字病院編「日赤おおつ」, 大津赤十字病院, 大津, (200): 1.
- 桑村邦彦, 1997, アメノウオ(ビワマス)、琵琶湖の魚と環境(13). 大津赤十字病院編「日赤おおつ」, 大津赤十字病院, 大津, (204): 1.
- 桑村邦彦他, 1998, C展示室 淡水の生き物たち. 川那部浩哉・千地万造・井倉孝・木村滋編「滋賀県立琵琶湖博物館 総合案内」, 琵琶湖博物館, 草津, pp. 72-84.
- 嘉田由紀子・前畑政善・秋山廣光・松田征也・中井克樹・桑村邦彦・桑原雅之, 1997, 桑原雅之編「水族企画展 古代湖の世界—個性的な生き物たち—」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 8pp.
- 前畑政善・秋山廣光・桑原雅之・中藤容子・桑村邦彦・松田征也, 1997, 松田征也編「水族企画展 北海道の淡水魚」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 8pp.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

- 桑村邦彦・岡本晴夫・太田滋規・升本義隆・水谷英志, 1992, 資源抑制マニュアル. 全国内水面漁業協同組合連合会, ブラックバスとブルーギルのすべて～外来魚対策検討委託事業報告書～, pp.147-210.
- 里井晋一・山中治・桑村邦彦・澤田宣雄・西森克浩, 1993, コアユ資源予測調査(平成元年度). 滋賀県水産試験場研究報告, (43):23-40.
- 西森克浩・的場洋・大江孝二・桑村邦彦・太田滋規, 1993, コアユ資源予測調査(平成2年度). 滋賀県水産試験場研究報告, (43):46-58.
- 西森克浩・水谷英志・桑村邦彦・岡本春夫・太田滋規, 1993, コアユ資源予測調査(平成3年度). 滋賀県水産試験場研究報告, (43):59-71.
- 森田尚・西森克浩・岡本春夫・前河孝志・的場洋・井嶋重尾・桑村邦彦・澤田宣雄, 1993, 琵琶湖定点定期観測(平成元年度). 滋賀県水産試験場研究報告, (43):158-197.
- 桑村邦彦・太田滋規, 1993, 山の下湾に設置した張網による生物調査. 平成4年度滋賀県水産試験場業務報告, (43):51-52.
- 桑村邦彦・太田滋規, 1993, オオクチバスの輸精管切断による不妊化と繁殖阻止効果. 平成4年度滋賀県水産試験場業務報告, (43):57-58.
- 太田滋規・桑村邦彦, 1993, オオクチバスの稚魚期の食性. 平成4年度滋賀県水産試験場業務報告, (43):59-60.
- 西森克浩・岩崎治臣・桑村邦彦・太田滋規・考橋賢, 1993, 平成4年度の湖中アユ親魚状況と産卵状況. 平成4年度滋賀県水産試験場業務報告, (43):63-64.
- 西森克浩・岩崎治臣・桑村邦彦・太田滋規・考橋賢, 1993, 平成4年度のヒウオ生息状況. 平成4年度滋賀県水産試験場業務報告, (43):65-66.
- 桑村邦彦, 1994, 染色体操作によるニジマス、アマゴの改良特性の検討並びに優良形質固定等の育種に関する研究. 平

成5年度地域バイオテクノロジー実用化技術研究開発促進事業報告書, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, 14pp.  
 田中秀具・桑村邦彦, 1994, ハリヨの増殖保存に関する研究. 平成5年度稀少水生生物保存対策試験事業報告書, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, 10pp.  
 桑村邦彦, 1995, 染色体操作によるニジマス、アマゴの改良特性の検討並びに優良形質固定等の育種に関する研究. 平成6年度地域バイオテクノロジー実用化技術研究開発促進事業報告書, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, 14pp.  
 桑村邦彦, 1995, ハリヨの増殖保存技術開発および県内生息状況. 平成6年度稀少水生生物保存対策試験事業報告書, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, 14pp.  
 桑村邦彦, 1995, イワナ発眼卵の放流効果調査. 全国湖沼河川養殖研究会在来マス増殖研究部会, 在来マス増殖研究部会報告書(平成4~6年度とりまとめ), pp.87-92  
 田中秀具・桑村邦彦, 1995, ハリヨの増殖保存に関する研究. 平成5年度滋賀県醒井養鱒場業務報告, pp.53-62.  
 桑村邦彦, 1995, 染色体操作によるニジマス、アマゴの改良特性の検討並びに優良形質固定等の育種に関する研究. 平成5年度滋賀県醒井養鱒場業務報告, pp.32-45  
 桑村邦彦, 1996, 染色体操作によるニジマス、アマゴの改良特性の検討並びに優良形質固定等の育種に関する研究. 平成7年度地域バイオテクノロジー実用化技術研究開発促進事業報告書, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, pp.19  
 桑村邦彦, 1996, ハリヨの増殖保存技術開発および県内生息状況. 平成7年度稀少水生生物保存対策試験事業報告書, 滋賀県醒井養鱒場, 米原, pp.14

## 2 研究活動に関する業績

### a 学会講演

### b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する総合研究」, 研究分担者.  
 琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸生態系の構造と動態に関する研究」, 研究協力者.  
 琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」, 研究分担者.  
 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖に生息するモクスガニの生態学的研究」.  
 深泥池水生生物研究会「外来魚資源抑制調査」, 研究分担者.

### c 学会役員、学会誌レフリーなど

### d 学生指導、講義など

### e 受賞

## 3 博物館事業に関する業績

### a 交流・サービス活動に関する業績

1997(6月7日), 琵琶湖の環境と魚. 琵琶湖博物館入門セミナー, 琵琶湖博物館.  
 1997(6月14日), 琵琶湖の魚と漁具漁法. 淡水魚入門講座一講義編一, 琵琶湖博物館講座, 琵琶湖博物館.  
 1997(7月23日), 産業としてのアユと琵琶湖の環境保全事業, 在阪道府県協議会第三部会研修, 琵琶湖博物館.  
 1997(8月28日), 琵琶湖の環境の特色と現状. 立命館大学びわこ・くさつキャンパス教職員研修, 琵琶湖博物館.  
 1997(8月30日), びわ湖の貝を調べてみよう. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.  
 1998(2月13日), 滋賀県理科助手教員研修, 琵琶湖博物館.  
 1998(3月6日), 琵琶湖の環境と固有魚種. 平成9年度滋賀県水産後継者シンポジウム, 琵琶湖博物館.  
 1998(3月8日), 水族館探検隊. 琵琶湖博物館探検, 琵琶湖博物館.

### b 博物館情報活動に関する業績

### c 博物館資料整備活動に関する業績

水族展示用北海道産淡水魚類. 17種, 約100点収集.

### d 博物館展示活動に関する業績

琵琶湖博物館水族企画展示「北海道の淡水魚」, 1997(11月2日)-1998(2月5日), 企画・魚類収集・実施.

### e 博物館企画調整事業に関する業績

世界古代湖会議エクスカージョン担当.

## 4 人事に関すること

## 1 印刷物

## a 論文など

## b その他の印刷物

桑原雅之, 1997, バイカル湖のヨコエビ. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (2): 5.

桑原雅之, 1997, 琵琶湖水系にすむビワマスとアマゴ. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (4): 6.

桑原雅之, 1997, 琵琶湖の魚と環境(5)ウグイ. 大津赤十字病院編「日赤おおつ」, 大津赤十字病院, 大津, (197): 1.

桑原雅之, 1997, 琵琶湖の魚と環境(10)ビワマス. 大津赤十字病院編「日赤おおつ」, 大津赤十字病院, 大津, (202): 1.

前畑政善・秋山廣光・藤岡康弘・桑原雅之・松田征也, 1997, 松田征也編「水族企画展 ブラジルの淡水魚」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 8pp.

嘉田由紀子・前畑政善・秋山廣光・松田征也・中井克樹・桑村邦彦・桑原雅之, 1997, 桑原雅之編「水族企画展 古代湖の世界—個性的な生き物たち—」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 8pp.

桑原雅之・中井克樹, 1997, 展示解説編「バイカル湖」. 宮本真二・アン・リュウ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.5-8.

桑原雅之・中井克樹, 1997, 世界の古代湖ガイド「バイカル湖」. 宮本真二・アン・リュウ・ロター・脇田健一編, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.21-28.

前畑政善・秋山廣光・桑原雅之・中藤容子・桑村邦彦・松田征也, 1997, 松田征也編「水族企画展 北海道の淡水魚」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 8pp.

桑原雅之他, 1998, C展示室 淡水の生き物たち. 川那部浩哉・千地万造・井倉孝・木村滋編「滋賀県立琵琶湖博物館総合案内」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.72-85

桑原雅之, 1998, 琵琶湖の魚と環境(16)ビワヒガイとアブラヒガイ. 大津赤十字病院編「日赤おおつ」, 大津赤十字病院, 大津, (207): 2.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

桑原雅之, 1997(6月24日)ビワマスにおける河川残留型の存在と琵琶湖流入河川に生息するとされるアマゴについて. 世界古代湖会議, 琵琶湖博物館.

## b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸生態系の構造と動態に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する総合研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の整理保管と利用に関する研究(琵琶湖博物館における淡水無脊椎動物(昆虫を除く)の参照用摘要標本の確立)」, 研究協力者.

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖水系におけるビワマスとアマゴの関係について」.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

## d 学生指導、講義など

## e 受賞など

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

1997(9月6日), 魚類調査法. 淡水魚入門講座—講義編—日本の淡水魚の現状と保全. 琵琶湖博物館講座, 琵琶湖博物館.

1997(9月13日), 魚類調査法—実技編—. 淡水魚入門講座—講義編—日本の淡水魚の現状と保全. 琵琶湖博物館講座, 琵琶湖博物館.

1997(10月19日), 琵琶湖の環境とさかな. 下坂本子供指導者連絡協議会, 下坂本小学校.

1998(3月7日), 水族館探検隊. 琵琶湖博物館探検, 琵琶湖博物館.

## b 博物館情報活動に関する業績

**c 博物館資料整備活動に関する業績**

水族展示用資料収集。  
展示用水族繁殖作業。  
死亡水族の標本登録。

**d 博物館展示活動に関する業績**

琵琶湖博物館水族企画展示「古代湖の世界」，企画・制作。  
琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」，「バイカル湖」コーナー企画・制作。

**e 博物館企画調整事業に関する業績**

世界古代湖会議映像記録担当。

**4 人事に関すること**

## 1 印刷物

## a 論文など

宮本真二, 1997, 博物館における自然地理学の役割. 立命館地理学, 9: 77-81.

岩田修二・宮本真二, 1997, ジェンベシ谷の2万年. 季刊民族学, 79: 44-53.

## b その他の印刷物

宮本真二・アンドリュウ・ロジャー・脇田健一編, 1997, 「琵琶湖博物館企画展示 古代湖の世界 展示解説書・世界の古代湖ガイド」, 琵琶湖博物館, 草津, 87pp.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

石代吉史・宮本真二, 1997, オーストラリア, ニューサウスウェールズにおける森林破壊. 日本地理学会春季学術大会, 東京都立大学.

Miyamoto, S., Yasuda, Y. & Kitagawa, H., 1997, Paleoenvironmental Changes in the Last Glacial Maximum around the Wakasa Bay Region, north of Lake Biwa. ICAL97, 琵琶湖博物館.

横田喜一郎・田中里志・田村嘉之・山崎博史・宮本真二・里口保文・森川美幸・小田寛貴・小島貞男, 1997, 音波探査による琵琶湖堆積層準の検出. 堆積学研究会, 静岡大学.

## b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖, その成立と人間生態系に関する総合研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖周辺域における過去一万年間における自然環境と人間活動の変遷」, 研究代表者.

琵琶湖博物館専門研究「最終氷期以降における古環境変動の高精度復原」.

文部省科学研究費補助金(COE形成基礎研究)「長江文明の探求」, 研究分担者.

東京地学協会調査研究助成「ヒマラヤ山脈東部における埋没腐植層の形成と環境改変」, 研究代表者.

国立民族学博物館共同研究「熱帯高地における環境の利用と保全に関する総合研究」, 共同研究員.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

## d 学生指導、講義など

立命館大学文学部学芸員実習指導(4月18日, 11月23日).

## e 受賞

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

1997(2月21日), 土の中の花粉化石から過去を読む. 滋賀県理科教育研究会, 琵琶湖博物館.

1997(2月26日), 表層堆積物の花粉分析. 琵琶湖研究所堆積物研究会, 琵琶湖博物館.

1997(9月12日), 地理学からみた自然. 立命館高校見学会, 琵琶湖博物館.

1997(10月26日), 古琵琶湖層群の化石採集会. 琵琶湖博物館フィールド観察会, 三重県大山田村.

1997(12月14日), 地層のみかた調べ方. 琵琶湖博物館ミュージアム観察会, 琵琶湖博物館.

## b 博物館情報活動に関する業績

1997, 改訂版琵琶湖博物館ホームページ(観察会・講座・セミナー).

## c 博物館資料整備活動に関する業績

## d 博物館展示活動に関する業績

琵琶湖博物館企画展示「古代湖の世界」, 展示主任.

## e 博物館企画調整事業に関する業績

#### 4 人事に関すること

## 1 印刷物

## a 論文など

- 布谷知夫, 1997, 現在の植生分布. 羽曳野市史(本文編), 羽曳野市史編纂室, pp.111-123.  
 布谷知夫, 1997, 国指定天然記念物泉葛城山ブナ林をめぐる経過と現状. 関西自然保護機構会報, 19(2): 121-130.  
 布谷知夫, 1998, 参加型博物館に関する考察. 博物館学雑誌, 23(2): 15-24.

## b その他の印刷物

- 布谷知夫, 1997, 木の器(うつわ)新撰淡海木間さらえ. Duet, vol.55(7/8): 9.  
 布谷知夫, 1997, 不便どこまで我慢するか. 朝日新聞, (11月25日).  
 布谷知夫, 1997, タンポポ調査. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (2): 7.  
 布谷知夫, 1997, アオマツムシは鳴いているか. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (4): 7.  
 布谷知夫, 1997, 博物館のイメージ(湖国随想). 中日新聞, (1月27日).  
 布谷知夫, 1997, 琵琶湖博物館. ECOMAP, 財団法人キープ協会, (30): 2.  
 布谷知夫, 1997, 滋賀県立琵琶湖博物館の建設をふりかえって. 奈良県立自然史博物館を作る会会報, (17): 1-3.  
 布谷知夫, 1997, 琵琶湖博物館と環境. HIROBA, 近畿建築士協議会, (400): 17.  
 布谷知夫, 1997, 人はなぜ博物館に行くのか(湖国随想). 中日新聞, (8月4日).  
 布谷知夫, 1997, 下見をしない観察会(自然観察のテーマ・17). 大阪府自然観察指導員連絡会会誌, (19): 2-4.  
 布谷知夫, 1997, 調べる観察会(自然観察のテーマ・18). 大阪府自然観察指導員連絡会会誌, (20): 2-4.  
 布谷知夫, 1997, 春をさがしてみませんか(自然観察のテーマ・19). 大阪府自然観察指導員連絡会会誌, (21): 2-4.  
 布谷知夫, 1997, 次の20年をめざして. 都市と自然, 21(4): 5.  
 布谷知夫, 1997, 知っていることと見てわかること(自然観察のテーマ・20). 大阪自然観察指導員連絡会会誌, (22): 2-4.  
 布谷知夫, 1997, ある秋の観察会(自然観察のテーマ・21). 大阪府自然観察指導員連絡会会誌, (23): 2-5.  
 布谷知夫他, 1997, 琵琶湖博物館編, 「博物館ができるまで」, 琵琶湖博物館, 草津, pp.86pp.  
 布谷知夫, 1998, 環境教育の場としての里山. ランドスケープ研究, 日本造園学会, 61(4): 296-298.  
 布谷知夫, 1998, 右巻と左巻(自然観察のテーマ・22). 大阪府自然観察指導員連絡会会誌, (24): 2-5.  
 布谷知夫, 1998, タンポポ, いっしょに調べてみませんか. アンサンブル, (377): 12-13.  
 布谷知夫, 1998, 二年目をむかえた琵琶湖博物館. 楓(滋賀県造園技術者協議会), (59): 3-4.  
 布谷知夫, 1998, 何となく思い込んでしまう(湖国随想). 中日新聞, (3月2日).  
 布谷知夫, 1998, 本庄おもしろ探検団. 小学校環境教育実践シリーズ-生きている土生きている川-, 旬報社, 140-147.  
 布谷知夫, 1998, 湖の人々と暮し. 第45回全国私学教育研究集会京都大会研究収録, 日本私学教育研究所, pp.218-233.  
 布谷知夫, 1998, 滋賀県東南部の博物館案内. 全日本博物館学会ニュース, 3-4.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

- 布谷知夫, 1996, 琵琶湖博物館と環境教育. 近畿・東海地区高等学校農業教育研究会並びに全国高等学校農場協会近東支部総会研究収録(平成8年度), pp.11-18.

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

## b 研究プロジェクト

- 琵琶湖博物館共同研究「屋外展示空間の生物群集と環境の変化のモニタリング」, 研究分担者.  
 琵琶湖博物館共同研究「生活と科学の接点としての環境調査の手法開発に関する研究」, 研究分担者.  
 琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する総合研究」, 研究分担者.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

- 湖国文化情報誌編集委員.  
 日本生態学会自然保護専門委員会委員.

## d 学生指導、講義など

## e 受賞など

### 3 博物館事業に関する業績

#### a 交流・サービス活動に関する業績

- 1997(1月18日), 里山活用の考え方. 里山フォーラム, 琵琶湖博物館.  
1997(1月30日), 琵琶湖博物館の概要. 日本博物館協会研究協議会庶務部門, 琵琶湖博物館.  
1997(1月31日), 琵琶湖博物館の交流活動, 日本博物館協会研究協議会庶務部門, 琵琶湖博物館.  
1997(3月16日), 琵琶湖博物館の誕生. 静岡県自然史博物館推進協議会, 静岡教育会館.  
1997(4月12日), 琵琶湖博物館の概要. 奈良教育大学生物実習.  
1997(5月8日-7月3日), 台所の植物学. 琵琶湖博物館講座(5回連続), 琵琶湖博物館.  
1997(5月14日), 里山の利用とくらし. 金勝公民館講座.  
1997(5月18日), 水まわりの自然とくらし. 三和緑基金同志社大学講座フィールドワーク, 琵琶湖博物館.  
1997(5月23日), 環境展示の考え方. 大阪生物教育研究会.  
1997(5月27日), 琵琶湖博物館の建築計画. 日本建築協会.  
1997(5月27日), 琵琶湖博物館の概要. 近畿建築家協会.  
1997(6月13日), 琵琶湖博物館の理念と実際. 全国大学博物館実習協議会.  
1997(6月14日), 琵琶湖地域と博物館. 草津市.  
1997(6月14日), 博物館と文化. びわこデザイン文化協会, 琵琶湖博物館.  
1997(7月5日), 琵琶湖博物館と学校教育. 近畿高等学校教頭会議.  
1997(7月6日), 琵琶湖博物館の理念. 京都橘女子大学博物館実習.  
1997(7月18日), 琵琶湖博物館の展開. 企画県民部研修.  
1997(7月27日), 琵琶湖博物館の建築経過. 地球女倶楽部.  
1997(8月5日), 身近な植物の観察およびからだのつくり. 第21回自然調査ゼミナール, 滋賀県中学校教育研究会理科部会, 琵琶湖博物館実習室.  
1997(8月28日), 琵琶湖博物館と学習指導への利用. 社会科体験講座.  
1997(9月26日), 植物のくらしから環境を考える. 滋賀女子短期大学公開講座, 滋賀女子短期大学.  
1997(10月3日), 植物と環境. 県友弘済会教養懇話会, 皇子が丘いこいの村.  
1997(10月4日), 琵琶湖博物館と環境. 大津市・貝塚市合同公民館研究会.  
1997(11月24日), 琵琶湖博物館の理念と環境教育. 環境教育フォーラム. 京都市サーチサイエンスパーク.  
1997(11月1日), 里山について. 里山管理リーダー養成講座, 能勢大阪府野外活動センター.  
1997(11月4日), プナについて. 湖北にプナを植える会.  
1997(11月14日), 琵琶湖博物館と環境. 経済同友会研修会.  
1997(11月14日), 環境のとらえかた. 全国私学教育研究集会, 琵琶湖博物館.  
1997(11月28日), 環境問題の現状と課題. 琵琶湖博物館の役割, 滋賀県教職員六年次研修, 滋賀県教育研究センター, 琵琶湖博物館.  
1997(11月29日), 琵琶湖博物館の考え方. 日本動物学会, 琵琶湖博物館.  
1997(12月6日), 琵琶湖博物館の運営の考え方. 人と自然の博物館, 施設ボランティア養成講座.  
1997(12月9日), 博物館と動物園とはどうちがうか. 日本動物植物専門学院動物調教科, 琵琶湖博物館.  
1997(12月18日), 参加型アミューズメントによる「湖と人間」. 大阪工業会, 琵琶湖博物館.  
1997(12月23日), 琵琶湖博物館と環境. 森の学校, 琵琶湖博物館.  
1997(3月8日), 博物館の立場と利用者のイメージ. 琵琶湖博物館開館記念シンポジウム, 琵琶湖博物館.  
1997(3月20日), 下之郷遺跡から考える環境復元. 下之郷遺跡調査現場事務所.  
1997(4月13日), 博物館の舞台裏. 琵琶湖博物館.  
1997(6月7日), ミュージアムの魅力とは. トヨタ・アートマネジメント講座, みやこめっせ.  
1997(10月12日), 秋の打見岳の植物観察会. 琵琶湖博物館.  
1997(10月26日), 秋の里山を歩こう. 琵琶湖博物館.  
1997(12月5日), 今, なぜ環境教育か. 環境教育研修会, 豊中市教育委員会.  
1997(12月7日), ワリバシは何の木でできているか. 琵琶湖博物館講座(5回連続).  
1997(12月12日), 環境展示の考え方. 大阪生物教育研究会, セミナー室.  
1997, 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (3-6)企画.  
1998(1月17日), 足下の環境に目を向けてみよう. 身近な環境調べ, 発表・交流会, 豊中市教育委員会, 豊中市立生活情報館.  
1998(3月1日-4月30日), 参加型調査「春をさがしてみませんか」の計画と実施.

#### b 博物館情報活動に関する業績

動画資料「琵琶湖の水生植物」. 製作.

#### c 博物館資料整備活動に関する業績

#### d 博物館展示活動に関する業績

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」、企画と制作。

e 博物館企画調整事業に関する業績

4 人事に関すること

- 1997, (財)日本自然保護協会評議員・普及委員。
- 1997, 関西自然保護機構理事。
- 1997, 秋田県立博物館ニューミュージアムプラン21検討委員会委員。
- 1997, NHK滋賀県視聴者会議委員。
- 1997, 国指定天然記念物和泉葛城山ブナ林保護検討委員会委員。
- 1997, 箕面山猿調査会委員。
- 1997, 世界古代湖会議企画委員会委員。
- 1997, ヨシ群落生態調査委員会委員。
- 1997, 滋賀県生き物総合調査専門部会委員。

## 1 印刷物

## a 論文など

## b その他の印刷物

秋山廣光, 1997, 琵琶湖の魚と環境(13)ウツセミカジカ. 大津赤十字病院編「日赤おおつ」, 大津赤十字病院, 大津, (205):1.

秋山廣光, 1997, 琵琶湖の魚と環境(15)ヨシノボリ類. 大津赤十字病院編「日赤おおつ」, 大津赤十字病院, 大津, (206):1.

秋山廣光, 1998, 琵琶湖の魚と環境(18)ワタカ. 大津赤十字病院編「日赤おおつ」, 大津赤十字病院, 大津, (209):5.  
前畑政善・秋山廣光・藤岡康弘・桑原雅之・松田征也, 1997, 松田征也編「水族企画展 ブラジルの淡水魚」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 8pp.

嘉田由紀子・前畑政善・秋山廣光・松田征也・中井克樹・桑村邦彦・桑原雅之, 1997, 桑原雅之編「水族企画展 古代湖の世界-個性的な生き物たち-」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 8pp.

前畑政善・秋山廣光・桑原雅之・中藤容子・桑村邦彦・松田征也, 1997, 松田征也編「水族企画展 北海道の淡水魚」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 8pp.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

## b 研究プロジェクト

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

1996(12月6日)～1998(3月31日)米原町教育委員会「米原町ハリヨ生態調査委員会」調査委員.

1997(3月28日)～日本動物園水族館協会「動物名称統一検討委員会」動物名検討委員.

1997(5月6日)～1998(2月20日)滋賀県農政水産部農村整備課「生き物・生態系情報調査」調査協力員.

## d 学生指導、講義など

## e 受賞

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

1997(6月30日)～, 水質保全対策事業(浮船地区)現地検討会オブザーバー.

1997(7月17日), 日本動物園水族館協会「動物名検討会」出席.

1997(7月28日)～, 水質保全対策事業(赤野井湾沿岸地区)現地検討会オブザーバー.

1997(7月28日), 水質保全対策事業(浮船地区)検討会出席.

1997(12月5日)～, 八日市市農村環境計画検討委員会委員.

1997(12月24日), 水質保全対策事業(浮船地区)検討会出席.

1997(12月24日), 水質保全対策事業(赤野井湾沿岸地区)検討会出席.

1997(2月4日), 草津社会保険事務所職員研修講師.

1997(2月6日), 第5回琵琶湖フォトコンテスト審査員.

1997(3月8日), 琵琶湖の魚. 滋賀大学教育学部化学教室理科教育研究会(フラスコ会)講師.

1997(6月3日), (株)京都放送「めざましラジオ」ゲスト出演「びわ湖の生き物」.

1997(7月10日), 環境用水の汚濁とその浄化. 環境技術研究協会第4回シンポジウム講師.

1997(8月4～5日), 身近な魚類の観察および体のつくり. 滋賀県中学校教育研究会理科部会第21回自然調査ゼミナール講師.

1997(10月13日), 琵琶湖に生息する魚について. 高槻市五領小学校.

1997(11月25～26日), 第42回水族館技術者研究会(全国大会)出席.

1997, 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (3-6)企画.

1998(4月28日), 自然的環境・景観分科会ワーキング担当者会議出席.

## b 博物館情報活動に関する業績

静止画資料貸出マニュアル作成。  
静止画資料整理マニュアル作成。  
静止画資料貸出実績67件

- c 博物館資料整備活動に関する業績
  - d 博物館展示活動に関する業績
  - e 博物館企画調整事業に関する業績
- 4 人事に関すること

1 研究業績

a 印刷物

- Grygier, M.J., 1997, 瀬底実験所における研究. 琉球大学熱帯生物圏研究センター年報, 2: 41-42.  
 Hendler, G., Grygier, M.J., 1997, Babysitting brittle stars: First report of intergeneric symbiosis among Ophiuroidea. Amer. Zool., 37(5): 43A [Abstract 149].

b その他の印刷物

- Grygier, M.J., 1997, 私の逸品: Y幼生. 水上二己夫他編「琵琶湖博物館だより うみんど(湖人)」, 琵琶湖博物館, 草津, (3): 5.

c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

- Grygier, M.J., 1980, Two new lamippid copepods parasitic on gorgonians from Hawaii and the Bahamas. Proc. Biol. Soc. Wash., 93: 662-673.  
 Grygier, M.J., 1980, A representative of the genus *Dendrogaster* (Cirripedia, Ascothoracica) parasitic in an antarctic starfish. EOS (Trans. Amer. Geophys. U.), 61: 174 [abstract].  
 Grygier, M.J., 1980, Comparative spermatology of Ascothoracica (Crustacea, Maxillopoda) and its phylogenetic implications. Amer. Zool., 20: 815 [abstract no. 450].  
 Grygier, M.J., 1981, Sperm of the ascothoracican parasite *Dendrogaster*, the most primitive found in Crustacea. Int. J. Invertebr. Reprod., 3: 65-73.  
 Grygier, M.J. 1981, *Gorgoniscus incisodactylus*, a new isopod of the epicaridean superfamily Cryptoniscoidea, parasitic on an ascothoracican cirriped from Hawaii. Proc. Biol. Soc. Wash., 94: 122-134.  
 Grygier, M.J. 1981, *Petrarca okadai*, a new crustacean (Maxillopoda, Ascothoracica) from the Great Barrier Reef, the first shallow-water record of the genus. J. Crust. Biol., 1: 183-189.  
 Grygier, M.J., 1981, A representative of the genus *Dendrogaster* (Cirripedia, Ascothoracica) parasitic in an antarctic starfish. Antarct. Res. Ser., 32 [Biol. Antarct. Seas, 10]: 1-15.  
 Grygier, M.J., 1981, *Gorgonolaureus muzikae* sp. nov. (Crustacea, Ascothoracida) parasitic on a Hawaiian gorgonian, with special reference to its protandric hermaphroditism. J. Nat. Hist., 15: 1019-1045.  
 Grygier, M.J., 1981, Redescription of *Gorgonolaureus bikiniensis* (Crustacea, Ascothoracica), with a reevaluation of its familial affinities. Micronesica, 17: 67-76.  
 Grygier, M.J., 1981, *Scalpelloniscus*, a new genus for two species of cryptoniscid isopods (Epicaridea) parasitic on abyssal stalked barnacles. Proc. Biol. Soc. Wash., 94: 1258-1270  
 Grygier, M.J., 1982, Sperm morphology in Ascothoracida (Crustacea, Maxillopoda), confirmation of generalized nature and phylogenetic importance. Int. J. Invertebr. Reprod., 4: 323-332.  
 Grygier, M.J., 1982, *Dendrogaster* (Crustacea, Ascothoracida) from California, sea-star parasites collected by the *Albatross*. Proc. Calif. Acad. Sci., 42: 443-454.  
 Grygier, M.J., 1982, Observations on larvae of Ascothoracida (parasitic Crustacea). "The Western Society of Naturalists 63rd Annual Meeting, Program/Abstracts", p. 28 [abstract]  
 Grygier, M.J., 1983, A novel, planktonic ascothoracid larva from St. Croix (Crustacea). J. Plankton Res., 5: 197-202.  
 Grygier, M.J., 1983, Revision of *Synagoga* (Crustacea, Maxillopoda, Ascothoracida). J. Nat. Hist., 17: 213-239.  
 Grygier, M.J., 1983, *Ctenosculum hawaiiense* Heath, confirmation of its affinities (Crustacea, Ascothoracida - ex Mollusca, Gastropoda). J. Crust. Biol., 3: 257-265.  
 Grygier, M.J., 1983, Ascothoracida and the unity of Maxillopoda. In "Crustacean Phylogeny (Crustacean Issues 1)" (Ed. by Schram, F.R.), A.A. Balkema, Rotterdam, pp. 73-104.  
 Grygier, M.J., 1983, *Introcornia conjugans* n. gen. n. sp., parasitic in a Japanese ahermatypic coral (Crustacea, Ascothoracida, Petrarciidae). Senckenberg. Biol., 63: 419-426.  
 Grygier, M.J., 1983, *Ascothorax*, a review with descriptions of new species and remarks on larval development, biogeography, and ecology (Crustacea, Ascothoracida). Sarsia, 68: 103-126.  
 Grygier, M.J., 1983, An endoparasitic lamippid copepod in *Acanella* from the North Atlantic. Crustaceana, 45: 176-182.  
 Grygier, M.J., Fratt, D.B., 1983, The ascothoracid crustacean *Ascothorax gigas*, redescription, larval development, and notes on its infestation of the antarctic ophiuroid *Ophionotus victoriae*. EOS (Trans. Amer. Geophys. U.), 62: 1110 [abstract].  
 Grygier, M.J., 1984, Ascothoracida (Crustacea, Maxillopoda) parasitic on *Chrysogorgia* (Gorgonacea) in the Pacific and western Atlantic. Bull. Mar. Sci., 34: 141-169.  
 Grygier, M.J., Fratt, D.B., 1984, The ascothoracid crustacean *Ascothorax gigas*, redescription, larval development, and notes on its infestation of the Antarctic ophiuroid *Ophionotus victoriae*. Antarct. Res. Ser., 41 [Biol. Antarct. Seas, 16]: 43-58.

- Grygier, M.J., Salvat, M.B., 1984, *Dendrogaster argentinensis*, new species, a South American sea-star parasite (Crustacea, Ascothoracida). Proc. Biol. Soc. Wash., 97: 43-48.
- Grygier, M.J., 1984, New morphological and ontogenetic clues to the systematic position of the Ascothoracida (Crustacea). "Abstracts, Southern California Academy of Sciences Annual Meeting, May 11-12, 1984", unpaginated [abstract no. 10 in program book; winner of a "Best Student Paper Award"(南カリフォルニア科学アカデミー1984年大会研究論文最優秀賞) at the meeting].
- Grygier, M.J., 1984, "Comparative Morphology and Ontogeny of the Ascothoracida, a Step Toward a Phylogeny of the Maxillopoda". Ph.D. dissertation, University of California San Diego, xxi+417 pp.
- Grygier, M.J., 1985, Lauridae, taxonomy and morphology of ascothoracid crustacean parasites of zoanthids. Bull. Mar. Sci., 36: 278-303.
- Grygier, M.J., 1985, New ascothoracid crustacean endoparasites of Scleractinia. J. Nat. Hist., 19: 1029-1043.
- Grygier, M.J., 1985, Two species of *Dendrogaster* (Crustacea, Ascothoracida) parasitic in porcellanasterid starfishes. Galathea Rep., 16: 113-120.
- Hallberg, E., Elofsson, R., Grygier, M.J., 1985, An ascothoracid compound eye (Crustacea). Sarsia, 70: 167-171.
- Grygier, M.J., Newman, W.A., 1985, Motility and calcareous parts in extant and fossil Acrothoracica (Crustacea, Cirripedia), based primarily upon new species burrowing in the deep-sea scleractinian coral *Enallopsammia*. Trans. San Diego Soc. Nat. Hist., 21: 1-22.
- Zibrowius, H., Grygier, M.J., 1985, Diversity and range of scleractinian coral hosts of Ascothoracida (Crustacea, Maxillopoda). Ann. Inst. Océanogr. (Paris), N. Ser., 61: 115-138.
- Grygier, M.J., 1985, Crustacea Ascothoracida. Mem. Mus. Nat. Hist. Nat. (Paris), Ser. A., Zool., 133 [Resultats des Campagnes Musorstom I & II, Philippines]: 417-426.
- Grygier, M.J., 1985, Comparative morphology and ontogeny of the Ascothoracida, a step toward a phylogeny of the Maxillopoda. Diss. Abstr. Internat., 45: 2466B-2467B [abstract].
- Grygier, M.J., 1986, *Dendrogaster* (Crustacea, Ascothoracida) parasitic in Alaskan and eastern Canadian *Leptasterias* (Asteroidea). Can. J. Zool., 64: 1249-1253.
- Grygier, M.J., 1987, Nauplii, antennular ontogeny and the position of the Ascothoracida within the Maxillopoda. J. Crust. Biol., 7: 87-104.
- Grygier, M.J., 1987, Reappraisal of sex determination in the Ascothoracida. Crustaceana, 52: 149-162.
- Grygier, M.J., 1987, Classification of the Ascothoracida (Crustacea). Proc. Biol. Soc. Wash., 100: 452-458.
- Grygier, M.J., 1987, New records, external and internal anatomy, and systematic position of Hansen's y-larvae (Crustacea, Maxillopoda, Facetotecta). Sarsia, 72: 261-278.
- Grygier, M.J., 1987, Antarctic records of asteroid-infesting Ascothoracida (Crustacea), including a new genus of Ctenosculidae. Proc. Biol. Soc. Wash., 100: 700-712.
- Grygier, M.J., 1987, Unusual and mostly cysticolous crustacean, molluscan, and myzostomidan associates of echinoderms. "Sixth International Echinoderm Conference", unpaginated [abstract in program book].
- Grygier, M.J., 1987, Taxonomy, host distribution, and SEM-based morphology of *Myzostoma* (Myzostomida). Amer. Zool., 27(4): 59A [abstract no. 299].
- Grygier, M.J., 1988, Unusual and mostly cysticolous crustacean, molluscan, and myzostomidan associates of echinoderms. "Echinoderm Biology, Proceedings of the Sixth International Echinoderm Conference, Victoria/23-28 August 1987" (Eds. by Burke, R.D., Mladenov, P.V., Lambert, P., Parsley, R.L.), pp. 775-784, A.A. Balkema, Rotterdam.
- Grygier, M.J., Sieg, J., 1988, *Microdajus* (Crustacea, Tantulocarida) parasitic on an Antarctic tanaidacean, and a range extension of *M. langi* Greve. J. Nat. Hist. 22, 1495-1505 [Erratum - 1989, J. Nat. Hist., 23: 1201].
- Grygier, M.J., 1988, Larval and juvenile Ascothoracida (Crustacea) from the plankton. Publ. Seto Mar. Biol. Lab. 33(4/6): 163-172.
- Starobogatov, Ya.I., 1988, Systematics of Crustacea. J. Crust. Biol., 8: 300-311 [translation from Russian by M.J. Grygier].
- Grygier, M.J., 1988, Distribution and host specificity of Indo-Pacific Myzostomida. "Third International Symposium on Marine Biogeography & Evolution in the Pacific", pp. 10-11 [abstract].
- Grygier, M.J., 1989, Three new species of *Myzostoma* (Myzostomida). Proc. Biol. Soc. Wash., 102: 793-804.
- Grygier, M.J., 1989, Planktotrophic nauplii of *Baccalaureus* and *Zibrowia* (Crustacea, Ascothoracida) from Okinawa. "Fifth International Congress of Invertebrate Reproduction, Abstracts", pp. 122 [abstract no. P1066].
- Grygier, M.J., Bowman, T.E., 1990, The correct family-level name for the "cryptoniscid" isopods (Epicaridea). Crustaceana, 58: 27-32.
- Grygier, M.J., 1990, Early planktotrophic nauplii of *Baccalaureus* and *Zibrowia* (Crustacea, Ascothoracida) from Okinawa, Japan. Galaxea, 8, 321-337.
- Grygier, M.J., 1990, New records of *Waginella* (Crustacea, Ascothoracida) ectoparasitic on stalked crinoids from Japan and Australasia. Galaxea, 8: 339-350.
- Grygier, M.J., 1990, A crustacean endoparasite (Ascothoracida, Synagogidae) of an antipatharian from Guam. Micronesica, 23: 15-25.
- Dojiri, M., Grygier, M.J., 1990, *Pionomolgus gallicolus* gen. & sp. nov. (Poecilostomatoida, Lichomolgidae), a gall-

- inducing copepod of a scleractinian coral from Australia. *Austral. J. Zool.*, 37: 695-703.
- Grygier, M.J., 1990, Five new species of bathyal Atlantic Ascothoracida (Crustacea, Maxillopoda) from the equator to 50° N latitude. *Bull. Mar. Sci.*, 46: 655-676.
- Ito, T., Grygier, M.J., 1990, Description and complete larval development of a new species of *Bacallaureus* (Crustacea, Ascothoracida) parasitic in a zoanthid from Tanabe Bay, Honshu, Japan. *Zool. Sci.*, 7: 485-515 [winner of a Zoological Society of Japan "Zoological Science Award" (日本動物学会論文賞)].
- Grygier, M.J., 1990, Distribution of Indo-Pacific *Myzostoma* and host specificity of comatulid-associated Myzostomida. *Bull. Mar. Sci.*, 47: 182-191.
- Grygier, M.J., 1990, Facetotecta ("y-larvae"), one day's catch in Okinawa, Japan. "International Crustacean Conference, Brisbane, Australia, 2- 6 July 1990, Conference Handbook", p. 45 [abstract no. 50].
- Grygier, M.J., 1990, Portrait and activities of a visiting foreign researcher. *琉球大学学報*, 263: 8-11 [magazine article, in English and Japanese].
- Grygier, M.J., 1990, Tatsunori Ito 1945-1990. *Monoculus*, 21: 15-17 [obituary in newsletter]
- Grygier, M.J., 1991 [dated 1990], *Introcornia* (Crustacea, Ascothoracida, Petrarciidae) parasitic in an ahermatypic coral from Saint Paul Island, Indian Ocean. *Vie Milieu*, 40: 313-318.
- Grygier, M.J., 1991, Additions to the ascothoracidan fauna of Australia and South-east Asia (Crustacea, Maxillopoda), Synagogidae (part), Lauridae and Petrarciidae. *Rec. Austral. Mus.*, 43: 1-46.
- Grygier, M.J., 1991, Redescription, ontogeny, and demography of *Parascothorax synagogoides* (Crustacea, Ascothoracida), parasitic on *Ophiophthalmus normani*, a dominant ophiuroid in the bathyal basins off southern California. *Proc. San Diego Soc. Nat. Hist.*, 6: 1-20.
- Grygier, M.J., Newman, W.A., 1991, A new genus and two new species of Microlepadidae (Cirripedia, Pedunculata) found on western Pacific diadematid echinoids. *Galaxea*, 10: 1-22.
- Cannon, L.R.G., Grygier, M.J., 1991, The turbellarian *Notoplana comes* n. sp. (Leptoplanidae, Acotylea, Polycladida) found with the intertidal brittlestar *Ophiocoma scolopendrina* (Ophiocomidae, Ophiuroidea) in Okinawa, Japan. *Galaxea*, 10: 23-33.
- Grygier, M.J., 1991, V.L. Wagin's collections of Dendrogastridae (Crustacea, Ascothoracida) in the USSR, with designations of lectotypes. *Proc. Biol. Soc. Wash.*, 104: 740-748.
- Grygier, M.J., Bowman, T.E., 1991, The authorship of Cryptoniscidae (Isopoda, Epicaridea), a correction. *Crustaceana*, 61: 106-107.
- Grygier, M.J., 1991, Facetotecta ('y-larvae'), one day's catch in Okinawa, Japan (Crustacea, Maxillopoda). *Mem. Queensland Mus.*, 31: 335.
- Grygier, M.J., 1991, Comment on the proposed conservation of *Epizoanthus* Gray, 1867 (Cnidaria, Anthozoa). *Bull. Zool. Nomencl.*, 48: 243.
- Starobogatov, Ya.I., 1991, Problems in the nomenclature of higher taxonomic categories. *Bull. Zool. Nomencl.*, 48: 6-18 [translation from Russian by M.J. Grygier].
- マーク・J・グライガー, 1991, ファケトテクタ(Crustacea, Maxillopoda)標徴決定に向けて。 "予稿集日本動物学会第62回大会", pp. 72 [abstract no. 1K1400].
- Grygier, M.J., 1991, Towards a diagnosis of the Facetotecta (Crustacea, Maxillopoda, Thecostraca). *Zool. Sci.*, 8: 1196 [abstract].
- Grygier, M.J., 1992, Laboratory rearing of ascothoracidan nauplii (Crustacea, Maxillopoda) from plankton at Okinawa, Japan. *Publ. Seto Mar. Biol. Lab.*, 35: 235-251.
- Grygier, M.J., 1992, Hong Kong Myzostomida and their Indo-Pacific distributions. "The Marine Flora and Fauna of Hong Kong and Southern China III. Proceedings of the Fourth International Marine Biological Workshop, the Marine Flora and Fauna of Hong Kong and Southern China, Hong Kong, 11-29 April 1989" (Ed. by Morton, B.), pp. 131-147, Hong Kong University Press, Hong Kong.
- マーク・J・グライガー, 1992, カイメンに穴居する "サンゴフジツボ" *Pyrgopsella* (Cirripedia)とその蔓脚について。 "日本動物学会第63回大会予稿集", pp. 140 [abstract no. 3K1530].
- Grygier, M.J., 1992, *Pyrgopsella*, a sponge-inhabiting "coral-barnacle" (Cirripedia, Pyrgomatidae), with remarks on cirri. *Zool. Sci.*, 9: 1305 [abstract].
- Grygier, M.J., 1992, Some little-known crustacean parasites of Okinawan coral-reef invertebrates, with a world list of reef-associated Ascothoracida. "International Symposium of the University of the Ryukyus on Biodiversity and Adaptive Strategies of Coral Reef Organisms", p. 8 [abstract in program book].
- Grygier, M.J., 1992, Generalizations about naupliar development in the Facetotecta (y-larvae) and comparison with other maxillopodan crustaceans. "日本甲殻類学会第30回大会講演要旨集", p. 10 [abstract].
- Grygier, M.J., Kikuchi, Y., 1992 [dated 1991], Scientific publications of Dr. Tatsunori Ito (1945-1990). *Monoculus*, 23: 7-14 [bibliography in newsletter].
- Grygier, M.J., 1993, Cryptoniscidae s.s. (Isopoda, Epicaridea), nomenclatural history and recommendations. *Publ. Seto Mar. Biol. Lab.*, 36: 185-195.
- Grygier, M.J., 1993, Late planktonic naupliar development of an ascothoracidan crustacean (?Petrarciidae) from the Red Sea, with a comparison to the Cirripedia. *Contrib. Sci.*, 437: 1-14.

- Grygier, M.J., 1993, A new phylum. "Scripps Stories, Days to Remember in Celebration of 90 Years" (Eds. by Kuhns, K.K., Shor, B.), S.I.O. Reference #93-35, 127-128 [scientific anecdote].
- Grygier, M.J., 1993, *Sphaerothyllacus* is a notodelphyid copepod, not a parasitic cirripede. *Monoculus*, 25: 23-25 [newsletter article].
- Grygier, M.J., 1993, Japanese zoological nomenclature. *Amer. Assoc. Zool. Nomencl. Newsletter* Sept. 1993, pp. 5-8 [newsletter article].
- Grygier, M.J., 1993, 沖縄産サンゴ礁無脊椎動物に寄生するあまり知られていない甲殻類と世界のサンゴ礁性臍胸類のリスト. "琉球大学国際シンポジウム「サンゴ礁生物の生物多様性と適応戦略」(要旨和訳集)", pp. 9-10 [abstract in program book].
- Grygier, M.J., 1993, Nomenclature, redescription, and new record from Okinawa of *Cymbasoma morii* Sekiguchi, 1982 (Monstrilloida). "Fifth International Conference on Copepoda", pp. 61 [abstract in program book].
- Grygier, M.J., 1993, Phylogenetic implications of cross-taxa homologies of naupliar features in the Maxillopoda, *Amer. Zool.*, 33(5): 6A [abstract 24].
- Grygier, M.J., 1994 [dated 1993], Identity of *Thaumatoessa* (= *Thaumaleus*) *typica* Krøyer, the first described monstrilloid copepod, *Sarsia*, 78: 235-242.
- Grygier, M.J., 1994, Summary and significance of overlooked Japanese literature on Myzostomida. *Proc. Biol. Soc. Wash.*, 107: 174-178.
- Grygier, M.J., 1994, Developmental patterns and hypotheses of homology in the antennules of thecostracan nauplius larvae (Crustacea). *Acta Zool., Stockh.*, 75: 219-23.
- Eeckhaut, I, VandenSpiegel, D., Grygier, M.J., 1994, Myzostomida (Annelida) from Singapore, with related Indo-Pacific distribution records and descriptions of three new species. *Raffles Bull. Zool.*, 42: 669-688.
- Grygier, M.J., 1994, Nomenclature, redescription, and new record from Okinawa of *Cymbasoma morii* Sekiguchi, 1982 (Monstrilloida). "Ecology and Morphology of Copepods, Proceedings of the Fifth International Conference on Copepoda" (Eds. by Ferrari, F.D., Bradley, B.P.), *Hydrobiologia*, 292/293: 23-29.
- Glenner, H., Grygier, M.J., Høeg, J.T., Jensen, P.G., Schram, F.R., 1994, Cladistic analysis of the Cirripedia Thoracica (Crustacea). "Biodiversity and Phylogeny. XIIIth Meeting of the Willi Hennig Society. Abstracts", p. 8 [abstract].
- Grygier, M.J., Ohtsuka, S., 1995, New species of *Synagoga* (Crustacea, Ascothoracida) from plankton off Okinawa, Japan, with an SEM study of the carapace. *Publ. Seto Mar. Biol. Lab.*, 36: 293-311.
- Glenner, H., Grygier, M.J., Høeg, J.T., Jensen, P.G., Schram, F.R., 1995, Cladistic analysis of the Cirripedia Thoracica. *Zool. J. Linn. Soc.*, 114, 365-404.
- Grygier, M.J., Nojima, S., 1995, Petrarcid galls and Petrarcidae (Crustacea, Ascothoracida) in scleractinian corals from Japan. *Galaxea*, 12: 83-101.
- Grygier, M.J., Ohtsuka, S., 1995, SEM observation of the nauplius of *Monstrilla hamatapex*, new species, from Japan and an example of upgraded descriptive standards for monstrilloid copepods. *J. Crust. Biol.*, 15: 703-719.
- Grygier, M.J., 1995, An unusual barnacle nauplius illustrating several hitherto unappreciated features useful in cirripede systematics. "New Frontiers in Barnacle Evolution (Crustacean Issues 10)" (Eds. by Schram, F.R., Høeg, J.T.), A.A. Balkema, Rotterdam, pp. 123-136.
- Grygier, M.J., Ito, T., 1995, SEM-based morphology and new host and distribution records of *Waginella* (Ascothoracida). "New Frontiers in Barnacle Evolution (Crustacean Issues 10)" (Eds. by Schram, F.R., Høeg, J.T.), A.A. Balkema, Rotterdam, pp. 209-228, pls. 1-8.
- Grygier, M.J., 1995, Annotated chronological bibliography of Monstrilloida (Crustacea, Copepoda). *Galaxea*, 12: 1-82.
- Grygier, M.J., 1995, Case 2894. *Monstrilla* Dana, 1849 and *Thaumaleus* Krøyer, 1849 (Crustacea, Copepoda), proposed conservation. *Bull. Zool. Nomencl.*, 52: 245-249.
- Grygier, M.J., Klepal, W., 1995, SEM survey of non-sensory cuticular structures and lattice organs in the Ascothoracida. "Program. The Crustacean Society 1995 Summer Meeting, 24-27 May 1995, Smithsonian Marine Station at Link Port, Fort Pierce, Florida", p. 19 [abstract].
- Grygier, M.J., Cairns, S.D., 1996, Suspected neoplasms in deep-sea corals (Scleractinia, Oculinidae, *Madrepora* spp.) reinterpreted as galls caused by *Petrarca madreporae*, n. sp. (Crustacea, Ascothoracida, Petrarcidae). *Dis. Aquat. Org.*, 24: 61-69.
- Grygier, M.J., 1996, A world list of coral reef-associated Ascothoracida (Crustacea), with remarks on Lauridae, Petrarcidae, and Dendrogastridae from Okinawa, Japan. *Galaxea*, 13: 15-33.
- Grygier, M.J., 1996, Sous-classe des Facetotecta (Facetotecta Grygier, 1985). In "Traite de Zoologie, Anatomie, Systematique, Biologie. Tome VII, Crustaces, Fascicule 2, Genealites (suite) et Systematique" (Ed. by Forest, J.), Masson, Paris, pp. 425-432.
- Grygier, M.J., 1996, Sous-classe des Ascothoracides (Ascothoracida Lacaze-Duthiers, 1880). In "Traite de Zoologie, Anatomie, Systematique, Biologie. Tome VII, Crustaces, Fascicule 2, Genealites (suite) et Systematique" (Ed. by Forest, J.), Masson, Paris, pp. 433-452.
- Kuris, A.M., Lafferty, K.D., Grygier, M.J., 1996, Detection and preliminary evaluation of natural enemies for possible biological control of the northern Pacific seastar, *Asterias amurensis*. *Cent. Res. Introd. Mar. Pests Tech. Rep.*, 3: 1-17 [grey literature].

- Grygier, M.J., 大塚 攻, 1996, 頭胸部下に抱卵するモンストリラ目カイアシ類(甲殻類)の未記載属について. "1996社団法人日本動物学会第67回大会予稿集", p. 49 [abstract no. 1 G1100].
- Grygier, M.J., Klepal, W., 1996, SEM survey of mouthparts in the Ascothoracida (Maxillopoda, Thecostraca), including five genera from Japan. "1996 年度日本甲殻類学会大会第34回講演要旨集", p. 9 [abstract no. 3].
- Grygier, M.J., Ohtsuka, S., 1996, An undescribed genus of monstrolloid copepods (Crustacea) with anteriorly directed genital spines and subthoracic egg brooding. *Zool. Sci.*, 13(Supplement): 34 [abstract].

## 2 研究活動に関する業績

### a 学会講演

Hendler, G., Grygier, M.J., Babysitting brittle stars: first report of intergeneric symbiosis among Ophiuroidea. Society for Integrative and Comparative Biology 1998 Annual Meeting, January 3-7, Boston, Massachusetts, U.S.A. [poster]

### b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の管理保管と利用に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖の魚の寄生虫の共同研究会(会長), 琵琶湖博物館.

琵琶湖博物館総合研究「田んぼに関する研究」の生物系研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「甲殻類の系統分類学に関する研究」.

### c 学会役員、学会誌レフリーなど

種の多様性. (日本動物分類学会), 副編集委員.

底生生物研究. (日本ベントス学会), 英語版編集委員.

世界古代湖会議編集委員. (ICAL), 英語版編集委員.

Journal of the Marine Biological Association of the United Kingdom (Marine Biological Association of the United Kingdom) のレフリー:1件.

動物科学. (日本動物学会), レフリー1件.

種の多様性. (日本動物分類学会), レフリー2件

Journal of Natural Historyのレフリー1件.

Proceedings of the Biological Society of Washington (Biological Society of Washington)のレフリー1件.

Journal of Crustacean Biology (The Crustacean Society)のレフリー1件.

### d 学生指導、講義など

1997, (12月4-7日), 出張、名古屋大学大学院人間情報学研究所自然系; 1997, (12月5日)発表、SEM study of obscure parasitic crustaceans.

1998, (1月8-30日), 広島大学生物生産学部の大学院生(徐浩榮)指導.

1998, (2月12日), 広島大学生物生産学部の学位論文審査委員.

徐浩榮: Phylogenetic Studies of the Calanoid Copepod Superfamily Arietelloidea, with Notes on Distribution and Feeding Habits.

### e 受賞

## 3 博物館事業に関する業績

### a 交流・サービス活動に関する業績

### b 博物館情報活動に関する業績

Revision of English of booklet, "Lake Biwa: Conservation of Aquatic Environments" (Department of the Environment, Shiga Prefectural Government) for adaptation into the Department of the Environment's World-Wide Web home-page.

### c 博物館資料整備活動に関する業績

滋賀県水産試験場等からの魚類標本に混在していたエビ類の標本(168 lots)のホルマリンからアルコールへの液交換及びソーティング同定(300:スジエビ、テナガエビ、ヌマエビ、アメリカザリガニ、エビノコバン).

1997年に滋賀県の水田から採集した動物プランクトンのサンプルのソーティング.

### d 博物館展示活動に関する業績

滋賀県立琵琶湖博物館総合案内, 英語要約の校正. 琵琶湖博物館, 草津, 111pp.

### e 博物館企画調整事業に関する業績

1997, (6月21日-29日), ICAL事務局, スライド受付担当.

1997, (11月16日), 「足もとから環境について考えてみよう」事務局, 登録受付.

1997, (12月20-22日), 2000年ドイツハノーバー万博における "Living Lakes" 博物館コーナーへの琵琶湖博物館の参加に際しての DU 来訪の応対と連絡事務局仮代表.

#### 4 人事に関すること

1997, (4月1日), 琵琶湖博物館主任学芸員

1996, (9月27日から3年間), (米国)スミソニアン研究所国立自然史博物館無脊椎動物部門副研究員.

1997, (7月22日から3年間), (米国)ロサンゼルス郡立自然史博物館無脊椎動物部門資料と研究セクション副研究員. .

## 1 印刷物

## a 論文など

橋本道範, 1997, 荘園公領制再編成の一前提—辻太郎入道法名乗蓮とその一族—. 大山喬平教授退官記念会編「日本社会の史的構造 古代・中世」, 思文閣出版, 京都, pp.389-416.

## b その他の印刷物

橋本道範, 1997, 中世文書修復の新たな進展を目指して(第28回例会参加記). Network (全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会会報), 9: 5.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

橋本道範, 1997(6月24日), 中世琵琶湖におけるエリの漁業権をめぐる社会関係とその変化. 世界古代湖会議—古代湖における生物と文化の多様性, 琵琶湖博物館.

橋本道範, 1997(10月18日), 中世における犬上川左岸扇状地の再開発についての基礎的考察. 近江地方史研究会例会, ウイングパレスくさつ.

## b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の整理・保管と利用に関する研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する総合研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖、その成立と人間生態系に関する総合研究」, 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖集水域における中世村落の考古・文献資料の総合的評価にもとづく研究」, 研究代表者.

琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖周辺域における過去1万年間の自然環境と人間活動の変遷」, 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖関係古文書に関する歴史的評価」.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

## d 学生指導、講義など

## e 受賞

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

1997(9月5日), 土地に刻まれた歴史を記録する. 滋賀県農地集団化技術者協議会・滋賀県土地改良換地士部会合同研修会, 琵琶湖博物館.

1997(11月19日), 尼子の歴史を探るためには. 尼子区民学習会, 平成の尼子館(犬上郡甲良町大字尼子).

1997(12月6日), どうしてだれでも自由にエリ漁ができないの?—中世琵琶湖におけるエリ漁業権の展開と村落共同体—. 琵琶湖博物館入門セミナー, 琵琶湖博物館.

## b 博物館情報活動に関する業績

## c 博物館資料整備活動に関する業績

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」のための博物館刊行物収集.

琵琶湖博物館歴史資料23件購入.

収蔵庫環境測定.

## d 博物館展示活動に関する業績

琵琶湖博物館企画展示「博物館ができるまで」. 「日本の博物館の出版物」コーナー企画・制作.

## e 博物館企画調整事業に関する業績

## 4 人事に関すること

## 1 印刷物

## a 論文など

## b その他の印刷物

高橋政宏・江島 稯編, 1998, 「琵琶湖博物館利用の手引き」, 琵琶湖博物館, 草津, 192pp.

高高橋政宏・江島 稯編, 1998, 「貸出標本の利用の手引き」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 6pp.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動. に関する業績

## a 学会講演

## b 研究プロジェクト

琵琶湖博物館共同研究, 「学校における博物館利用の実践的研究～生き生きと楽しみながら学ぶ博物館学習のあり方を求めて～」. 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究, 「滋賀県産鮎物の中学校理科教育への利用」.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

## d 学生指導、講義など

## e 受賞など

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動. に関する業績

1997, (4月12日), 春を感じてみよう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (4月26日), 春を感じてみよう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (5月10日), 琵琶湖のプランクトンを見よう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (5月24日), 琵琶湖のプランクトンを見よう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (7月12日), 紙細工で遊ぼう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (7月26日), 紙細工で遊ぼう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (9月13日), 草木染めで楽しもう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (9月27日), 草木染めで楽しもう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (10月11日), 鮎物に親しもう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (10月25日), 鮎物に親しもう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (11月 8日), 木の実で遊ぼう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (11月22日), 木の実で遊ぼう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (12月13日), 鏡餅をつくろう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1998, (1月10日), 水鳥に親しもう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1998, (1月24日), 水鳥に親しもう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1998, (2月14日), 藁細工で楽しもう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1998, (2月28日), 藁細工で楽しもう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1998, (3月14日), ヨシ笛をつくろう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1998, (3月28日), ヨシ笛をつくろう. 琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

【「教職員研修, 研究会の受け入れの活動」】.

1997, (4月16日), 全国私立高等学校定時制連絡協議会研修会. 琵琶湖博物館.

1997, (4月22日), 草津市教職員研修会. 琵琶湖博物館.

1997, (5月23日), 大阪府高等学校生物部会研修会. 琵琶湖博物館.

1997, (6月17日), アメリカ合衆国ミシガン州交流事業研修会. 琵琶湖博物館.

1997, (6月19日), 蒲生郡小中学校理科・科学部会研修会. 琵琶湖博物館.

1997, (6月20日), 国際交流基金中学・高校教員招待事業研修会. 琵琶湖博物館.

1997, (7月2日), 滋賀県高等学校社会科研修会. 琵琶湖博物館.

1997, (7月4日), ミシガン州高校生等の研修会. 琵琶湖博物館.

1997, (7月5日), 滋賀県高等学校教頭会研修会. 琵琶湖博物館.

1997, (7月11日), 和歌山県金屋町教育委員会・小中学校長研修会. 琵琶湖博物館.

1997, (7月16日), 中津川市教育委員会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月16日), 滋賀県高等学校工業部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月17日), 日野町立必佐公民館研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月23日), 滋賀県公立小中事務研究協議会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月25日), 滋賀大学教育学部教育研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月25日), 博物館委員会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月25日), 小中学校プログラム開発委員会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月26日), 淡海生涯カレッジ講座. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月29日), 石川県金沢市中学校教育研究会理科部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月29日), 奈良県高等学校生物部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月5日), 滋賀県中学校教育研究会理科部会自然調査研修. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月7日), 彦根市教育研究会理科部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月7日), 全国設備工業教育研究会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月8日), 滋賀県小学校教育研究会社会科部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月9日), 淡海生涯カレッジ講座. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月20日), 安土町立老蘇小学校教員研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月20日), 岐阜県高等学校理化教育研究会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月20日), 大津市立南郷小学校教員研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月22日), 守山市理科部会夏季研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月22日), 滋賀県小学校教育研究会家庭科研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月25日), 小学校プログラム開発委員会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月26日), 豊岡市自然科学資料研究委員会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月26日), 中学校プログラム開発委員会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月28日), 立命館大学教員研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (9月2日), 岐阜県本巣郡穂積町園長・校長研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (9月3日), 亀岡市教育委員会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (9月4日), 宝塚市立学校教頭研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (9月4日), 京都府綴喜地方小・中学校教頭研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (10月4日), 淡海生涯カレッジ実験・実習講座. 琵琶湖博物館.  
 1997, (10月17日), 博物館委員会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (10月21日), 大阪府高等学校定時制通信制教育研究会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (10月22日), 滋賀県高等学校教育研究会家庭科部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (10月24日), 甲賀郡小中学校理科部会実技講習会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (10月28日), 小中学校プログラム開発委員会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (10月29日), 京都市文教中学校研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (11月12日), 近畿地区高等学校通信制教員研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (11月19日), 滋賀県小学校教育研究会理科部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (12月4日), 滋賀県小学校教育研究会家庭科部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (12月5日), 美濃加茂市小中教員研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (12月11日), 奈良県大宇陀町小中学校教頭研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (12月11日), 滋賀県湖西地区高等学校初任者地域研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (12月23日), 三重県阿山郡鳥ヶ原小学校教員研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (1月27日), 財団法人レイカアディア振興財団研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (1月27日), 博物館委員会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (1月29日), 兵庫県教育委員会・文化財課研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (2月3日), 生駒市小学校教育振興会社会科研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (2月4日), 福島県教育庁文化課研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (2月13日), 奈良県高等学校長研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (2月13日), 滋賀県高等学校理科実験実習研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (2月17日), 滋賀県高等学校教育研究会図書館部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (3月5日), 鯖江市教育委員会視察研修. 琵琶湖博物館.  
 1998, (3月6日), 滋賀県高等学校教育研究会生物研究部会研修. 琵琶湖博物館.  
 1998, (3月10日), 福井県教育庁学校教育課企画主査研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (3月22日), 滋賀県教育委員会生涯学習課研修. 琵琶湖博物館.  
 「滋賀県内小・中・高等学校体験活動. の受け入れ」の活動  
 1997~1998, 小・中・高等学校体験学習. 琵琶湖博物館.  
 1997, エコ草津探検隊体験学習. 琵琶湖博物館.  
 1997, フローティングスクール体験学習. 琵琶湖博物館.

## b 博物館情報活動. に関する業績

- c 博物館資料整備活動. に関する業績
  - d 博物館展示活動. に関する業績
  - e 博物館企画調整事業に関する業績
- 4 人事に関すること

## 1 印刷物

## a 論文など

## b その他の印刷物

高橋政宏・江島 穰編, 1998, 「琵琶湖博物館利用の手引き」, 琵琶湖博物館, 草津, 192pp.

高橋政宏・江島 穰編, 1998, 「貸出標本の利用の手引き」リーフレット, 琵琶湖博物館, 草津, 6pp.

## c 琵琶湖博物館業績集第1号に掲載されなかった1996年度以前の印刷物

## 2 研究活動に関する業績

## a 学会講演

## b 研究プロジェクト

博物館共同研究「学校における博物館利用の実践的研究～生き生きと楽しみながら学ぶ博物館学習のあり方を求めて～」,  
研究代表者.

博物館専門研究「環境教育としての教材開発」.

## c 学会役員、学会誌レフリーなど

## d 学生指導、講義など

## e 受賞など

## 3 博物館事業に関する業績

## a 交流・サービス活動に関する業績

1997, (4月12日), 春を感じてみよう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (4月26日), 春を感じてみよう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (5月10日), 琵琶湖のプランクトンを見よう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (5月24日), 琵琶湖のプランクトンを見よう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (7月12日), 紙細工で遊ぼう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (7月26日), 紙細工で遊ぼう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (9月13日), 草木染めで楽しもう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (9月27日), 草木染めで楽しもう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (10月11日), 鉦物に親しもう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (10月25日), 鉦物に親しもう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (11月8日), 木の実で遊ぼう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (11月22日), 木の実で遊ぼう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (12月13日), 鏡餅をつくろう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1998, (1月10日), 水鳥に親しもう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1998, (1月24日), 水鳥に親しもう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1998, (2月14日), 藁細工で楽しもう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1998, (2月28日), 藁細工で楽しもう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1998, (3月14日), ヨシ笛をつくろう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1998, (3月28日), ヨシ笛をつくろう。琵琶湖博物館体験学習の日, 琵琶湖博物館.

1997, (4月16日), 全国私立高等学校定時制連絡協議会研修会。琵琶湖博物館.

1997, (4月22日), 草津市教職員研修会。琵琶湖博物館.

1997, (5月23日), 大阪府高等学校生物部会研修会。琵琶湖博物館.

1997, (6月17日), アメリカ合衆国ミシガン州交流事業研修会。琵琶湖博物館.

1997, (6月19日), 蒲生郡小中学校理科・科学部会研修会。琵琶湖博物館.

1997, (6月20日), 国際交流基金中学・高校教員招待事業研修会。琵琶湖博物館.

1997, (7月2日), 滋賀県高等学校社会科研修会。琵琶湖博物館.

1997, (7月4日), ミシガン州高校生等の研修会。琵琶湖博物館.

1997, (7月5日), 滋賀県高等学校教頭会研修会。琵琶湖博物館.

1997, (7月11日), 金屋町教育委員会・小中学校長研修会。琵琶湖博物館.

1997, (7月16日), 中津川市教育委員会研修会。琵琶湖博物館.

1997, (7月16日), 滋賀県高等学校工業部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月17日), 日野町立必佐公民館研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月23日), 滋賀県公立小中事務研究協議会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月25日), 滋賀大学教育学部教育研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月25日), 第1回博物館委員会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月25日), 第1回プログラム開発委員会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月26日), 淡海生涯カレッジ講座. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月29日), 石川県金沢市中学校教育研究会理科部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (7月29日), 奈良県高等学校生物部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月5日), 滋賀県中学校教育研究会理科部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月7日), 彦根市教育研究会理科部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月7日), 全国設備工業教育研究会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月8日), 滋賀県小学校研究会社会科部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月9日), 淡海生涯カレッジ講座. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月20日), 安土町立老蘇小学校教員研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月20日), 岐阜県高等学校理化教育研究会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月20日), 南郷小学校教員研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月22日), 守山市理科部会夏季研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月22日), 滋賀県小学校家庭科研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月25日), 小学校プログラム開発委員会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月26日), 中学校プログラム開発委員会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (8月28日), 立命館大学教員研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (9月2日), 岐阜県本巣郡穂積町園長・校長研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (9月3日), 亀岡市教育委員会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (9月4日), 宝塚市立学校教頭研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (9月4日), 京都府綴喜地方小・中学校教頭研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (10月4日), 淡海生涯カレッジ実験・実習講座. 琵琶湖博物館.  
 1997, (10月17日), 第2回博物館委員会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (10月21日), 大阪府高等学校定時制通信制教育研究会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (10月22日), 滋賀県高等学校家庭科部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (10月24日), 甲賀郡理科部会実技講習会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (10月29日), 京都文教中学校研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (11月12日), 近畿地区高等学校通信制教員研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (11月19日), 滋賀県小学校理科研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (12月4日), 滋賀県小学校家庭科研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (12月5日), 美濃加茂市小中教員研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (12月11日), 奈良県大宇陀町教頭研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (12月11日), 滋賀県湖西地区高等学校初任者地域研修会. 琵琶湖博物館.  
 1997, (12月23日), 三重県阿山郡島ヶ原小学校教員研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (1月27日), 財団法人レイカアディア振興財団. 琵琶湖博物館.  
 1998, (1月27日), 第3回博物館委員会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (1月29日), 兵庫県教育委員会・文化財課研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (2月3日), 生駒市小学校教育振興会社会科研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (2月13日), 奈良県高等学校長研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (2月13日), 滋賀県高等学校理科実験実習研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (2月17日), 滋賀県高等学校教育研究会図書部会研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (3月5日), 鯖江市教育委員会視察研修. 琵琶湖博物館.  
 1998, (3月6日), 滋賀県高等学校生物研究部会研修. 琵琶湖博物館.  
 1998, (3月10日), 福井県教育庁学校教育課企画主査研修会. 琵琶湖博物館.  
 1998, (3月22日), 滋賀県教育委員会生涯学習課研修. 琵琶湖博物館.  
 1998, 小・中・高等学校体験学習. 琵琶湖博物館.  
 1998, エコ草津探検隊体験学習. 琵琶湖博物館.  
 1998, フローティングスクール体験学習. 琵琶湖博物館.

**b 博物館情報活動に関する業績**

**c 博物館資料整備活動に関する業績**

**d 博物館展示活動に関する業績**

e 博物館企画調整事業に関する業績

4 人事に関すること

## 琵琶湖博物館業績目録 第2号

1997年1月から1998年3月までの業績

1999年（平成11年）3月 発行

発 行：滋賀県立琵琶湖博物館

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091

電話 077-568-4811

編 集：滋賀県立琵琶湖博物館

（編集責任者 桑村邦彦・白井幸子）

印 刷：(株)スマイ印刷工業

# Performance Records of the Lake Biwa Museum

No. **2**

March 1999



滋賀県立  
**琵琶湖博物館**

〒525-0001 草津市下物町1091  
TEL.077-568-4811(代) FAX.077-568-4850

LAKE BIWA MUSEUM  
1091 Oroshimo, Kusatsu,  
Shiga 525-0001, Japan